

上越地域における中学生・高校生の 進路意向等に関する調査報告書

平成13年7月

上越市創造行政研究所

はじめに

本報告書は、上越地域が抱える「人口減少」「若者流出」という課題をふまえ、それらの背景にある、青少年の高校卒業後の進路意向等を把握するために実施した「上越地域における中学生・高校生の進路等に関する意識調査」の結果をまとめたものです。

本調査については、本市が平成12年度に国土交通省国土計画局と連携して実施した「上越市における高等教育機関の立地可能性に関する調査」の関連調査として、新たな高等教育機関に対する地元ニーズを把握するためにも実施されました。

調査は、平成13年1月末から2月末にかけて、上越地域22市町村の18高等学校と上越市内の10中学校からの協力を得て実施しました。

その結果、高校2年生1,362名とその保護者577名、中学2年生527名とその保護者257名から貴重な回答を得ることができました。また、調査結果の集計・分析にあたっては、上越教育大学の田中敏教授と同研究室の学生の皆さんにご協力いただきました。

本調査は、「現在の興味や考え」、「進路に関する意向」、「新たな高等教育機関の設置について」、「上越地域に対する認識」の4つの視点で構成されており、調査の質問項目の設定や本報告書の分析については、「高校卒業後の進路意向」の把握が第一目的であることから、高校生とその保護者の皆さんへの質問を中心に構成しています。

調査の結果、「現在の興味や考え」については、16項目にわたって中学生・高校生の全体的な傾向を把握することができました。

また、「高校卒業後の進路に関する意向」では、高校生の5～6人に1人しか上越地域への就職・進学を希望していない現状や、進学希望校別に希望する分野や地域の傾向を把握することができました。

「新たな高等教育機関の設置」については、高校生と保護者の間での高いニーズを感じ取ることができたものの、希望する分野等に関しては多様な意見があることがわかりました。

「上越地域に対する認識」では、高校生の約6割が将来的に上越地域への居住を希望しているものの、高校卒業後から継続して居留意向を示しているのは1割にも満たないなど、当地域における「若者流出」の原因の一端を垣間見ることができました。

本市では、本調査の結果を活用し、上越地域のさらなる発展へ向けて、地域の将来を担う青少年にとって魅力あるまちづくり・地域づくりに取り組んでまいります。

平成13年7月

上越市創造行政研究所

目 次

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査内容	1
1-3 調査対象	1
1-4 調査方法と実施経過	5
1-5 回収状況と回答者の内訳	6
1-6 集計方法	15
第2章 高校生編	17
2-1 現在の興味や考え	17
2-2 進路に関する意向	20
2-3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について	44
2-4 上越地域について	50
第3章 中学生編	53
3-1 現在の興味や考え	53
3-2 進路に関する意向	55
3-3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について	70
3-4 上越地域について	74
第4章 調査結果のまとめ	77
4-1 現在の中学生・高校生の興味や考え	77
4-2 高校卒業後の進路に関する意向	78
4-3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について	83
4-4 上越地域について	84
《付属資料》	85
付-1 調査票（高校生用）	85
付-2 調査票（高校生保護者用）	103
付-3 調査票（中学生用）	109
付-4 調査票（中学生保護者用）	119
付-5 調査結果概要（高校生編）	125
付-6 調査結果概要（中学生編）	131

【第1章：調査概要】

第 1 章 調査概要

1-1 調査目的

上越地域の中学生・高校生の進路意向等について、生徒自身や保護者の考え方を調査し、併せて地域に対する意識を把握することにより、今後の行政運営の参考資料を得る。なお、調査結果は、上越地域における高等教育機関のあり方を検討する「上越市における高等教育機関の立地可能性に関する調査」(上越市実施)にも活用する。

1-2 調査内容

当調査では 1-1 の調査目的を踏まえ、次の四つの項目について調査を行った。

- 中学生・高校生の現在の興味や考え
- 中学生・高校生の進路に関する意向
- 上越地域における新たな高等教育機関の設置について
- 上越地域に対する認識

1-3 調査対象

(1) 調査対象

調査の対象者と対象地域

当調査の対象者¹は、高校生 2 年生、中学生 3 年生と、それぞれの保護者とした。調査は「高校生編」と「中学生編」に分けて実施し、それぞれの対象地域(対象校の所在地)は、高校生編が上越地域 22 市町村²、中学生編は上越市とした。

1 調査対象者の学年(高校 2 年生と中学 3 年生)は、生徒の進路選択の時期と、入学試験の時期を考慮して設定した。

2 上越地域 22 市町村(3 市、11 町、8 村)の内訳

- ・上越市、新井市、糸魚川市(3 市)
- ・東頸城郡(3 町 3 村)
安塚町、浦川原村、松代町、松之山町、大島村、牧村
- ・中頸城郡(5 町 5 村)
柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、妙高高原町、中郷村、妙高村、板倉町、清里村、三和村
- ・西頸城郡(3 町)
名立町、能生町、青海町

以上の範囲は、高校の通学区が同一であること、本市のまちづくりの超長期ビジョンである『のびやか』プラン』のグレーター上越・第 3 次圏域であることを根拠として設定した。

対象者別の調査内容

生徒には自分自身についての考えを、保護者には自分が保護している子どもに対する意向を質問した。調査対象者と調査内容との対照は表 1-3-1 に示すとおりとした。

【表 1-3-1 調査対象者と調査内容の一覧】

調査内容	調査対象者			
	高校の部		中学校の部	
	生徒	保護者	生徒	保護者
1. 現在の興味や考え				
・現在の興味や考え				
2. 進路に関する意向				
・進路選択の理由				
・就職・進学したい分野				
・就職・進学したい地域				
・就職・進学後の生活				
3. 上越地域における新たな高等教育機関の設置について				
・必要性				
・希望する分野				
・希望する学校の特徴				
・進学先としての評価				
4. 上越地域について				
・将来の居留意向				
・上越地域の発展のために力を入れるべき分野				

高校生と中学生は、質問の対象者・項目は異なる。

(2) 対象者の抽出状況

高校生編

A. 生徒

- ・上越地域の高校2年生3,575人のうち1,362人を抽出。(抽出率38.1%)
- ・対象校は上越地域22市町村に立地する全日制高等学校(18校)。
 - 安塚高校松之山分校、高田盲学校、上越養護学校、高田養護学校は除く。
- ・調査はクラス単位で一斉に実施するため、学校ごとの人数は、各学校最低1クラスを確保した上で、人数按分を基本として設定した。
- ・なお、調査の目的の一つとして「上越市における高等教育機関の立地可能性に関する調査」への活用があることから、進学希望者の意向をより詳細に把握するため、過去の実績において進学者が多い高校に関しては対象クラス数を増やした。

B. 保護者

上記生徒(A)の保護者を対象とした。

【表 1-3-2 対象者の抽出状況】

高等学校等名	生徒数		クラス数	抽出クラス数	対象者数 ²		備考
	人数(人)	割合			人数(人)	割合	
松代	77	2.2%	2	1	37	2.7%	
高田	316	8.8%	8	4	108	8.0%	1
高田北城	284	7.9%	7	4	139	10.3%	1
高田農業	202	5.7%	5	2	76	5.6%	
高田工業	315	8.8%	8	2	77	5.7%	
高田商業	199	5.6%	5	2	80	5.9%	
新井	240	6.7%	6	4	145	10.7%	1
直江津	278	7.8%	7	4	152	11.3%	1
直江津工業	94	2.6%	3	1	37	2.7%	
柿崎	155	4.3%	4	1	32	2.4%	
有恒	157	4.4%	4	1	38	2.8%	
吉川	89	2.5%	3	1	29	2.1%	
安塚	76	2.1%	2	1	33	2.4%	
安塚(松之山分校)	26	0.7%	1	0	0	0.0%	
糸魚川	315	8.8%	8	4	151	11.2%	1
糸魚川白嶺	198	5.5%	5	2	73	5.4%	
海洋	100	2.8%	3	1	34	2.5%	
上越	213	6.0%	6	2	59	4.4%	
関根学園	196	5.5%	6	2	50	3.7%	
高田盲	4	0.1%	1	0	0	0.0%	
高田養護	31	0.9%	1	0	0	0.0%	
上越養護	10	0.3%	1	0	0	0.0%	
計	3,575	100%	96	39	1,350	100%	2

1: 進学希望者の実績が多いためクラス数増加

2: 対象者の抽出はクラス単位で行ったため、ここでの対象者数は実際の回答者数と同数とした。

なお、所属学校が不明の者が12名あったため、上表の合計はその12名を除いたものとなっている。

生徒数の出所)平成12年度学校要覧(新潟県教育委員会)

中学生編

A．生徒

- ・上越市内の中学3年生 1,566 人のうち 527 人を抽出。(抽出率 36.4%)
- ・対象校は上越市内の中学校(全 10 校)。
 - 高田盲学校、高田養護学校、上越養護学校は除く。
- ・調査はクラス単位で一斉に実施するため、学校ごとの人数は、各学校最低 1 クラスを確保した上で、生徒数が多い学校(5 クラス以上)のみ 2 クラスとした。

B．保護者

上記中学生(A)の保護者を対象とした。

【表 1-3-3 対象者の抽出状況】

中学校等名	生徒数		クラス数	抽出クラス数	対象者数 2		備考
	人数(人)	割合			人数(人)	割合	
上教大附属	119	7.6%	3	1	39	7.4%	
城北	185	11.8%	5	2	73	13.9%	1
城西	249	15.9%	7	2	66	12.5%	1
城東	244	15.6%	7	2	67	12.7%	1
八千浦	47	3.0%	2	1	22	4.2%	
直江津	199	12.7%	5	2	73	13.9%	1
直江津東	206	13.2%	6	2	63	12.0%	1
春日	173	11.0%	5	2	63	12.0%	1
雄志	93	5.9%	3	1	27	5.1%	
潮陵	35	2.2%	1	1	34	6.5%	
高田盲	1	0.1%	1	0	0	0.0%	
高田養護	12	0.8%	1	0	0	0.0%	
上越養護	3	0.2%	1	0	0	0.0%	
計	1,566	100%	47	16	527	100%	2

1：生徒数が多いためクラス数増加

2：対象者の抽出はクラス単位で行ったため、ここでの対象者数は実際の回答者数と同数とした。

生徒数の出所)平成12年度学校要覧(新潟県教育委員会)

1-4 調査方法と実施経過

(1) 調査方法 (高校、中学校共通)

調査方式

無記名アンケート

実施方法

【生徒】各学校にてクラス単位で配布・回収。(学校にて一斉に実施)

【保護者】各学校にてクラス単位で生徒に配布。自宅にて記入後、郵送回収。

(2) 実施経過

調査票配布

高校生編 (生徒用及び保護者用) 1月31日(水)

中学生編 (生徒用及び保護者用) 2月13日(火)

調査票回収

高校生編 (生徒用及び保護者用) 2月9日(金)

中学生編 (生徒用及び保護者用) 2月23日(金)

集計・分析作業

・3月上旬～下旬

上越教育大学田中(敏)心理学教室の協力の下、集計・分析を実施。

集計結果速報値報告 (中学生編のみ)

・調査対象者の中学校3年生・保護者、対象中学校へ結果速報値を報告。

(3月下旬)

「上越市における高等教育機関の立地可能性に関する調査」への活用

(高校生編のみ)

・上記調査報告書に調査結果の一部を掲載。(3月下旬)

集計結果概要版・学校別データ報告 (高校のみ)

・調査対象者の高校生(調査当時の2年生)、保護者、対象高校へ結果概要と学校

別データを報告。(5月下旬)

1-5 回収状況と回答者の内訳

(1) 回収状況

高校生編

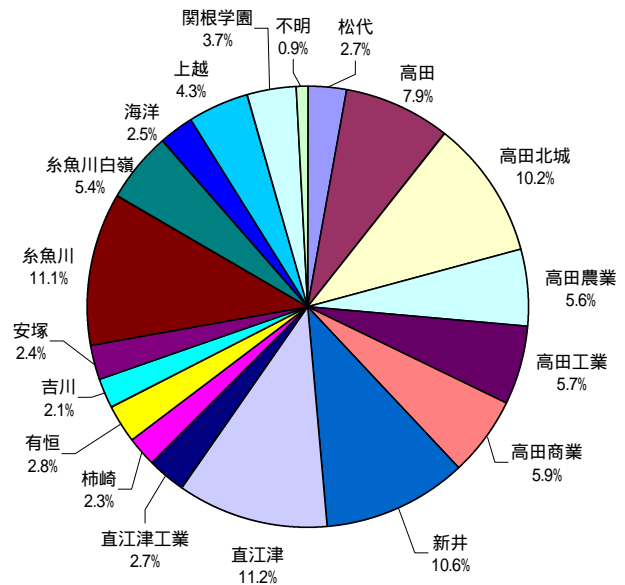
A. 生徒

クラス単位にて一斉に実施した。全体の回答者数は1,362人で、学校別の回答者数は次のとおりであった。

【表 1-5-1 高校別回答者数】

NO.	高校	回答者(人)	割合
1	松代	37	2.7%
2	高田	108	7.9%
3	高田北城	139	10.2%
4	高田農業	76	5.6%
5	高田工業	77	5.7%
6	高田商業	80	5.9%
7	新井	145	10.6%
8	直江津	152	11.2%
9	直江津工業	37	2.7%
10	柿崎	32	2.3%
11	有恒	38	2.8%
12	吉川	29	2.1%
13	安塚	33	2.4%
14	糸魚川	151	11.1%
15	糸魚川白嶺	73	5.4%
16	海洋	34	2.5%
17	上越	59	4.3%
18	関根学園	50	3.7%
0	不明	12	0.9%
	計	1,362	100%

【図 1-5-1 高校別回答者数内訳】



B. 保護者

調査対象者1,362人(生徒の全体数と同数)のうち、回答者数は577人で回収率は42.4%であった。

中学生編

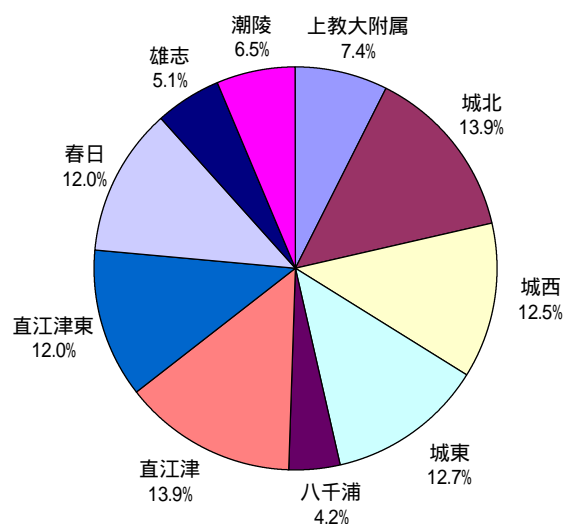
A. 生徒

クラス単位にて一斉に実施。全体の回答者数は 527 人で、学校別の回答者数は次のとおりであった。

【表 1-5-2 中学校別回答者数】

NO.	中学校	回答者(人)	割合
1	上教大附属	39	7.4%
2	城北	73	13.9%
3	城西	66	12.5%
4	城東	67	12.7%
5	八千浦	22	4.2%
6	直江津	73	13.9%
7	直江津東	63	12.0%
8	春日	63	12.0%
9	雄志	27	5.1%
10	潮陵	34	6.5%
	計	527	100%

【図 1-5-2 中学校別回答者数内訳】



B. 保護者

調査対象者を生徒数と同様の 527 人として、回答者数は 257 人で回収率は 48.8%であった。

(2) 回答者の内訳

高校生編

A. 生徒

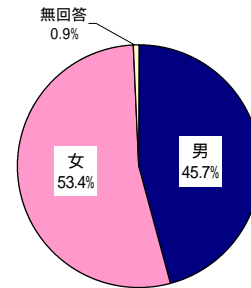
回答者の内訳を「男女別」「学科別」「出身市町村別」「進路希望」「進学希望先の学校」でみると次のとおりであった。

男女別

【表 1-5-3 男女別回答者数（高校生）】

NO.	性別	回答者(人)	割合
1	男	623	45.7%
2	女	727	53.4%
0	無回答	12	0.9%
	計	1,362	100%

【図 1-5-3 男女別回答者数内訳（高校生）】

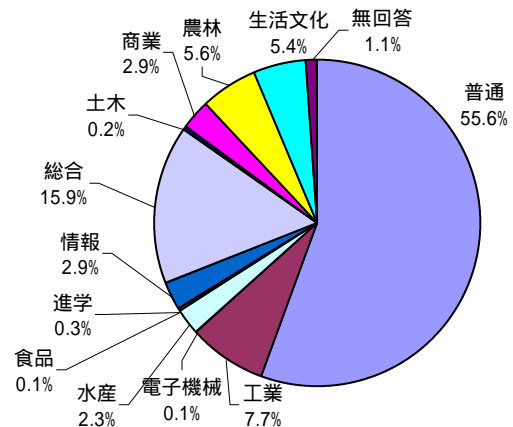


学科

【表 1-5-4 学科別回答者数（高校生）】

NO.	学科	回答者(人)	割合
1	普通	757	55.6%
2	工業	105	7.7%
3	電子機械	2	0.1%
4	水産	31	2.3%
5	食品	1	0.1%
6	進学	4	0.3%
7	情報	39	2.9%
8	総合	216	15.9%
9	土木	3	0.2%
10	商業	40	2.9%
11	農林	76	5.6%
12	生活文化	73	5.4%
0	無回答	15	1.1%
	計	1,362	100%

【図 1-5-4 学科別回答者数内訳（高校生）】

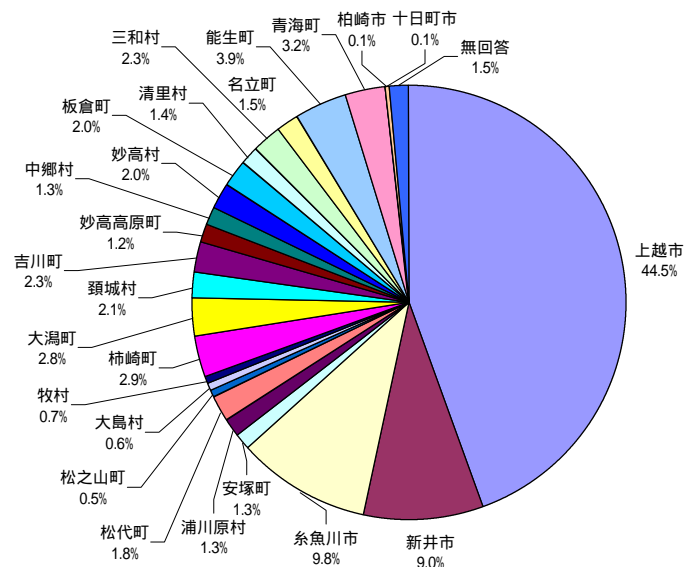


出身市町村

【表 1-5-5 出身市町村別回答者数（高校生）】

NO.	市町村	回答者(人)	割合
1	上越市	606	44.5%
2	新井市	122	9.0%
3	糸魚川市	133	9.8%
4	安塚町	18	1.3%
5	浦川原村	18	1.3%
6	松代町	25	1.8%
7	松之山町	7	0.5%
8	大島村	8	0.6%
9	牧村	10	0.7%
10	柿崎町	39	2.9%
11	大潟町	38	2.8%
12	頸城村	28	2.1%
13	吉川町	31	2.3%
14	妙高高原町	17	1.2%
15	中郷村	18	1.3%
16	妙高村	27	2.0%
17	板倉町	27	2.0%
18	清里村	19	1.4%
19	三和村	32	2.3%
20	名立町	20	1.5%
21	能生町	53	3.9%
22	青海町	43	3.2%
23	柏崎市	2	0.1%
24	十日町市	1	0.1%
25	無回答	20	1.5%
	計	1,362	100%

【図 1-5-5 出身市町村別回答者数内訳（高校生）】

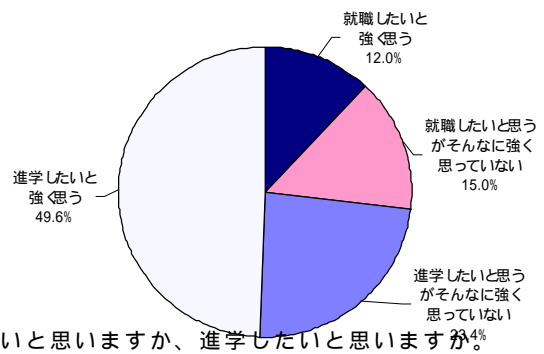


進路希望

【表 1-5-6 進路希望の意志の強さ（高校生）】

No.	回答	回答者(人)	割合
1	就職したいと強く思う	164	12.0%
2	就職したいと思うがそんなに強く思っていない	204	15.0%
3	進学したいと思うがそんなに強く思っていない	319	23.4%
4	進学したいと強く思う	675	49.6%
	計	1,362	100%

【図 1-5-6 進路希望の意志の強さ内訳（高校生）】



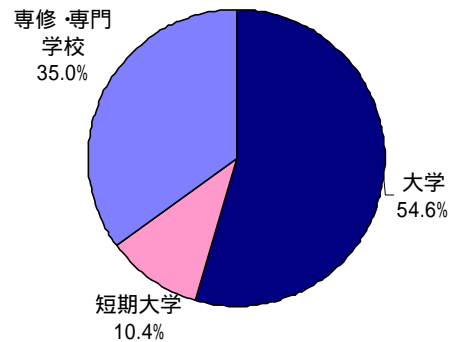
質問：あなたは高校を卒業したら、就職したいと思いますか、進学したいと思いますか。
 （調査票：生徒編【質問2】に対応）

進学希望先の学校

【表 1-5-7 進学希望校別回答者数（高校生）】

NO.	学校	回答者(人)	割合
1	大学	538	54.6%
2	短期大学	103	10.4%
3	専修・専門学校	345	35.0%
	計	986	100%

【図 1-5-7 進学希望校別回答者数内訳（高校生）】



上表は進学希望者のうち、進学希望校が不明の者（8名）を除く

質問：あなたはどんな学校へ進学したいと思っていますか。
 （調査票：生徒編【質問3】に対応）

注 当調査の目的の一つとして「上越市における高等教育機関の立地可能性に関する調査」への活用があることから、高校生編については、進学希望者の意向をより詳細に把握するため、過去の実績において進学者が多い高校には対象クラス数を増加させているので、当調査の結果は進学率などの実態とは必ずしも一致しない。

B. 保護者

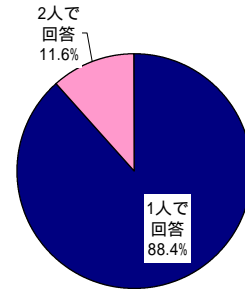
回答者の内訳を「回答に携わった人の人数」「男女別」「回答者の年代」「こどもの学科」「居住市町村別」「こどもの進路に関する希望」でみると次のとおりであった。

回答に携わった人の人数

【表 1-5-8 回答時の人数（高校生保護者）】

NO.	人数	回答者(人)	割合
1	1人で回答	510	88.4%
2	2人で回答	67	11.6%
	計	577	100%

【図 1-5-8 回答時の人数別内訳（高校生保護者）】



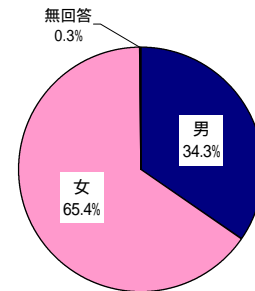
男女別

【表 1-5-9 男女別回答者数（高校生保護者）】

NO.	性別	回答者(人)	割合
1	男	221	34.3%
2	女	421	65.4%
0	無回答	2	0.3%
	計	644	100%

回答者は577人

【図 1-5-9 男女別回答者数内訳（高校生保護者）】



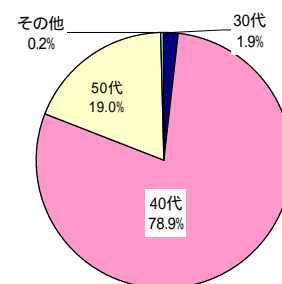
年代

【表 1-5-10 年代別回答者数（高校生保護者）】

NO.	年代	回答者(人)	割合
1	30代	12	1.9%
2	40代	506	78.9%
3	50代	122	19.0%
4	その他	1	0.2%
	計	641	100%

回答者は577人

【図 1-5-10 年代別回答者数内訳（高校生保護者）】

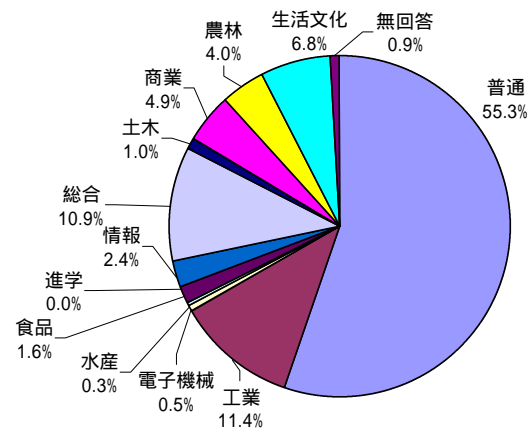


こどもが在籍する学科

【表 1-5-11 在籍学科別回答者数（高校生保護者）】

NO.	学科	回答者(人)	割合
1	普通	319	55.3%
2	工業	66	11.4%
3	電子機械	3	0.5%
4	水産	2	0.3%
5	食品	9	1.6%
6	進学	0	0.0%
7	情報	14	2.4%
8	総合	63	10.9%
9	土木	6	1.0%
10	商業	28	4.9%
11	農林	23	4.0%
12	生活文化	39	6.8%
0	無回答	5	0.9%
	計	577	100%

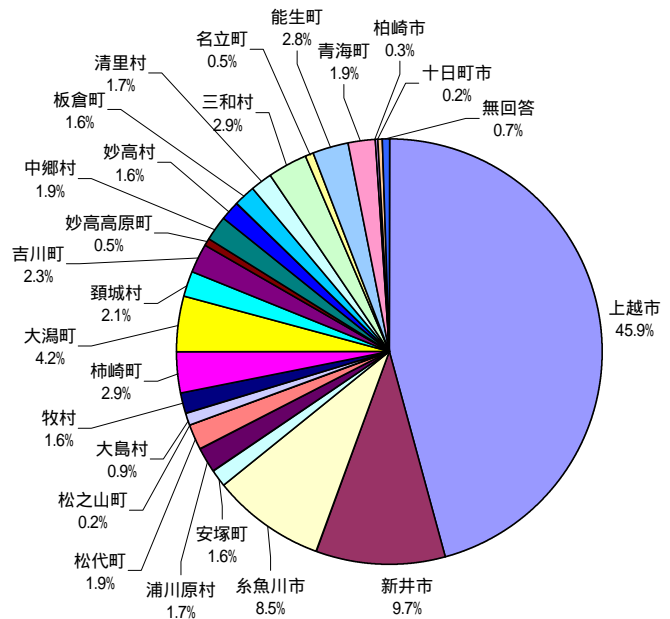
【図 1-5-11 在籍学科別回答者数内訳（高校生保護者）】



居住市町村

【表 1-5-12 居住市町村別回答者数（高校生保護者）】 【図 1-5-12 居住市町村別回答者数内訳（高校生保護者）】

NO.	市町村	回答者(人)	割合
1	上越市	265	45.9%
2	新井市	56	9.7%
3	糸魚川市	49	8.5%
4	安塚町	9	1.6%
5	浦川原村	10	1.7%
6	松代町	11	1.9%
7	松之山町	1	0.2%
8	大島村	5	0.9%
9	牧村	9	1.6%
10	柿崎町	17	2.9%
11	大潟町	24	4.2%
12	頸城村	12	2.1%
13	吉川町	13	2.3%
14	妙高高原町	3	0.5%
15	中郷村	11	1.9%
16	妙高村	9	1.6%
17	板倉町	9	1.6%
18	清里村	10	1.7%
19	三和村	17	2.9%
20	名立町	3	0.5%
21	能生町	16	2.8%
22	青海町	11	1.9%
23	柏崎市	2	0.3%
24	十日町市	1	0.2%
25	無回答	4	0.7%
	計	577	100%

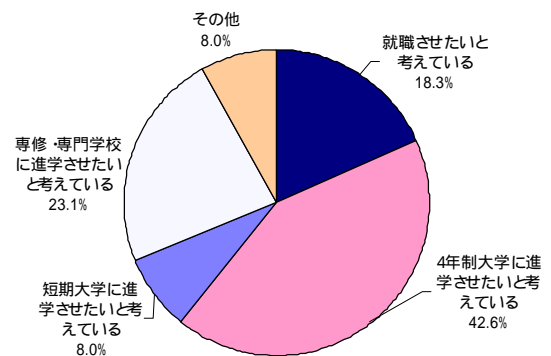


こどもの進路に関する希望

【表 1-5-13 こどもの進路希望別内訳（高校生保護者）】

No.	回答	回答者(人)	割合
1	就職させたいと考えている	105	18.3%
2	4年制大学に進学させたいと考えている	245	42.6%
3	短期大学に進学させたいと考えている	46	8.0%
4	専修・専門学校に進学させたいと考えている	133	23.1%
5	その他	46	8.0%
	計	575	100%

【図 1-5-13 こどもの進路希望別内訳（高校生保護者）】



質問：あなたはお子様の高校卒業後の進路について、どのような考えをお持ちですか。
 (調査票：保護者編【質問1】に対応)

中学生編

A. 生徒

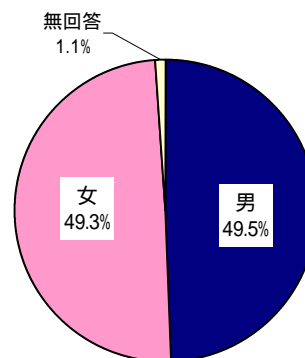
回答者の内訳を「男女別」「進路希望別」でみると次のとおりであった。

男女別

【表 1-5-14 男女別回答者数（中学生）】

NO.	性別	回答者（人）	割合
1	男	261	49.5%
2	女	260	49.3%
0	無回答	6	1.1%
	計	527	100%

【図 1-5-14 男女別回答者数内訳（中学生）】

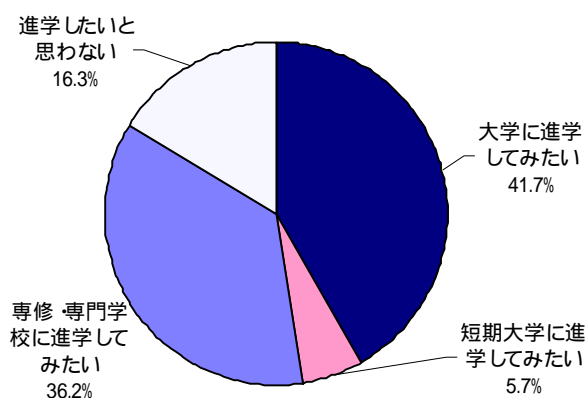


進路希望別

【表 1-5-15 進路希望別回答者数（中学生）】

NO.	学校	回答者（人）	割合
1	大学に進学してみたい	220	41.7%
2	短期大学に進学してみたい	30	5.7%
3	専修・専門学校に進学してみたい	191	36.2%
4	進学したいと思わない	86	16.3%
	計	527	100%

【図 1-5-15 進路希望別回答者数内訳（中学生）】



質問：あなたは将来、就職する前に大学、短大、専修・専門学校へ進学してみたいと思いますか。（調査票：生徒編【質問5】に対応）

B. 保護者

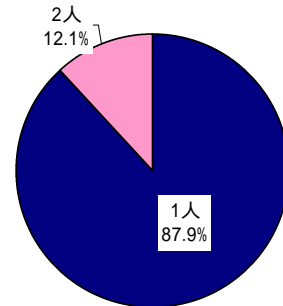
回答者の内訳を「回答に携わった人の人数」「男女別」「回答者の年代」「こどもの進路に関する希望」でみると次のとおりであった。

回答に携わった人の人数

【表 1-5-16 回答時の人数（中学生保護者）】

NO.	人数	回答者（人）	割合
1	1人で回答	226	87.9%
2	2人で回答	31	12.1%
	計	257	100%

【図 1-5-16 回答時の人数別内訳（中学生保護者）】



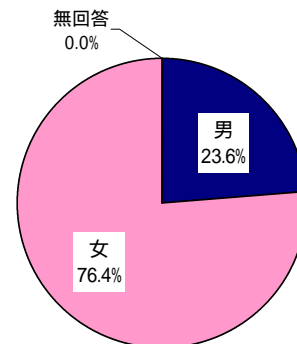
男女別

【表 1-5-17 男女別回答者数（中学生保護者）】

NO.	性別	回答者（人）	割合
1	男	68	23.6%
2	女	220	76.4%
0	無回答	0	0.0%
	計	288	100%

回答数は257人

【図 1-5-17 男女別回答者数内訳（中学生保護者）】



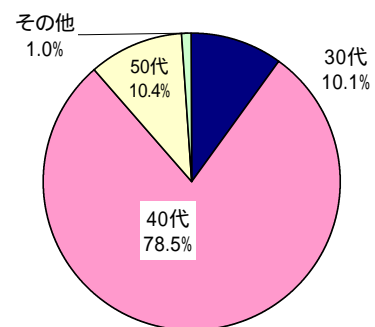
回答者の年代

【表 1-5-18 年代別回答者数（中学生保護者）】

NO.	年代	回答者（人）	割合
1	30代	29	10.1%
2	40代	226	78.5%
3	50代	30	10.4%
4	その他	3	1.0%
	計	288	100%

回答数は 257 人

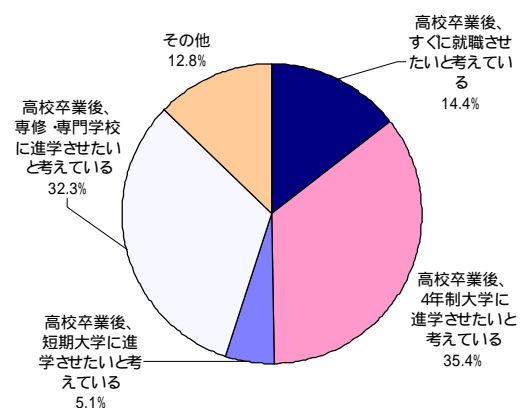
【図 1-5-18 年代別回答者数内訳（中学生保護者）】



こどもの進路に関する希望

【表 1-5-19 こどもの進路希望別内訳（中学生保護者）】 【図 1-5-19 こどもの進路希望別内訳（中学生保護者）】

No.	回答	回答者（人）	割合
1	中学卒業後、すぐに就職させたいと考えている	0	0%
2	高校卒業後、すぐに就職させたいと考えている	37	14.4%
3	高校卒業後、4年制大学に進学させたいと考えている	91	35.4%
4	高校卒業後、短期大学に進学させたいと考えている	13	5.1%
5	高校卒業後、専修・専門学校に進学させたいと考えている	83	32.3%
6	その他	33	12.8%
	計	257	100%



質問：あなたはお子様の進路について、どのような考えをお持ちですか。
（調査票：保護者編【質問1】に対応）

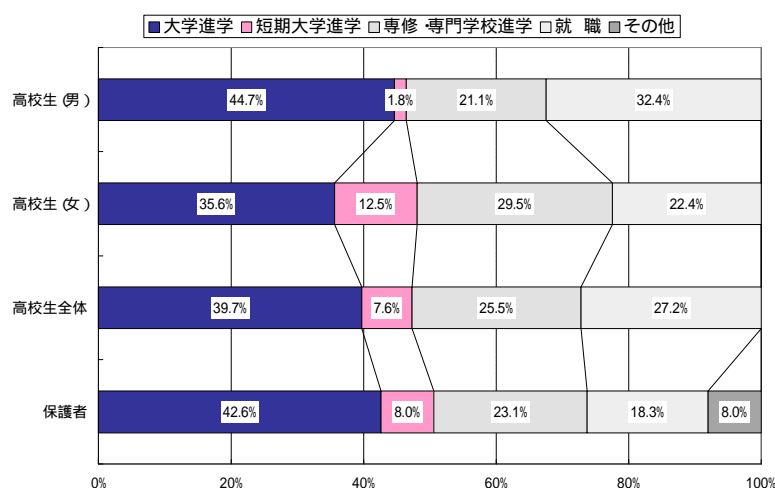
進路に関する意向の比較

高校生編

高校生の男女間で進路意向を比較すると、「大学進学」と「就職」は男子の希望が多く、「短大進学」と「専修・専門学校進学」は女子の希望が多かった。

高校生自身と保護者を比較すると、保護者は「その他」の回答があるので単純には比較できないが、「大学進学」「短大進学」は保護者の希望が多く、「専修・専門学校進学」「就職」は生徒の希望が多かった。

【図 1-5-20 高校卒業後の進路意向（生徒・保護者別比較）】

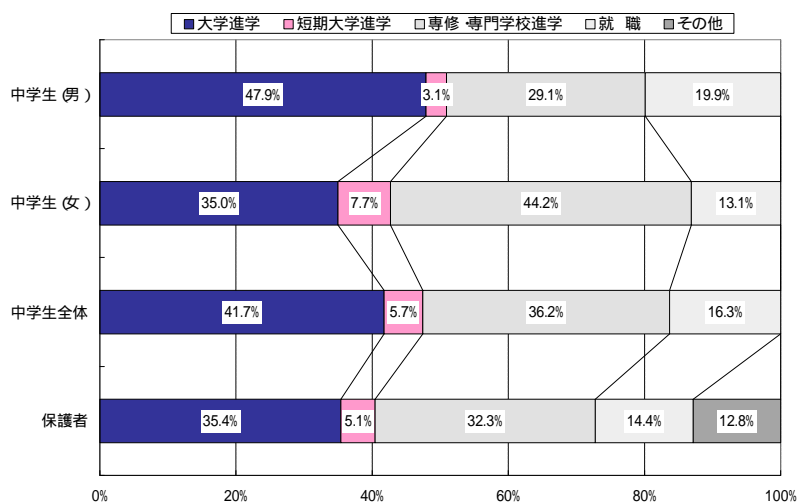


中学生編

中学生の男女間で進路意向を比較すると、「大学進学」と「就職」は男子の希望が多く、「短大進学」と「専修・専門学校進学」は女子の希望が多かった。

中学生自身と保護者を比較すると、保護者の場合は「その他」の回答があるものの、全体的な進路別の割合は、中学生自身とほぼ同様の傾向であった。

【図 1-5-21 就職前に進学してみたい進路の意向（生徒・保護者別比較）】



進路の意向に関しては、高校生と中学生の間で対象者の抽出方法が異なるため、ここでは比較は行わない。

1-6 集計方法

当調査の集計にあたっては、質問ごとに有効回答者の回答のみを対象とした。
なお、択一選択方式の設問以外については、それぞれ下記のような集計方法とした。

5段階（4段階）評定方式

本文設問中に（5段階で回答）又は、（4段階で回答）と表示

- ・ 回答者全体の平均点
選択肢それぞれを5点（4点）～1点としたときの平均点
- ・ 選択肢ごとの人数と割合
割合はそれぞれの質問の有効回答者数に対するもの

複数選択方式 本文設問中に（ つまで回答）と表示

- ・ 選択肢ごとの人数と割合
割合はそれぞれの質問の有効回答者数に対するもの

複数選択・優先順位回答方式

本文設問中に（希望する順に つまで回答）と表示

- ・ 選択肢ごとの人数と割合
それぞれの選択肢ごとに各順位別の人数と割合を集計
割合はそれぞれの質問の有効回答者数に対するもの
回答数による重み付けの補正はしていない
（例）3つまで回答のところ、第1希望だけ回答した場合は、
第1希望分のみ集計

【第2章：高校生編】

第 2 章 高校生編

2-1 現在の興味や考え《生徒のみ質問》

質問：あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか。(5段階で回答)
 (調査票：生徒編【質問1】に対応)

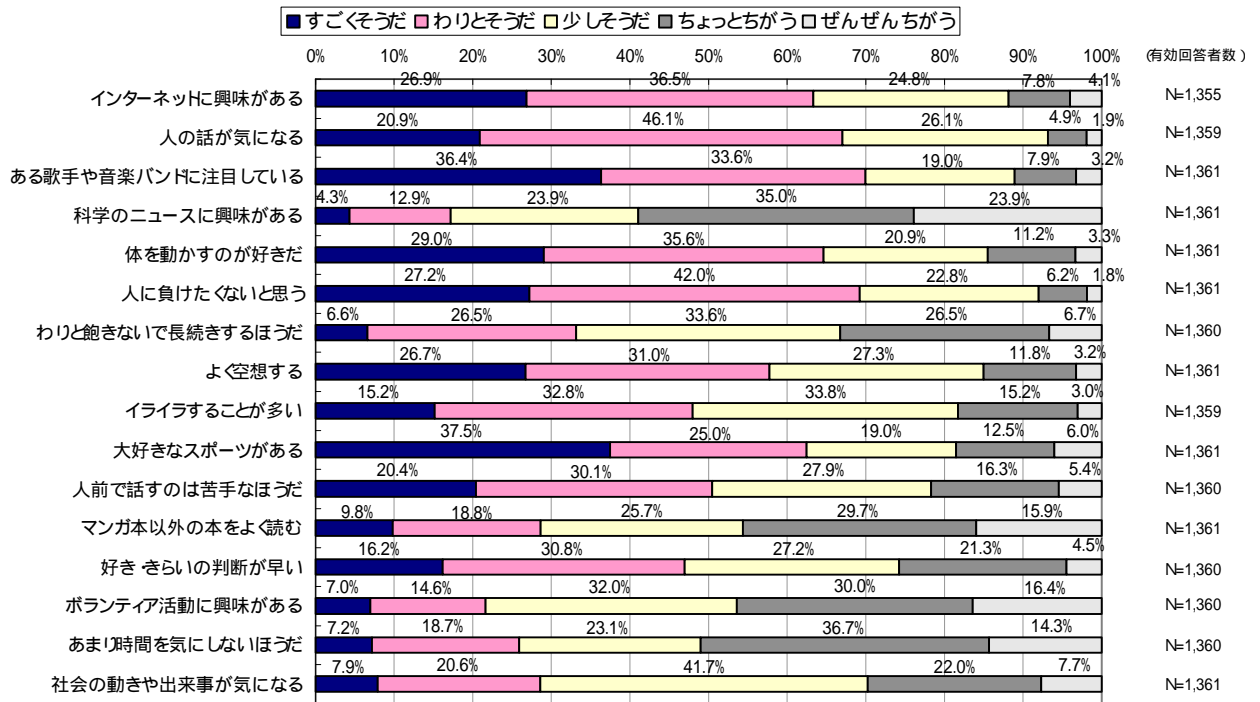
- ・ 高校生に現在の興味や考えについて、16項目にわたり質問した。
- ・ 肯定(同意)傾向が特に強かった項目は、強い方から「ある歌手や音楽バンドに注目している」(3.92点)、「人に負けたくないと思う」(3.87点)、「人の話が気になる」(3.79点)、「体を動かすのが好きだ」(3.76点)、「大好きなスポーツがある」(3.75点)、「インターネットに興味がある」(3.74点)であった。
- ・ 一方、比較的肯定(同意)傾向が弱かった項目は、弱い方から「科学のニュースに興味がある」(2.39点)、「ボランティア活動に興味がある」(2.66点)、「あまり時間を気にしないほうだ」(2.68点)、「マンガ本以外の本をよく読む」(2.77点)であった。(以上表2-1-1、図2-1-1)
- ・ 就職・進学希望者別の内訳では、「インターネットに興味がある」、「科学のニュースに興味がある」、「社会の動きや出来事が気になる」の項目で両者の間に差がみられた。(以上図2-1-2～図2-1-4)

【表2-1-1 現在の興味や考え(高校生全体：平均点)】

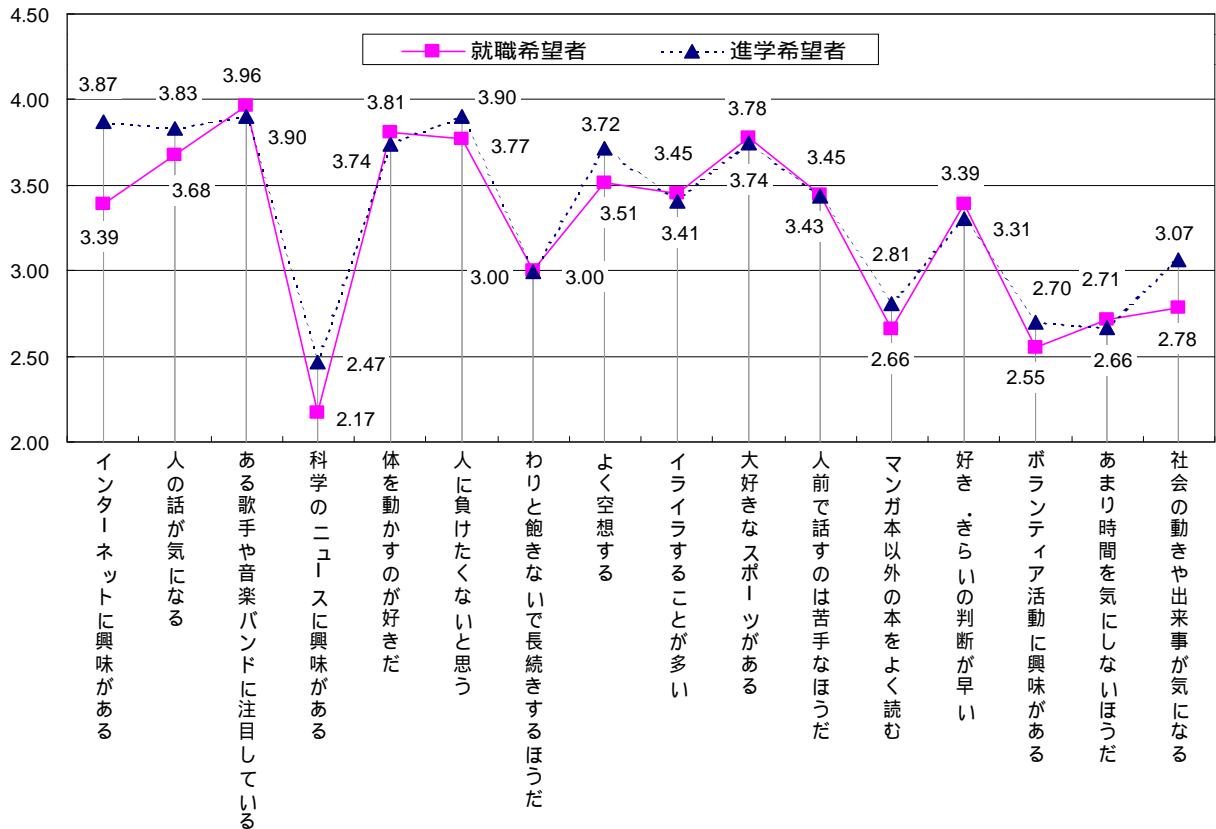
興味や考え	平均点
ある歌手や音楽バンドに注目している	3.92
人に負けたくないと思う	3.87
人の話が気になる	3.79
体を動かすのが好きだ	3.76
大好きなスポーツがある	3.75
インターネットに興味がある	3.74
よく空想する	3.66
人前で話すのは苦手なほうだ	3.44
イライラすることが多い	3.42
好き・きらいの判断が早い	3.33
わりと飽きないで長続きするほうだ	3.00
社会の動きや出来事が気になる	2.99
マンガ本以外の本をよく読む	2.77
あまり時間を気にしないほうだ	2.68
ボランティア活動に興味がある	2.66
科学のニュースに興味がある	2.39

「すごくそうだ」を5点、「わりとそうだ」を4点、「少しそうだ」を3点、「ちょっとちがう」を2点、「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点。

【図 2-1-1 現在の興味や考え（高校生全体：内訳）】

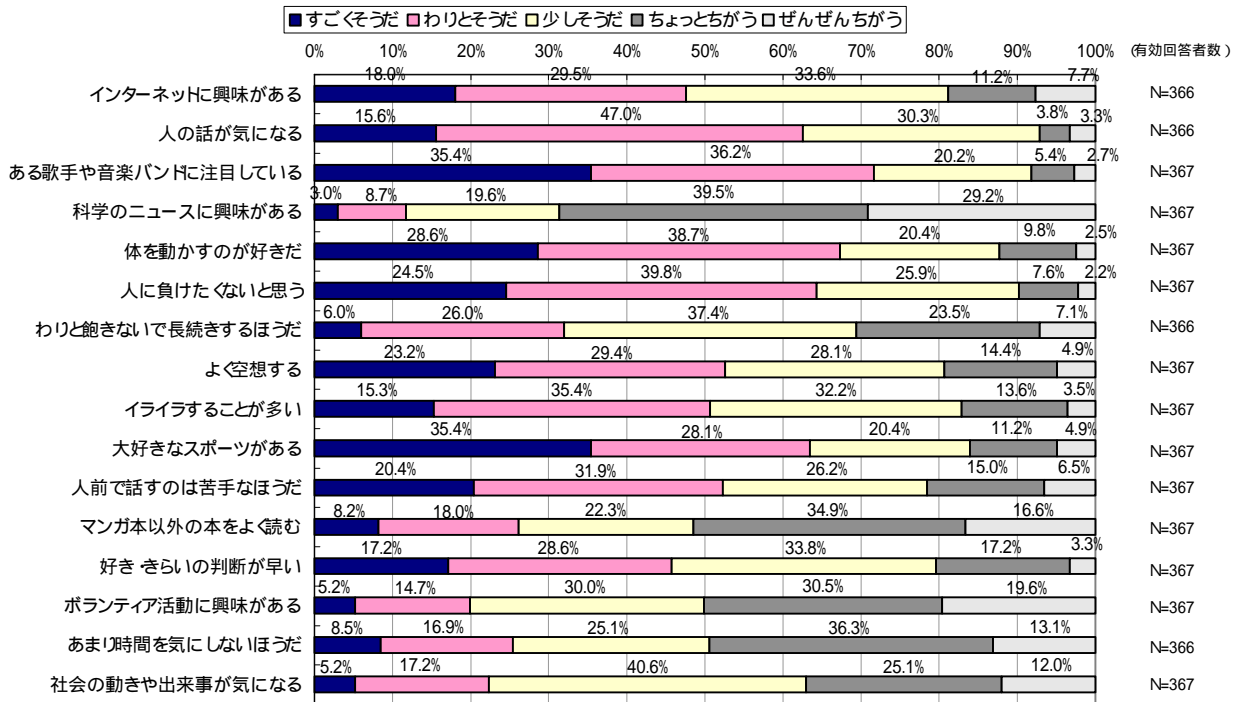


【図 2-1-2 現在の興味や考え（進路別比較）】

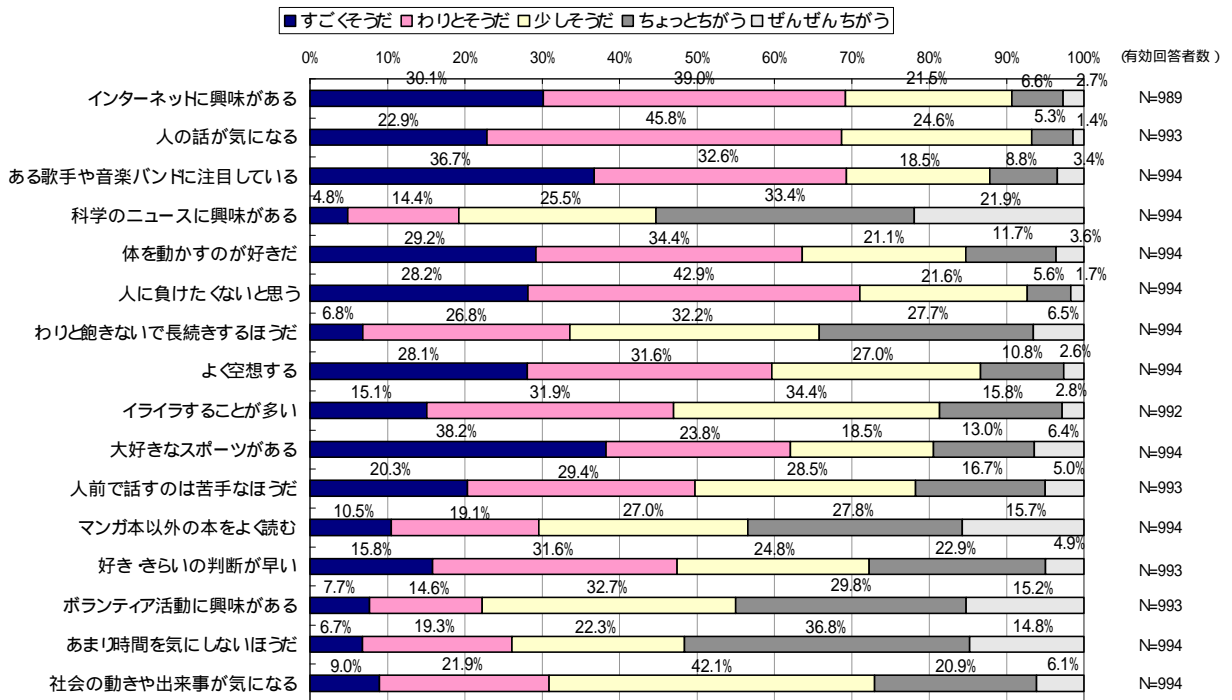


「すごそうだ」を5点、「わりとそうだ」を4点、「少しそうだ」を3点、「ちょっとちがう」を2点、「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点。

【図 2-1-3 現在の興味や考え（就職希望者：内訳）】



【図 2-1-4 現在の興味や考え（進学希望者：内訳）】



2-2 進路に関する意向

(1) 高校卒業後の進路の選択理由《生徒のみ質問》

質問：あなたが就職・進学したいと思う理由は何ですか。(5段階で回答)
(調査票：生徒編【質問5】に対応)

- ・ 高校生に高校卒業後、就職・進学したい理由を質問した。
- ・ 就職希望の高校生が就職を希望する理由で最も強い肯定傾向がみられたのは「自分の力でお金を得たいから」(4.00点)であった。他に強い肯定傾向がみられたものは、「就職できるなら早く就職しておいたほうがいいから」(3.37点)、「親から独立して暮らしたいから」(3.33点)であり、経済的自立の願望の強さがうかがえた。
- ・ 進学希望の高校生が進学を希望する理由で最も強い肯定傾向がみられたのは「進学する分野に興味がある」(4.19点)であった。他に強い肯定傾向がみられたものは、「自分の能力や個性を伸ばしたいから」(3.83点)、「資格を取得したいから」(3.80点)であり、自己伸張の願望の強さがうかがえた。
- ・ 全体としては、進路にかかわらず、親の希望を進路選択の理由とする傾向は弱く、高校生は親の意向よりも自身の持つ自主性で進路を決定したいと考えている傾向が強かうかがえた。(以上、表2-2-1、表2-2-2、図2-2-1、図2-2-2)。

【表2-2-1 就職したい理由】

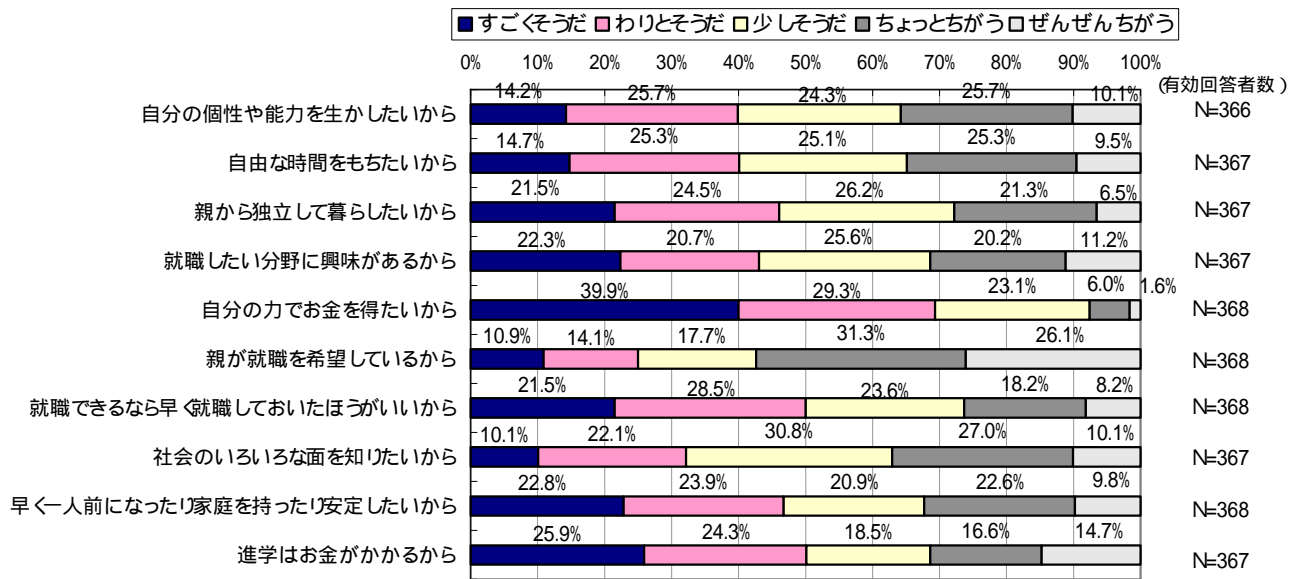
就職したい理由	平均点
自分の力でお金を得たいから	4.00
就職できるなら早く就職しておいたほうがいいから	3.37
親から独立して暮らしたいから	3.33
進学はお金がかかるから	3.30
早く一人前になったり家庭を持ったり安定したいから	3.27
就職したい分野に興味があるから	3.23
自由な時間をもちたいから	3.10
自分の個性や能力を生かしたいから	3.08
社会のいろいろな面を知りたいから	2.95
親が就職を希望しているから	2.52

【表2-2-2 進学したい理由】

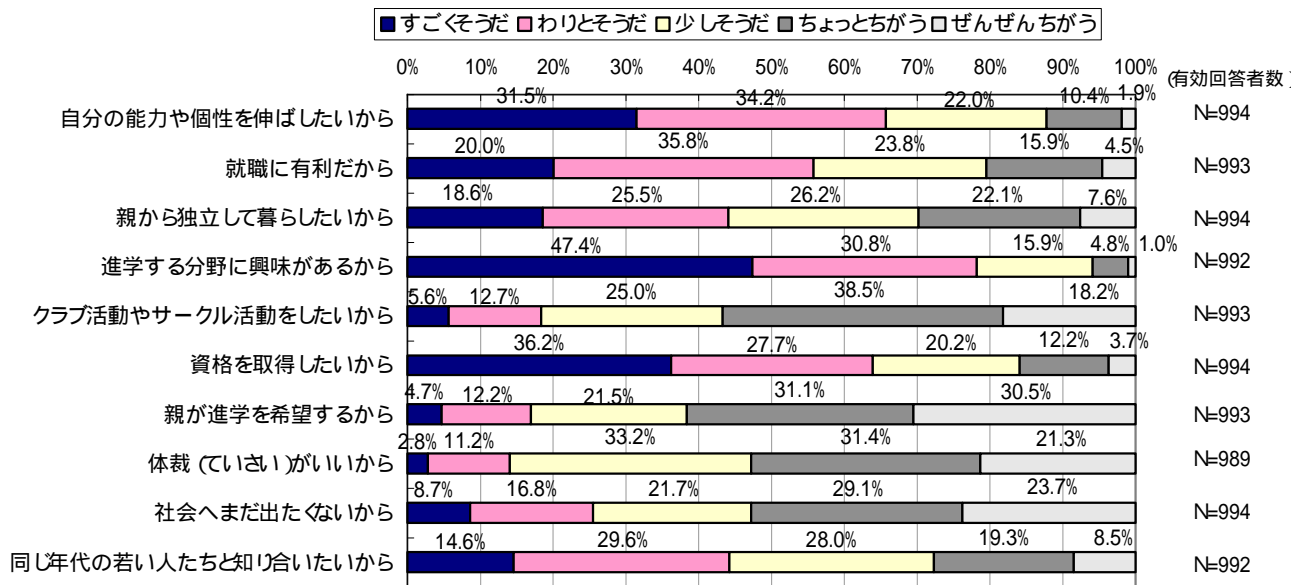
進学したい理由	平均点
進学する分野に興味があるから	4.19
自分の能力や個性を伸ばしたいから	3.83
資格を取得したいから	3.80
就職に有利だから	3.51
親から独立して暮らしたいから	3.25
同じ年代の若い人たちと知り合いたいから	3.23
社会へまだ出たくないから	2.58
クラブ活動やサークル活動をしたいから	2.49
体裁(ていさい)がいいから	2.43
親が進学を希望するから	2.30

「すごくそうだ」を5点、「わりとそうだ」を4点、「少しそうだ」を3点、「ちょっとちがう」を2点、「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点。
(表2-2-1、2-2-2)

【図 2-2-1 就職したい理由】



【図 2-2-2 進学したい理由】



(2) 就職・進学したい分野について《生徒のみ質問》

就職希望の分野

質問：あなたはどんな分野に就職したいと思っていますか。(3つまで回答)
(調査票：生徒編【質問3】に対応) 就職希望者のみ

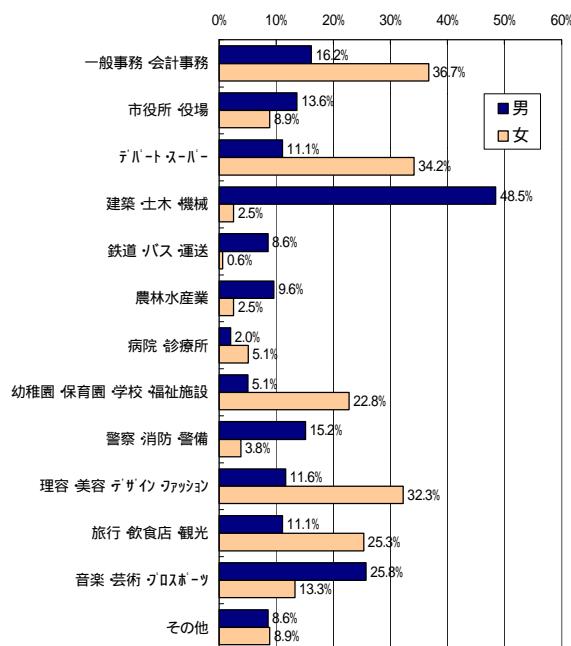
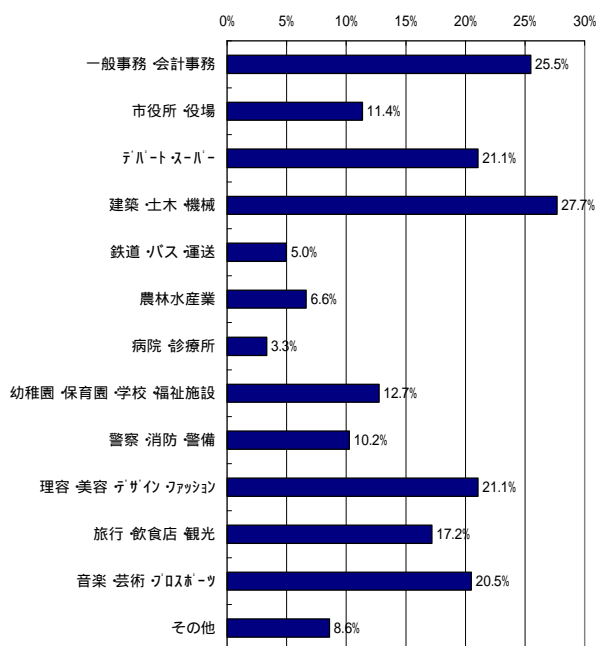
全体

- ・ 就職希望の高校生に就職したい分野を質問したところ、全体では「建築・土木・機械」分野への希望が最も多かった。(27.7%)。
- ・ 他に希望が多かった分野は、「一般事務・会計事務」(25.5%)、「デパート・スーパー」(21.1%)、「理容・美容・デザイン・ファッション」(21.1%)、「音楽・芸術・プロスポーツ」(20.5%)であった。
- ・ 一方、希望が少なかった分野は、「病院・診療所」(3.3%)、「鉄道・バス・運送」(5.0%)、「農林水産業」(6.6%)であった。(以上図 2-2-3)

男女別

- ・ 男女別の内訳をみると、ほぼ全ての分野で両者の間に差をみることができた。
- ・ 男子は「建築・土木・機械」が最も希望が多かった(48.5%)。他に希望が多かった分野は「音楽・芸術・プロスポーツ」(25.8%)であり、一方、希望が少なかった分野は、「病院・診療所」(2.0%)、「幼稚園・保育園・学校・福祉施設」(5.1%)、「鉄道・バス・運送」(8.6%)であった。
- ・ 女子では、「一般事務・会計事務」への希望が最も多かった(36.7%)。他に希望が多かった分野は、「デパート・スーパー」(34.2%)、「理容・美容・デザイン・ファッション」(32.3%)であり、一方、希望が少なかった分野は、「鉄道・バス・運送」(0.6%)、「農林水産業」(2.5%)、「建築・土木・機械」(2.5%)であった。(以上図 2-2-4)

【図 2-2-3 就職したい分野(全体)】



【図 2-2-4 就職したい分野(男女別)】

進学希望の分野

質問：あなたはどんな分野に進学したいと思っていますか。(3つまで回答)
 (調査票：生徒編【質問3-2】に対応) 進学希望者のみ

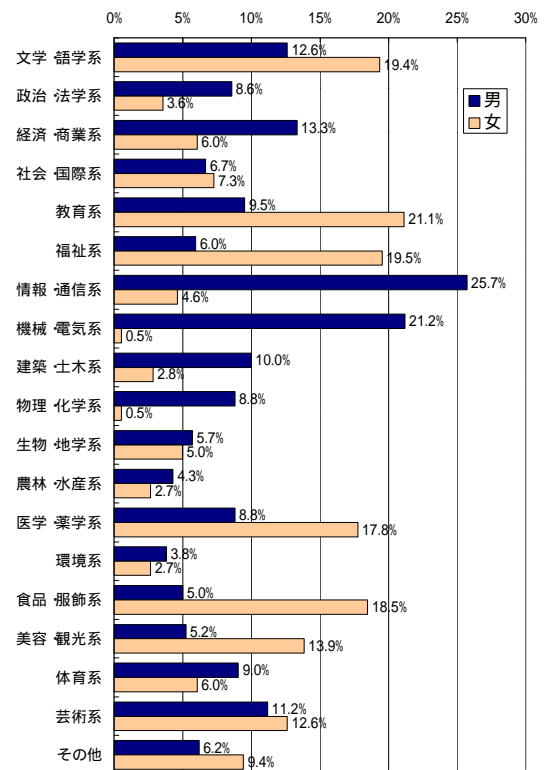
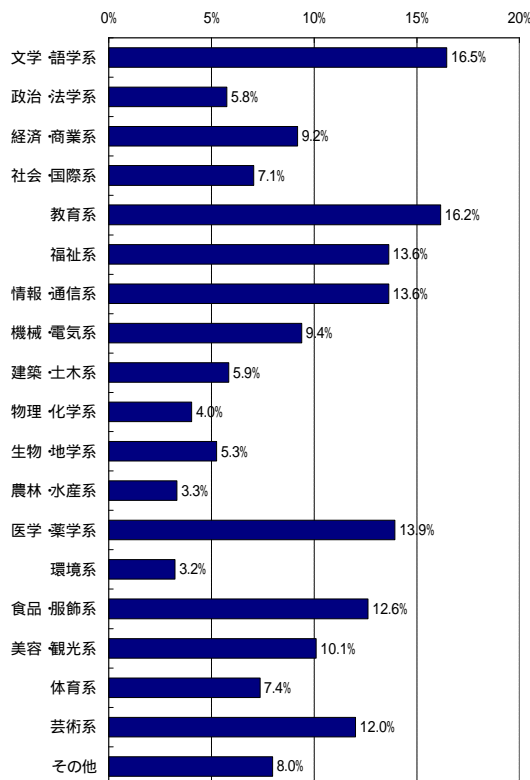
全体

- ・ 進学希望の高校生に進学したい分野を質問したところ、全体では「文学・語学系」への希望が最も多かった。(16.5%)
- ・ 他に希望が多かった分野は、「教育系」(16.2%)、「医学・薬学系」(13.9%)、「福祉系」(13.6%)、「情報・通信系」(13.6%)であった。
- ・ 一方、希望が少なかった分野は、「環境系」(3.2%)、「農林・水産系」(3.3%)、「物理・化学系」(4.0%)であった。(以上図 2-2-5)

男女別

- ・ 男女別の内訳をみると、分野によって両者の間で大きな差が見られた。特に「情報・通信系」、「機械・電気系」は男子の希望が圧倒的に多く、「食品・服飾系」、「福祉系」では女子の希望が圧倒的に多かった。
- ・ 男子では、「情報・通信系」が最も希望が多い分野であった(25.7%)。他に希望が多かった分野は、「機械・電気系」(21.2%)であり、一方、希望が少なかった分野は、「環境系」(3.8%)、「農林・水産系」(4.3%)であった。
- ・ 女子では、「教育系」が最も希望が多い分野であった(21.1%)。他に希望が多かった分野は、「福祉系」(19.5%)、「文学・語学系」(19.4%)であり、一方、希望が少なかった分野は「機械・電気系」(0.5%)、「物理・化学系」(0.5%)であった。(以上図 2-2-6)

【図 2-2-5 進学したい分野(全体)】

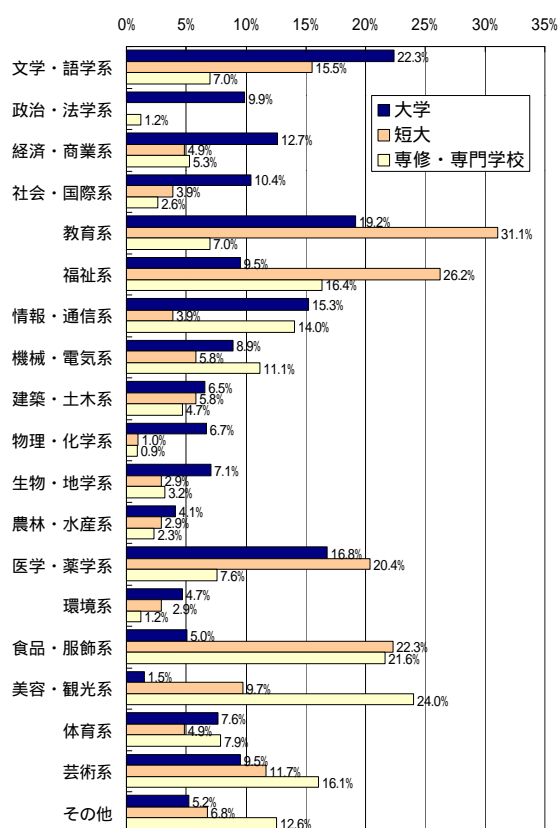


【図 2-2-6 進学したい分野(男女別)】

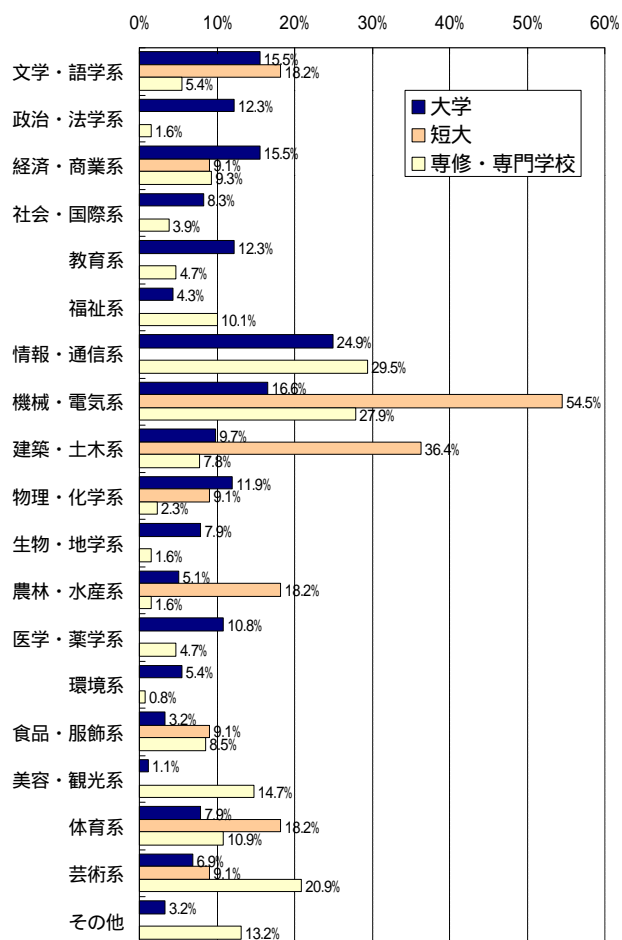
進学希望校別

- ・ 進学希望校別の内訳をみると、大学希望者では「文学・語学系」が最も希望が多い分野であった（22.3%）。他に希望が多かった分野は、「教育系」（19.2%）、「医学・薬学系」（16.8%）であった。
- ・ 短大希望者では、「教育系」が最も希望が多い分野であった（31.1%）。他に希望が多かった分野は、「福祉系」（26.2%）、「食品・服飾系」（22.3%）であった。
- ・ 専修・専門学校希望者は、「美容・観光系」が最も高い希望分野であった（24.0%）。他に希望が多かった分野は、「食品・服飾系」（21.6%）、「福祉系」（16.4%）、「芸術系」（16.1%）であった。（以上図 2-2-7）
- ・ 以上の結果をさらに男女別の内訳でみると、男子では、大学希望者は「情報・通信系」（24.9%）、「文学・語学系」（15.5%）、「経済・商業系」（15.5%）、短大希望者は「機械・電気系」（54.5%）、「建築・土木系」（36.4%）、専門学校希望者は「情報・通信系」（29.5%）、「機械・電気系」（27.9%）への希望が多かった。（以上図 2-2-8）
- ・ 女子では、大学希望者は「文学・語学系」（29.7%）、「教育系」（26.6%）、「医学・薬学系」（23.4%）、短大希望者では「教育系」（35.6%）、「福祉系」（30.0%）、「食品・服飾系」（24.4%）、専修・専門学校希望者では「食品・服飾系」、「美容・観光系」（以上 29.7%）、「福祉系」（20.3%）への希望が多かった。（以上図 2-2-9）
- ・ 全体的には、大学進学希望の男子は、比較的各分野に広く希望が分散していたが、短大、専修・専門学校進学希望の男子や女子全般は、特定の分野へ希望が集中する傾向がみられた。

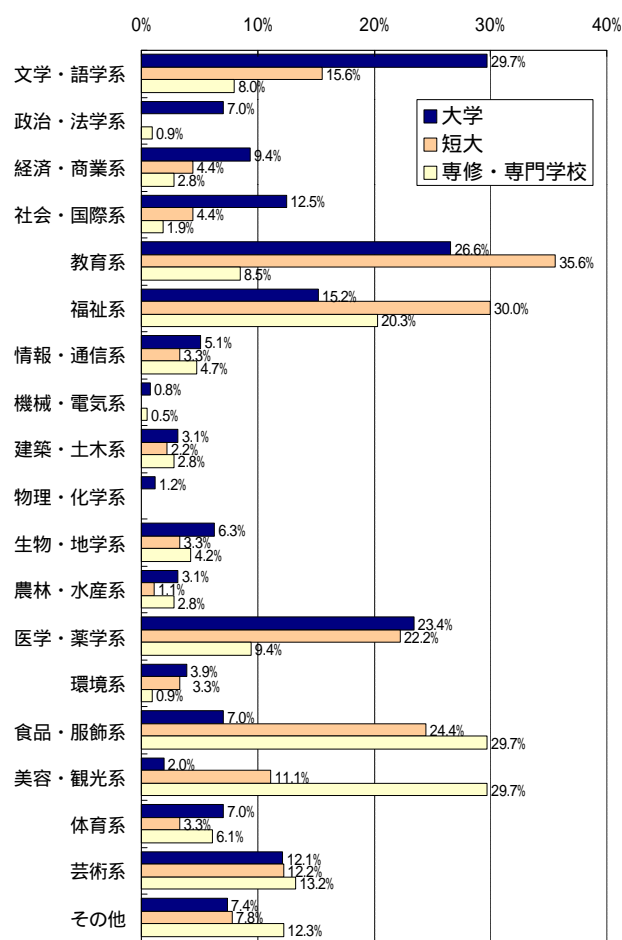
【図 2-2-7 進学したい分野（進学希望校別）】



【図 2-2-8 進学したい分野（進学希望校別：男子）】



【図 2-2-9 就職したい分野（進学希望校別：女子）】



(3) 就職・進学したい地域について

地域の希望《生徒・保護者へ質問》

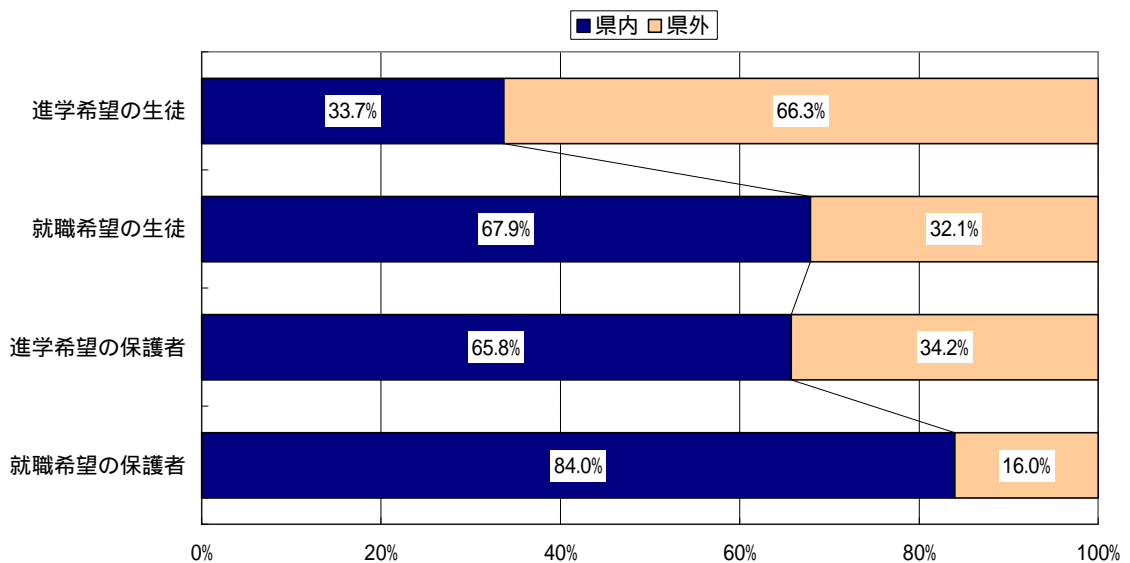
質問（生徒）
 : あなたはどの地域に就職・進学したいと思っていますか。(希望する順に3つまで回答)(調査票:生徒編【質問4】に対応)

質問（保護者）
 : あなたはお子様をどの地域へ就職又は進学させたいとお考えですか。(希望する順に3つまで回答)(調査票:保護者編【質問2】に対応)

進路別（第1希望の地域の県内・県外比較）

- ・ 高校生、保護者の双方に高校卒業後どの地域に就職・進学したいか（保護者の場合はして欲しいか）を質問した。
- ・ 就職・進学したい地域の第1希望を県内・県外別でみると、高校生・保護者を問わず、就職希望の方が進学希望者よりも県内での進路を望んでいることがわかる。
- ・ また、特に就職を希望している保護者は、圧倒的に県内への就職を望んでいることがわかる。(84.0%)(以上図2-2-10)

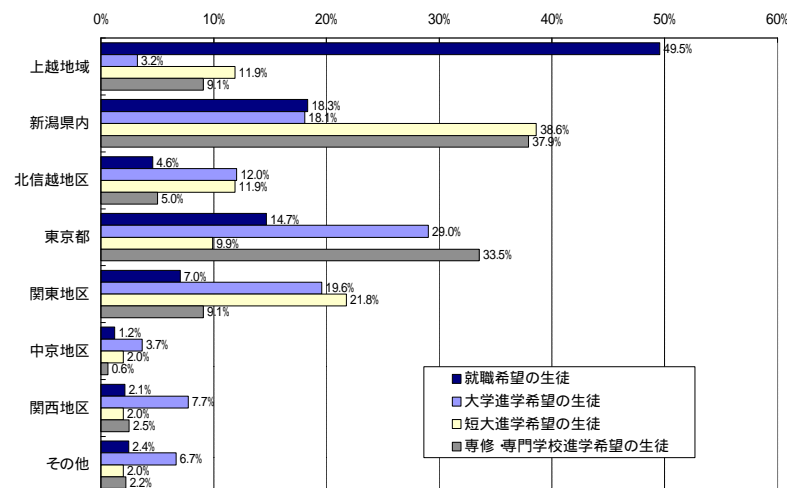
【図2-2-10 就職・進学したい地域（県内・県外別）】



進路別（第1希望の地域の詳細比較）

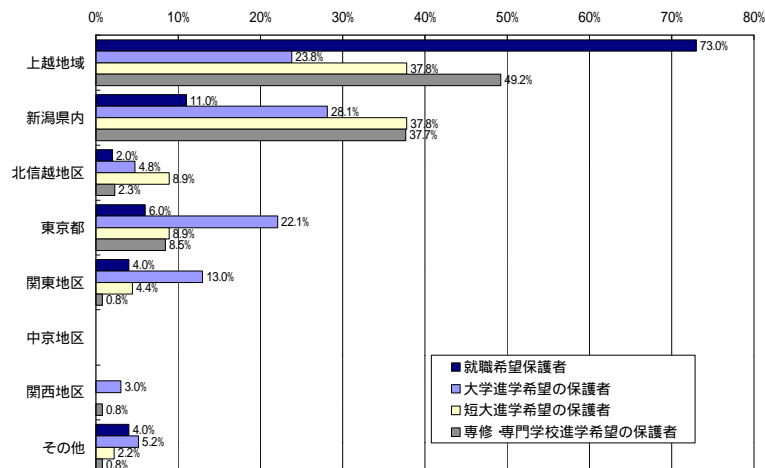
- ・ 就職・進学希望地域の第1希望を8つの地域区分により比較した。
- ・ 高校生の場合、それぞれの進路別に最も希望が多かった地域は、就職希望者は「上越地域」（49.5%）、大学進学希望者は「東京都」（29.0%）、短大進学希望者は「新潟県内」（38.6%）、専修・専門学校進学希望者も「新潟県内」（37.9%）であった。（図2-2-11）
- ・ 保護者の場合、それぞれの進路別に最も希望が多かった地域は、就職希望者は「上越地域」（73.0%）が圧倒的で、大学進学希望者は「新潟県内」（28.1%）、短大希望者は「上越地域」もしくは「新潟県内」（共に37.8%）、専門学校希望者は「上越地域」（49.2%）であった。（図2-2-12）
- ・ 全体的な傾向をみると、高校生では、就職希望者は上越から近い地域への意識が強く、進学希望者は「東京都」や「関東地区」への意識が強いことがわかる。これに対して、保護者の場合は就職・進学問わず、「上越地域」もしくは「新潟県内」への希望が多いことがわかる。ただし、大学進学希望の保護者については、「東京都」や「関東地区」への進学も意識している傾向がみられる。

【図2-2-11 就職・進学希望地域の第1希望（高校生：進路別）】



「新潟県内」は「上越地域」を除く、「関東地区」は「東京都」を除く（以下同）

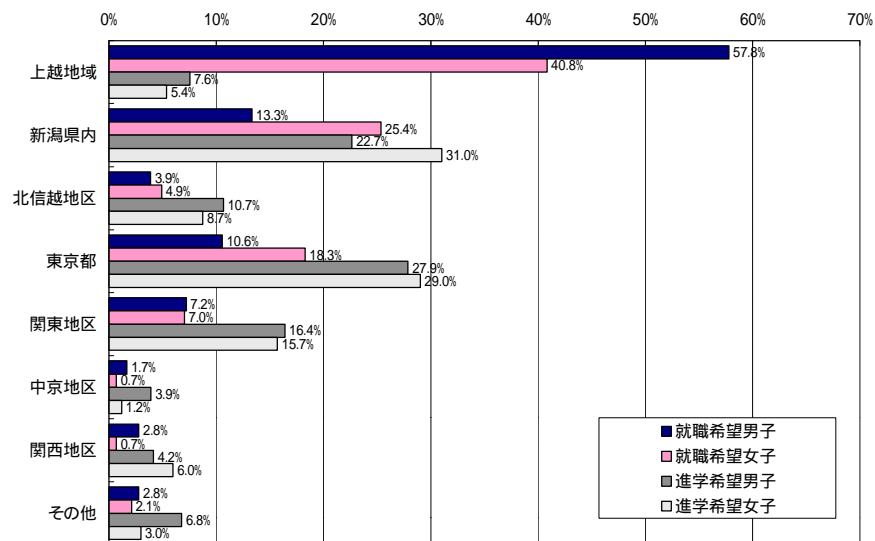
【図2-2-12 就職・進学希望地域の第1希望（保護者：進路別）】



男女別（第1希望の地域の詳細比較）

- ・ 高校生の進学・就職希望地域を進路（就職・進学）及び男女別に比較した。
- ・ 就職希望者では、男女とも上越地域への希望が最も多くなっている。しかし、男子では上越地域が圧倒的な割合を占めているのに比べ、女子は「上越地域」が最も希望が多いものの、「新潟県内」、「東京都」への就職希望者も多くなっていることに違いがみられる。
- ・ 進学希望者では、男子では「東京都」、女子では「新潟県内」もしくは「東京都」への進学希望者が最も多くなっている。しかし、両者の間で希望する地域にさほど大きな違いはみられない。（以上図 2-2-13）

【図 2-2-13 就職・進学希望地域の第1希望（高校生：進路・男女別）】



第 2、3 希望まで含めた場合の比較

- ・ 高校生の就職・進学希望地域を第 1 希望から第 3 希望まで比較した。
- ・ 全体的には、就職希望者は高校生・保護者とも「上越地域」または比較的近距離の地域を希望する傾向がみられ、両者の間で意識の差が小さいものの、進学希望者に関しては、比較的遠距離（県外）の地域を求める高校生と近距離の地域を希望する保護者との間で、意識の差をみることができた。それぞれの傾向は以下のとおりである。

【就職希望生徒】

- ・ 第 1 希望は「上越地域」、第 2 希望は「新潟県内」、第 3 希望は「北信越地区」と、上越地域に近い地域への希望が多くみられた。特に「上越地域」と「新潟県内」への希望が多く、自宅から近距離への就職を希望する傾向が極めて強いことがわかる。（図 2-2-14）

【大学進学希望生徒】

- ・ 第 1 希望は「東京都」、第 2 希望は「関東地区」、第 3 希望は「関西地区」への希望が多くなっているが、地域間の偏りは小さく、他の進路希望者よりも地域の希望が多様である。（図 2-2-15）

【短大進学希望生徒】

- ・ 第 1 希望は「新潟県内」、第 2 希望は「北信越地区」、第 3 希望は「関東地区」への希望が多い。他の進学希望者と比べ、「東京都」への進学希望が少なく「関東地区」への希望が多いことが特徴である。（図 2-2-16）

【専修・専門学校進学希望生徒】

- ・ 第 1 希望は「新潟県内」、第 2 希望は「東京都」、第 3 希望は「北信越地区」への希望が多い。生徒の意識としては「新潟県内」か、「東京都」への進学を意識している傾向が強い。また他の進学希望者と比べ、「東京都」への希望が特に多いことが特徴である。（図 2-2-17）

【就職希望保護者】

- ・ 第 1 希望は「上越地域」、第 2 希望は「新潟県内」、第 3 希望は「北信越地区」への希望が多く、他の進路を希望する保護者と比較して、「上越地域」への希望が圧倒的に多い。就職希望の生徒と比較した場合、比率の差はあるものの、傾向はほぼ一致している。（図 2-2-18）

【大学進学希望保護者】

- ・ 第1希望は「新潟県内」、第2希望も「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多く、保護者の中で地域の希望が最も多様である点に特徴がある。大学進学希望の生徒と比べ、保護者は近距離の地域、特に県内への進学を考えているところに違いがみられる。(図 2-2-19)

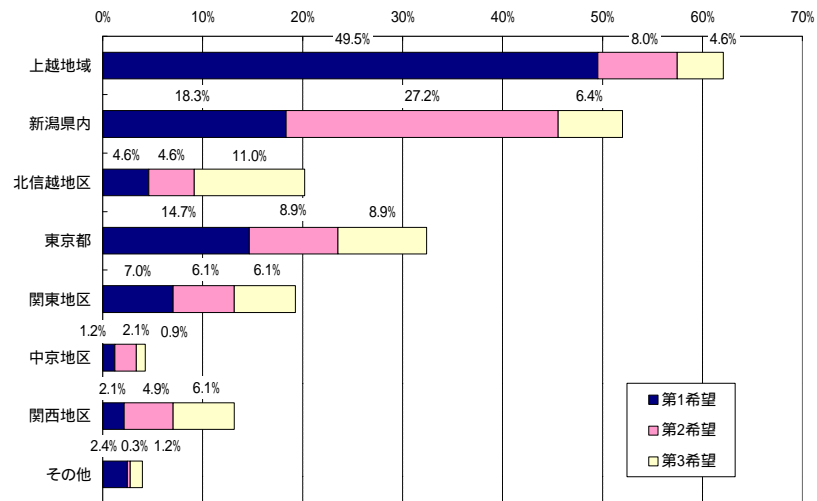
【短大進学希望保護者】

- ・ 第1希望は「上越地域」と「新潟県内」(同数)、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多く、他の進路を希望する保護者と比べて、「新潟県内」への希望が多い点が特徴である。短大進学希望の生徒と比べ、「関東地区」や「東京都」への希望が少ないところに違いがみられる。(図 2-2-20)

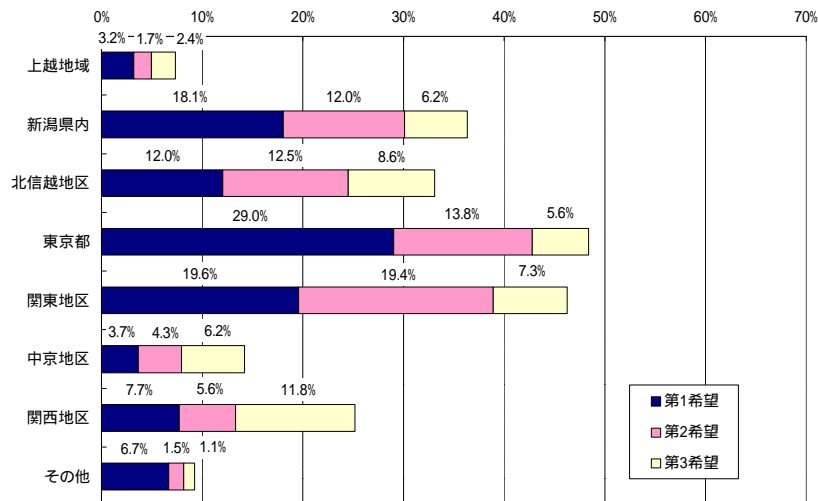
【専修・専門学校進学希望保護者】

- ・ 第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多く、進学希望の保護者の中で「上越地域」への希望が最も多い。専修・専門学校進学希望の生徒と比べ、「東京都」、「関東地区」、「関西地区」への希望が少なく、「上越地域」への希望が多いところに違いが見られる。(図 2-2-21)

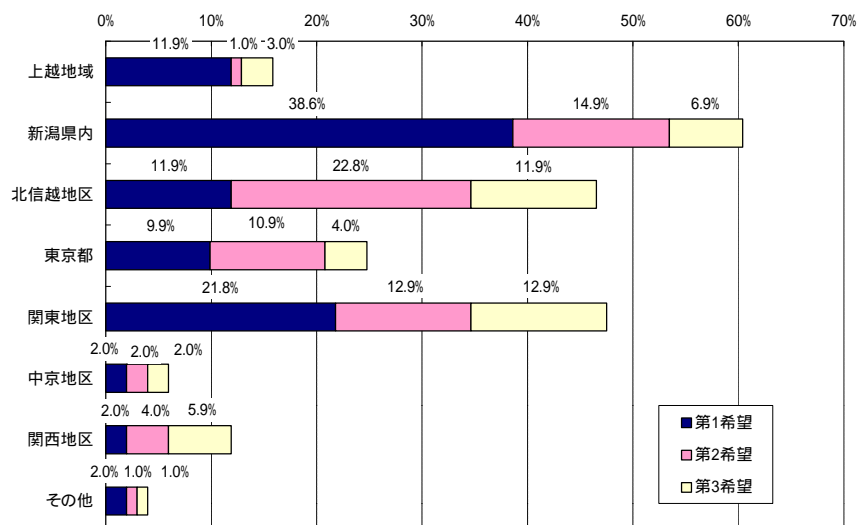
【図 2-2-14 就職希望生徒の就職希望地域（第1～3希望）】



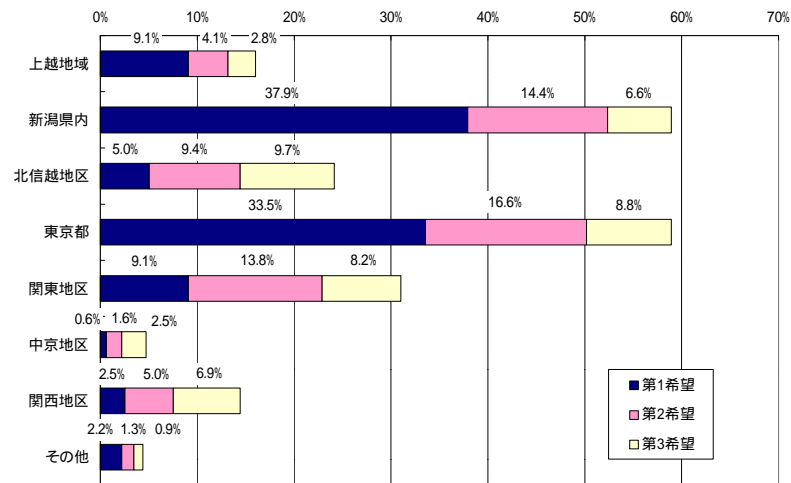
【図 2-2-15 大学進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



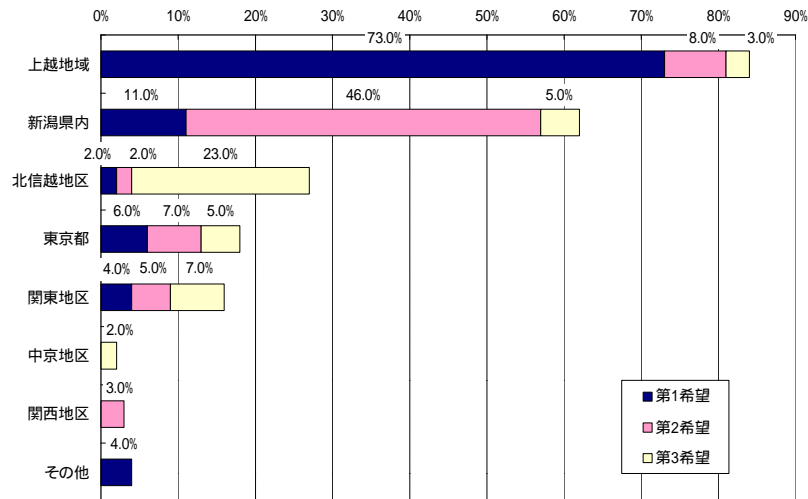
【図 2-2-16 短大進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



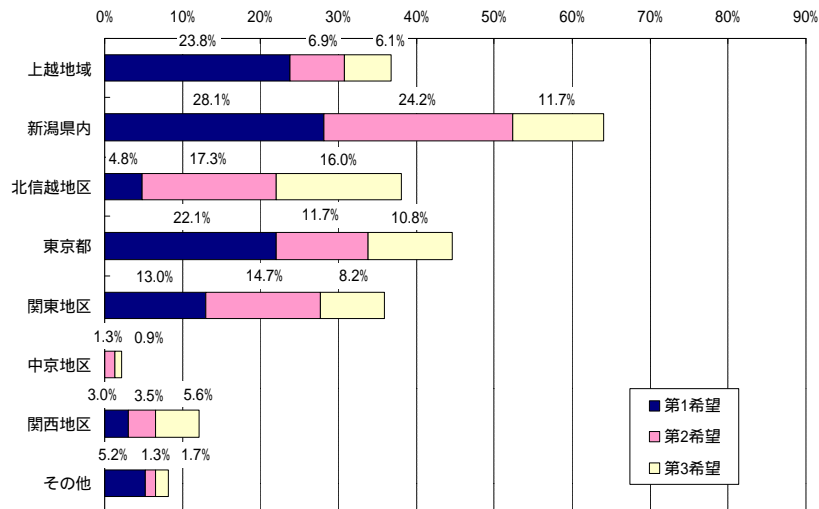
【図 2-2-17 専修・専門学校進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



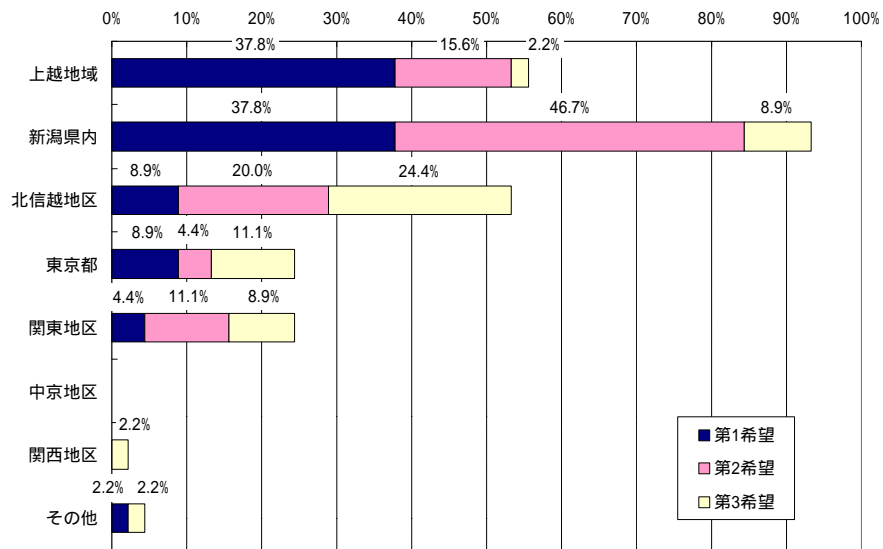
【図 2-2-18 就職希望保護者の就職希望地域（第1～3希望）】



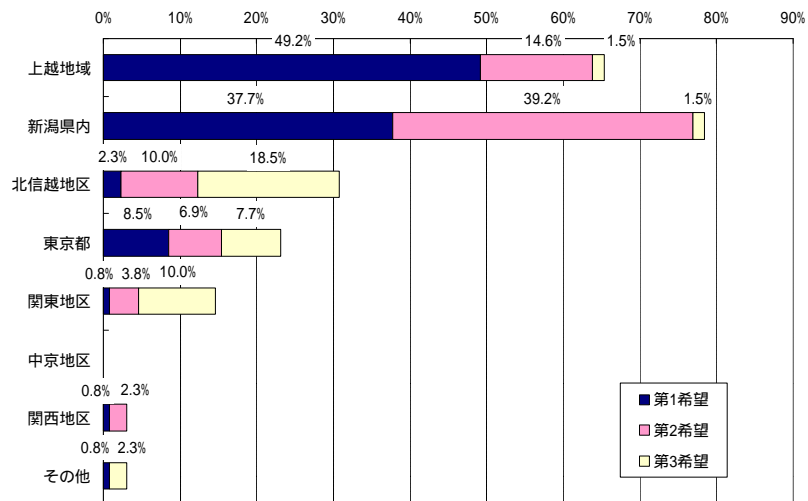
【図 2-2-19 大学進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】



【図 2-2-20 短大進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】



【図 2-2-21 専修・専門学校進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】

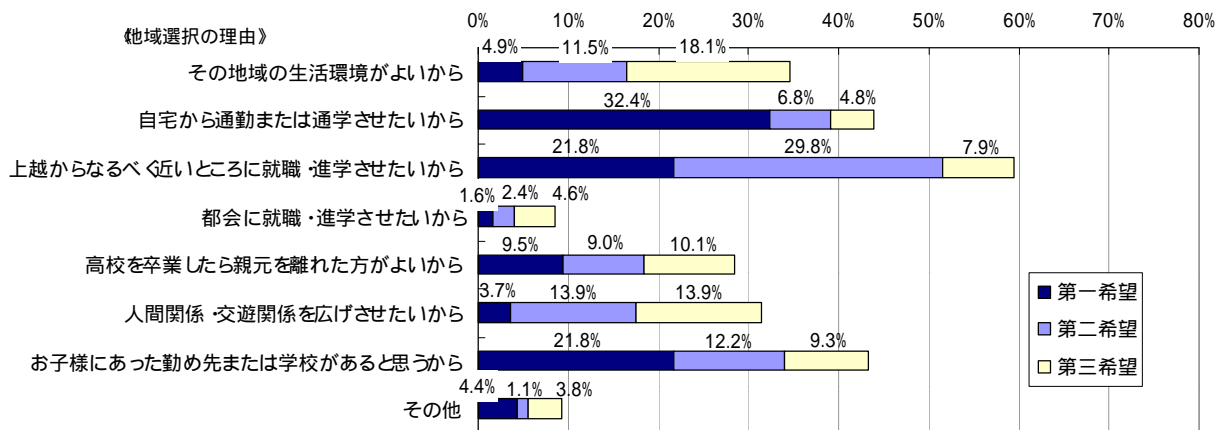


就職・進学希望地域の選択理由《保護者のみ質問》

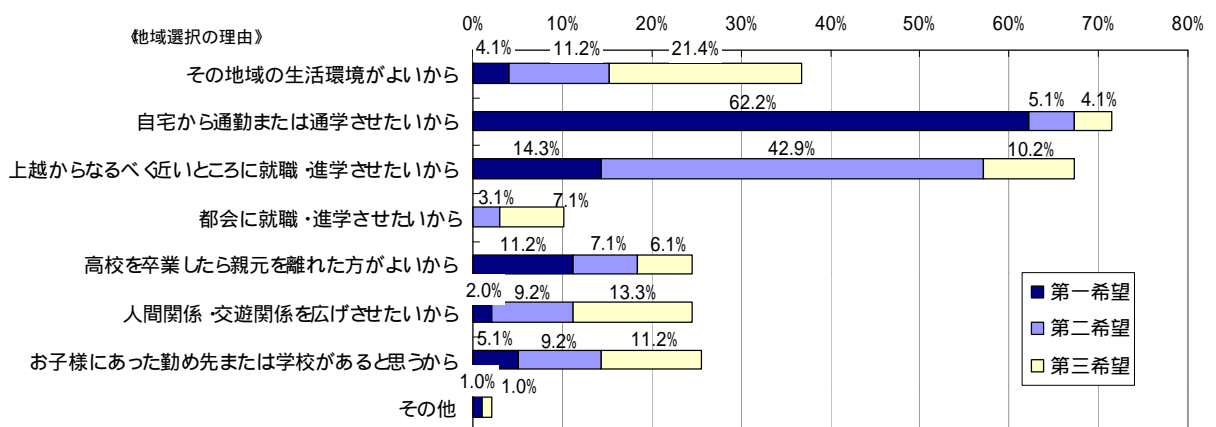
質問：あなたは、質問2（進学希望地域に関する質問）で第1位にあげられた地域に、お子様を就職又は進学させたい理由は何ですか。（強い理由の順に3つまで回答）（調査票：保護者編【質問3】に対応）

- ・ 保護者に高校生の就職・進学希望地域の選択理由を質問したところ、全体的には、「自宅から通勤・進学させたいから」、「上越からなるべく近いところに就職・進学させたいから」が主な理由として挙げられた。
- ・ 進路別に比較すると、就職希望の保護者では「自宅から通勤させたいから」が第1希望として圧倒的に多くなっている。
- ・ 進学希望者について進学希望校別に比較すると、短大及び専修・専門学校希望者は、全体的な傾向と同様であるが、大学進学希望者に関しては、近距離を求める傾向が弱く、「お子様にあった学校があると思うから」や「都会に就職・進学させたいから」が他よりも多くなっている。
- ・ また、大学、短大進学希望の保護者は、他の進路希望者よりも人間・交友関係の充実を求めている傾向がみられた。（以上、図2-2-22～図2-2-26）

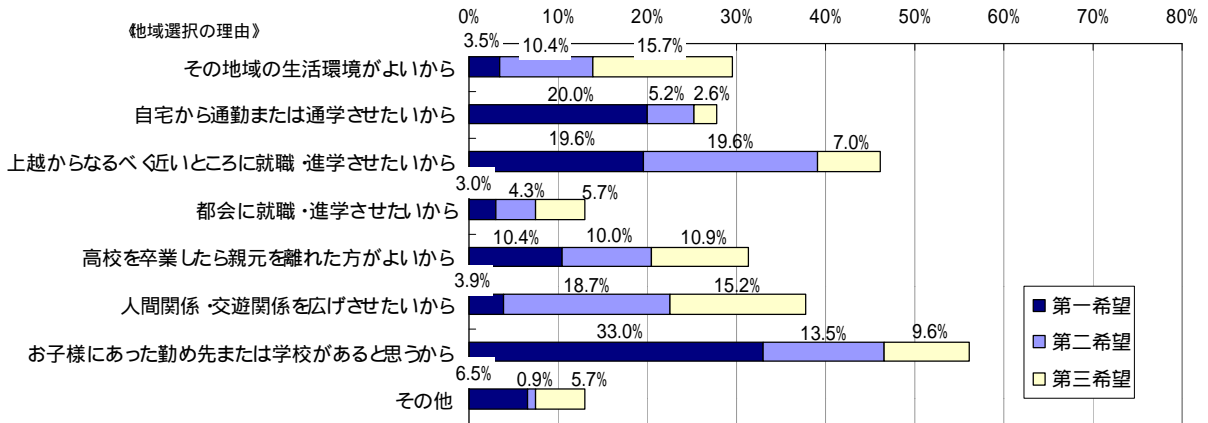
【図2-2-22 就職・進学希望地域の選択理由（保護者全体）】



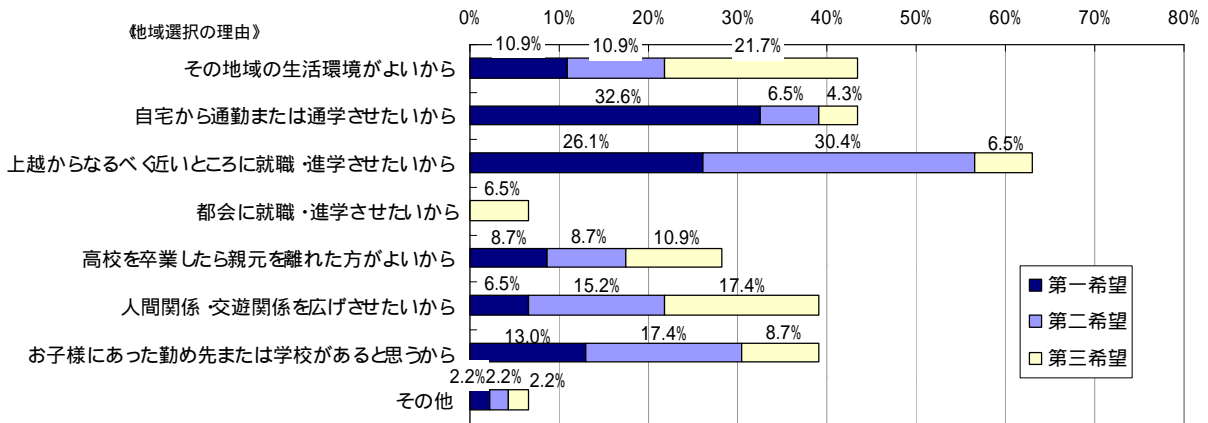
【図2-2-23 就職希望地域の選択理由（就職希望保護者）】



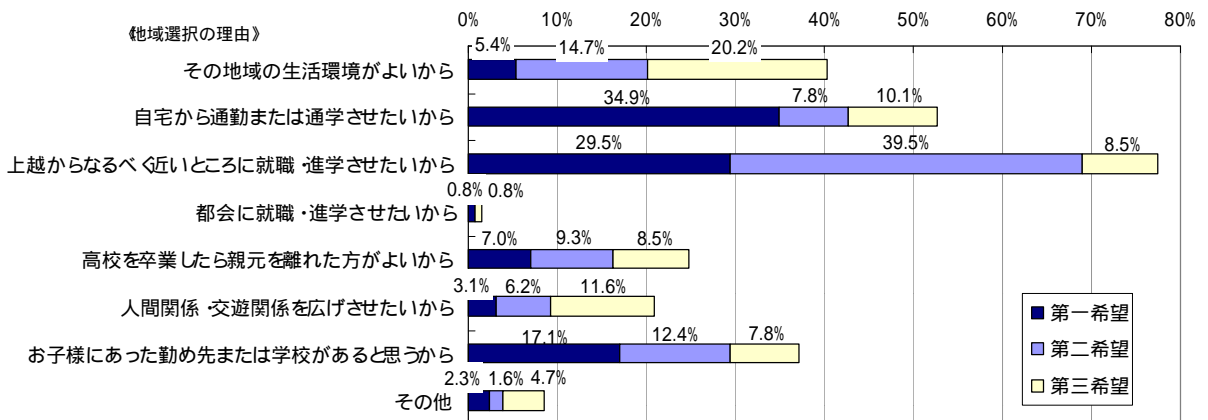
【図 2-2-24 進学希望地域の選択理由（大学進学希望保護者）】



【図 2-2-25 進学希望地域の選択理由（短大進学希望保護者）】



【図 2-2-26 進学希望地域の選択理由（専修・専門学校進学希望保護者）】

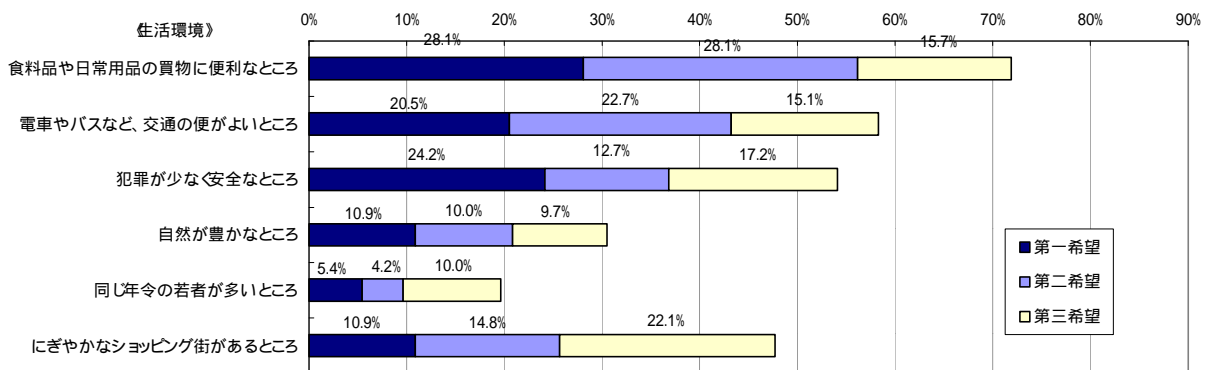


生活環境の希望《生徒のみ質問》

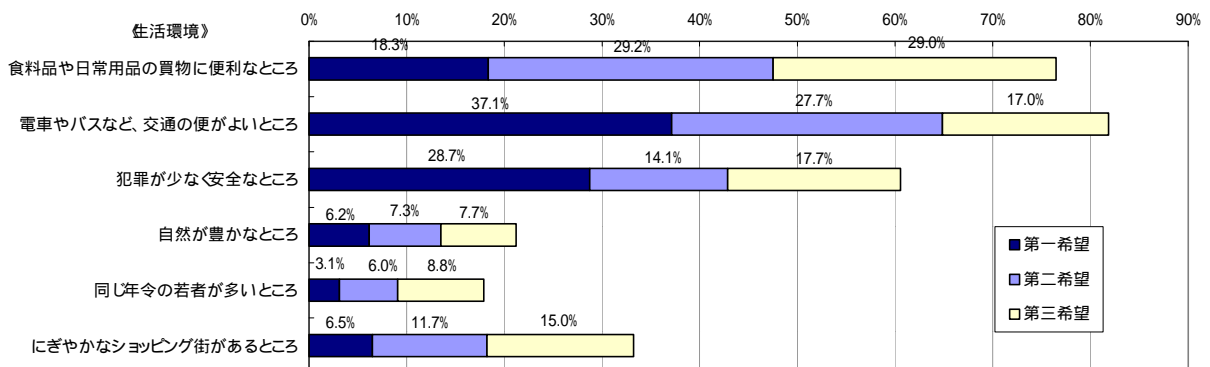
質問：あなたは就職・進学したらどんなところに住みたいですか。（希望する順に3つまで回答）（調査票：生徒編【質問7】に対応）

- ・ 高校生に就職・進学する際に希望する生活環境について第1希望から第3希望まで質問した。
- ・ 就職・進学希望を問わずに、「食料品や日用品の買い物に便利なところ」、「電車やバスなど、交通の便が良いところ」、「犯罪が少なく安全なところ」が常に上位になり、実生活に直結している部分を重視している傾向がわかる。
- ・ 両者の間で意識の差がみられたものは、第1希望の回答であった。就職希望者は「食料品や日用品の買い物に便利なところ」、進学希望者は「電車やバスなど、交通の便が良いところ」への希望が強かった。
- ・ また、「にぎやかなショッピング街があるところ」「自然が豊かなところ」についても、就職希望者の方が進学希望者よりも全体的に希望が強く、両者の間で差がみられた。（以上図 2-2-27、図 2-2-28）

【図 2-2-27 就職希望者が希望する生活環境】



【図 2-2-28 進学希望者が希望する生活環境】



(4) 就職・進学後の生活について《生徒のみ質問》

就職・進学後のライフスタイル

質問：あなたは就職・進学したら、どんな生活を送ってみたいと思いますか。(5段階で回答)(調査票：生徒編【質問8】に対応)

就職希望者の意向

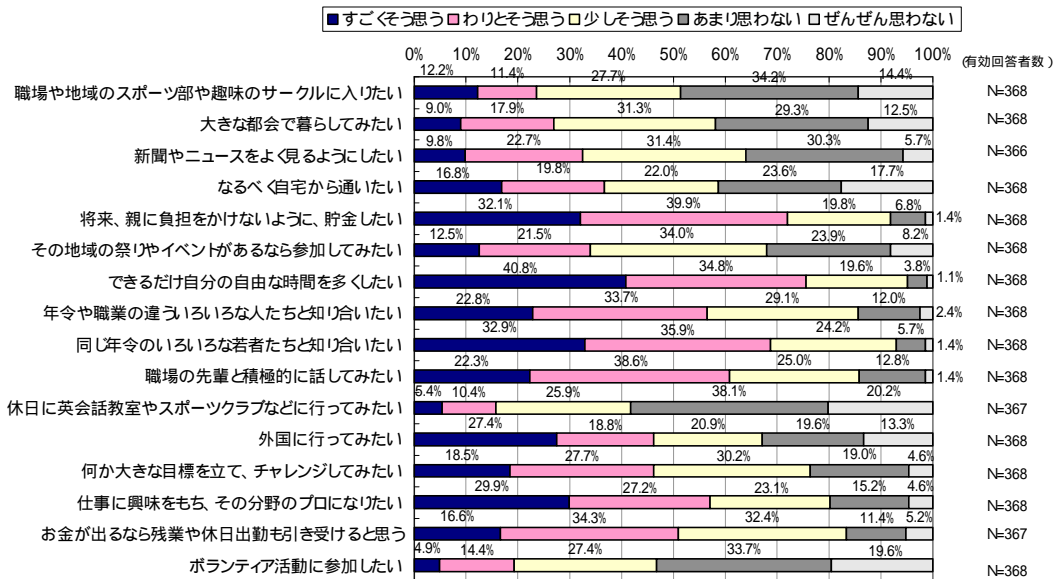
- ・ 就職希望の高校生に就職後の社会人生活について、16項目にわたり質問した。
- ・ 肯定傾向が特に強かった項目は、強い方から「できるだけ自分の自由な時間を多くしたい」(4.10点)、「将来、親に負担をかけないように、貯金したい」(3.95点)、「同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい」(3.93点)であった。
- ・ 一方、比較的肯定傾向が弱かった項目は、弱い方から「休日に英会話教室やスポーツクラブに行ってみたい」(2.43点)、「ボランティア活動に参加したい」(2.51点)、「職場や地域のスポーツ部や趣味のサークルに入りたい」(2.73点)、「大きな都会で暮らしてみたい」(2.82点)、「なるべく自宅から通いたい」(2.95点)であった。(以上表2-2-3、図2-2-29)

【表2-2-3 就職後のライフスタイル(就職希望生徒：平均点)】

生活スタイル	平均点
できるだけ自分の自由な時間を多くしたい	4.10
将来、親に負担をかけないように、貯金したい	3.95
同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい	3.93
職場の先輩と積極的に話してみたい	3.68
年令や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい	3.63
仕事に興味をもち、その分野のプロになりたい	3.63
お金が出るなら残業や休日出勤も引き受けと思う	3.46
何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい	3.36
外国に行ってみたい	3.27
その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみたい	3.06
新聞やニュースをよく見るようにしたい	3.01
なるべく自宅から通いたい	2.95
大きな都会で暮らしてみたい	2.82
職場や地域のスポーツ部や趣味のサークルに入りたい	2.73
ボランティア活動に参加したい	2.51
休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみたい	2.43

「すごくそう思う」を5点、「わりとそう思う」を4点、「少しそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点。

【図2-2-29 就職後のライフスタイル(就職希望生徒：内訳)】



進学希望者の意向

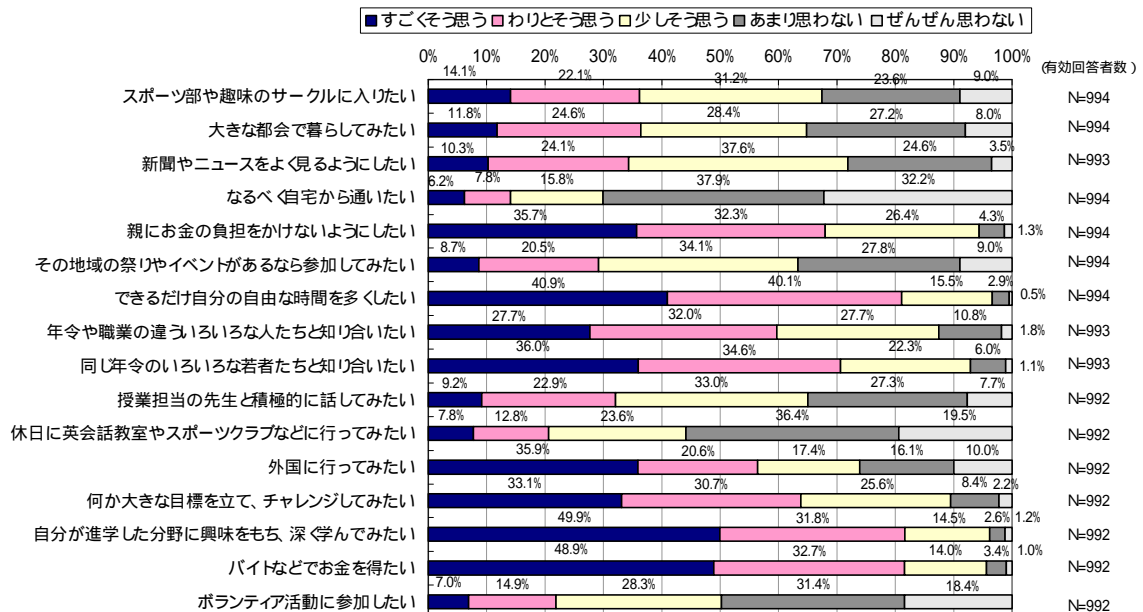
- ・ 進学希望の高校生に進学後の学生生活について、16項目にわたり質問した。
- ・ 肯定傾向が特に強かった項目は、強い方から「自分が進学した分野に興味をもち、深く学んでみたい」(4.27点)、「バイトなどでお金を得たい」(4.25点)「できるだけ自分の自由な時間を多くしたい」(4.18点)、「同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい」(3.98点)、「親にお金の負担をかけないようにしたい」(3.97点)であった。
- ・ 一方、比較的肯定傾向が弱かった項目は、弱い方から「なるべく自宅から通いたい」(2.18点)、「休日に英会話教室やスポーツクラブに行ってみよう」(2.53点)、「ボランティア活動に参加したい」(2.61点)、「その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみよう」(2.92点)、「授業担当の先生と積極的に話してみよう」(2.99点)であった。(以上表 2-2-4、図 2-2-30)

【表 2-2-4 進学後のライフスタイル(進学希望生徒：平均点)】

生活スタイル	平均点
自分が進学した分野に興味をもち、深く学んでみたい	4.27
バイトなどでお金を得たい	4.25
できるだけ自分の自由な時間を多くしたい	4.18
同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい	3.98
親にお金の負担をかけないようにしたい	3.97
何か大きな目標を立て、チャレンジしてみよう	3.84
年令や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい	3.73
外国に行ってみよう	3.56
新聞やニュースをよく見るようにしたい	3.13
スポーツ部や趣味のサークルに入りたい	3.09
大きな都会で暮らしてみよう	3.05
授業担当の先生と積極的に話してみよう	2.99
その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみよう	2.92
ボランティア活動に参加したい	2.61
休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみよう	2.53
なるべく自宅から通いたい	2.18

「すごくそう思う」を5点、「わりとそう思う」を4点、「少しそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点。

【図 2-2-30 進学後のライフスタイル(進学希望生徒：全体)】



進学希望校別の比較

- ・ 進学希望の高校生の意向を進学希望校別に比較したところ、次の項目で特に傾向の違いがみられた。(表 2-2-5、図 2-2-31)

「スポーツ部や趣味のサークルに入りたい」

大学、短大、専修専門学校の順に肯定傾向が強かった。

「大きな都会で暮らしてみたい」

専修・専門学校、短大、大学の順に肯定傾向が強かった。

「なるべく自宅から通いたい」

短大、専修・専門学校、大学の順に肯定傾向が強かった。

「バイトなどでお金を得たい」

短大、専修・専門学校、大学の順に肯定傾向が強かった。

「ボランティア活動に参加したい」

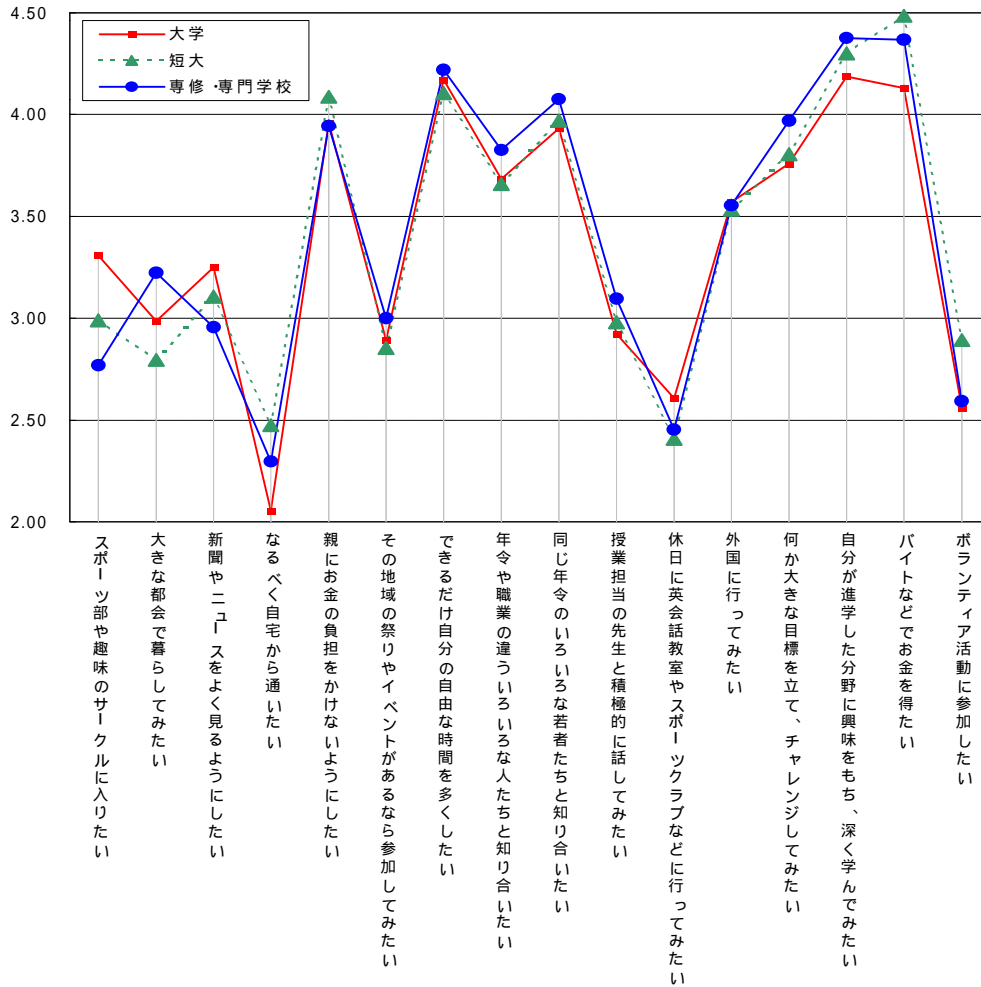
短大希望者が特に肯定傾向が強かった。

【表 2-2-5 進学後のライフスタイル(進学希望校別：平均点)】

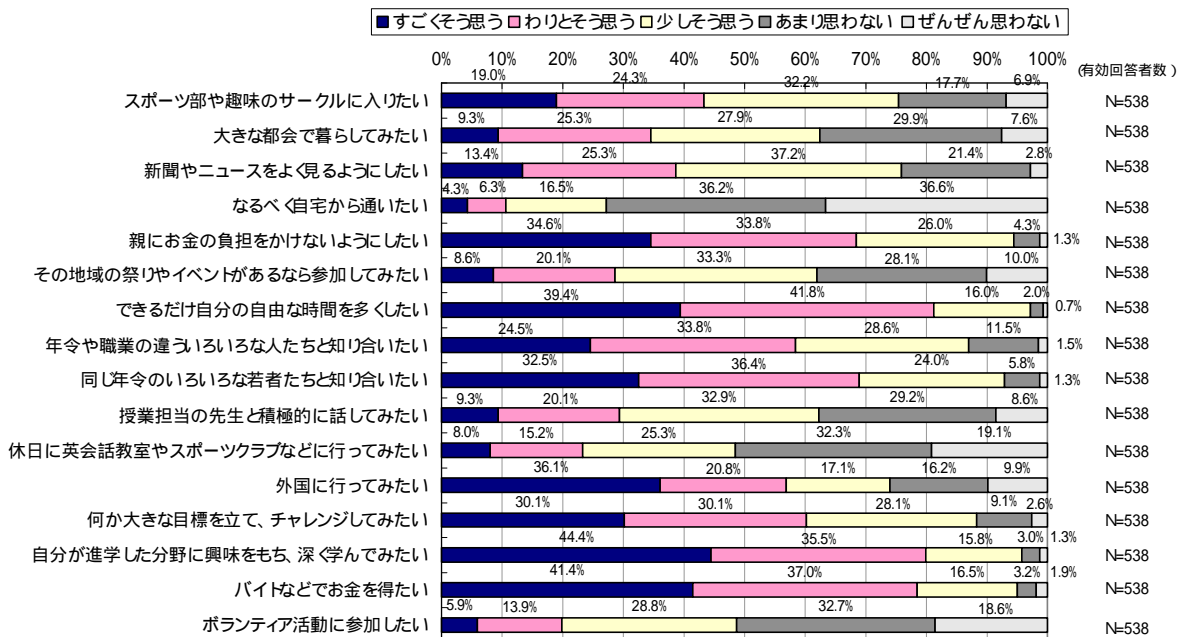
NO.	生活スタイル	大学		短大		専修・専門学校	
		平均点	順位	平均点	順位	平均点	順位
1	スポーツ部や趣味のサークルに入りたい	3.31	9	2.99	10	2.77	13
2	大きな都会で暮らしてみたい	2.99	11	2.80	14	3.22	9
3	新聞やニュースをよく見るようにしたい	3.25	10	3.11	9	2.96	12
4	なるべく自宅から通いたい	2.05	16	2.48	15	2.30	16
5	親にお金の負担をかけないようにしたい	3.96	4	4.09	4	3.94	6
6	その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみたい	2.89	13	2.85	13	3.00	11
7	できるだけ自分の自由な時間を多くしたい	4.17	2	4.11	3	4.22	3
8	年令や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい	3.68	7	3.66	7	3.83	7
9	同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい	3.93	5	3.97	5	4.08	4
10	授業担当の先生と積極的に話してみたい	2.92	12	2.98	11	3.10	10
11	休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみたい	2.61	14	2.41	16	2.45	15
12	外国に行ってみたい	3.57	8	3.53	8	3.55	8
13	何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい	3.76	6	3.81	6	3.97	5
14	自分が進学した分野に興味をもち、深く学んでみたい	4.19	1	4.30	2	4.38	1
15	バイトなどでお金を得たい	4.13	3	4.49	1	4.37	2
16	ボランティア活動に参加したい	2.56	15	2.89	12	2.59	14

「すごくそう思う」を5点、「わりとそう思う」を4点、「少しそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点。(表 2-2-5、図 2-2-31)

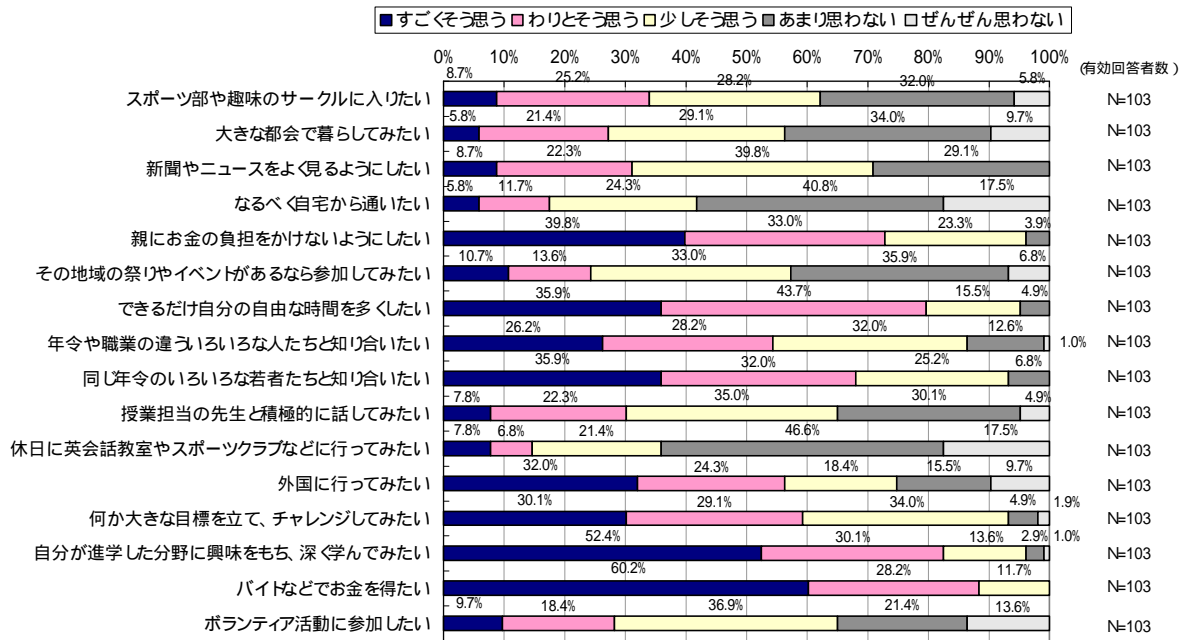
【図 2-2-31 進学後のライフスタイル（進学希望校別：平均点比較）】



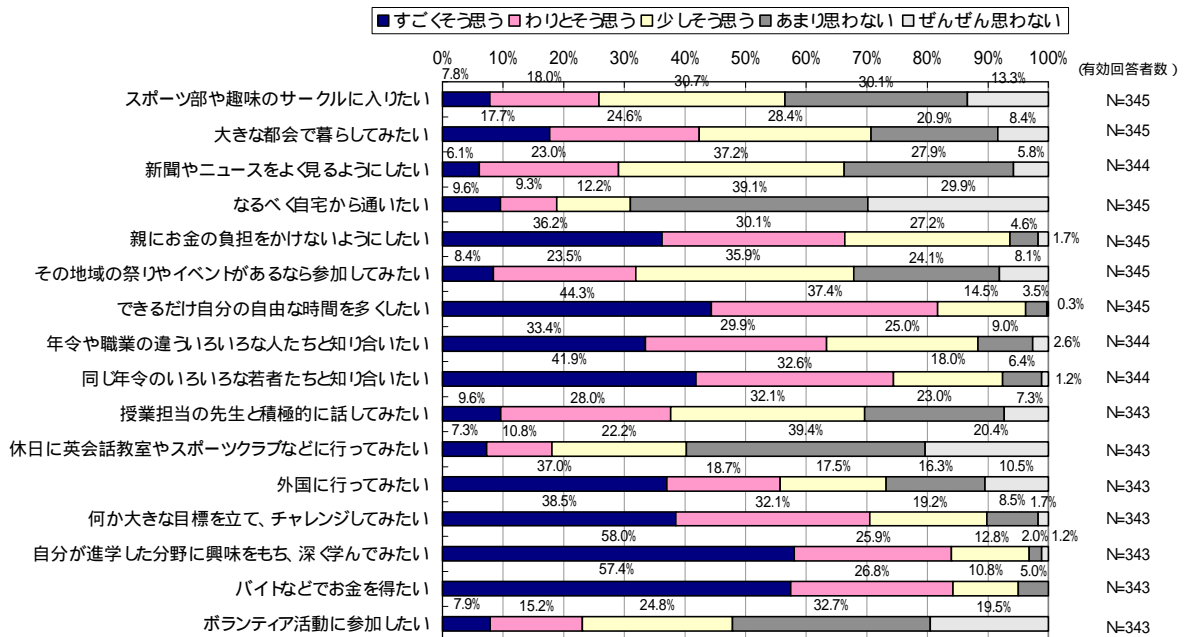
【図 2-2-32 進学後のライフスタイル（大学進学希望生徒：内訳）】



【図 2-2-33 進学後のライフスタイル（短大進学希望生徒：内訳）】



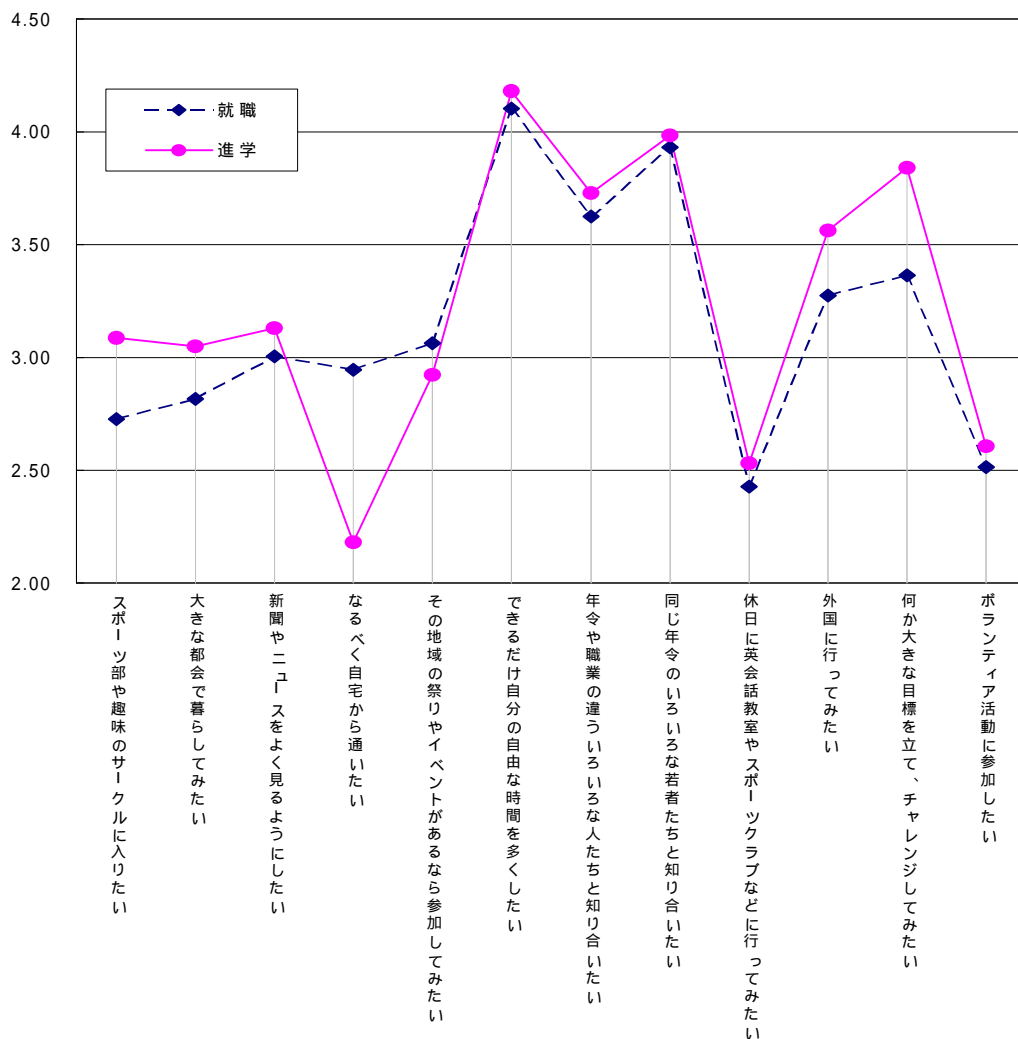
【図 2-2-34 進学後のライフスタイル（専修・専門学校進学希望生徒：内訳）】



進路別の比較（共通項目のみ）

- ・ 就職・進学後の生活に対する意向を進路（就職・進学）希望別に比較したところ、次のような違いがみられた。（比較は共通項目のみ）
- ・ 相対的に就職希望者で肯定傾向が強かった項目は「なるべく自宅から通いたい」であった。
- ・ 一方、相対的に進学希望者で肯定傾向が強かった項目は「スポーツ部や趣味のサークルに入りたい」、「大きな都会で暮らしたい」、「外国に行ってみたい」、「何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい」であった。（以上図 2-2-35）

【図 2-2-35 就職・進学後のライフスタイル（共通質問項目のみ平均点比較）】



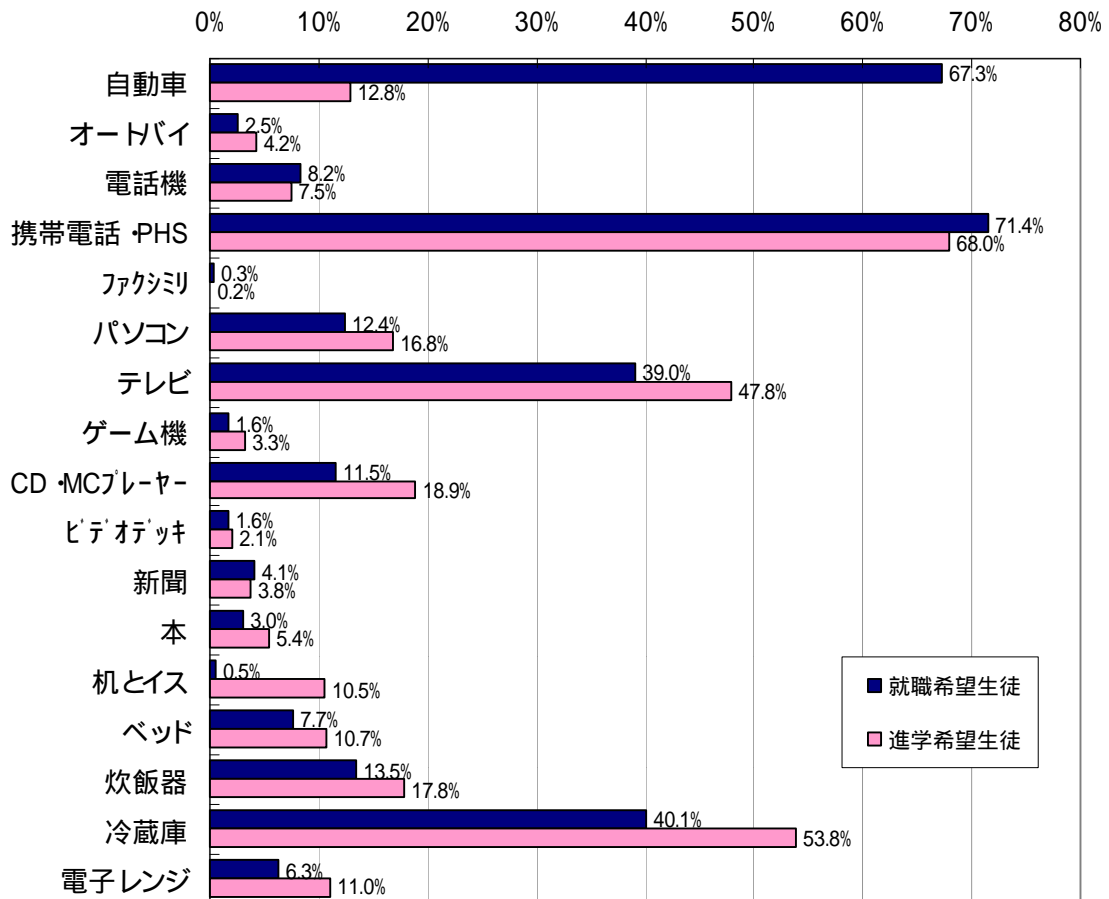
「すごくそう思う」を5点、「わりとそう思う」を4点、「少しそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点。（数値は表 2-2-3、表 2-2-4）

社会人・学生生活での「生活必需品」

質問：あなたが就職・進学して、社会人・学生生活を送るときに、ないと困ると思うものは何ですか。（希望する順に3つまで回答）
 （調査票：生徒編【質問6】に対応）

- ・ 高校生に、社会人・学生生活を送る上での生活必需品は何かを質問した。
- ・ 就職・進学希望者に共通して最も必要性が高いと感じているものは、「携帯電話・PHS」で、およそ7割の高校生にのぼる。また、他に共通して必要性を強く感じているものとしては、「冷蔵庫」「テレビ」がみられた。
- ・ 就職希望者と進学希望者の間でもっとも差がみられたのは「自動車」であり、進路によって生活スタイルへの認識に大きな違いがあることがわかる。（以上図2-2-36）

【図2-2-36 社会人・学生生活を送る上での必需品】



2-3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について

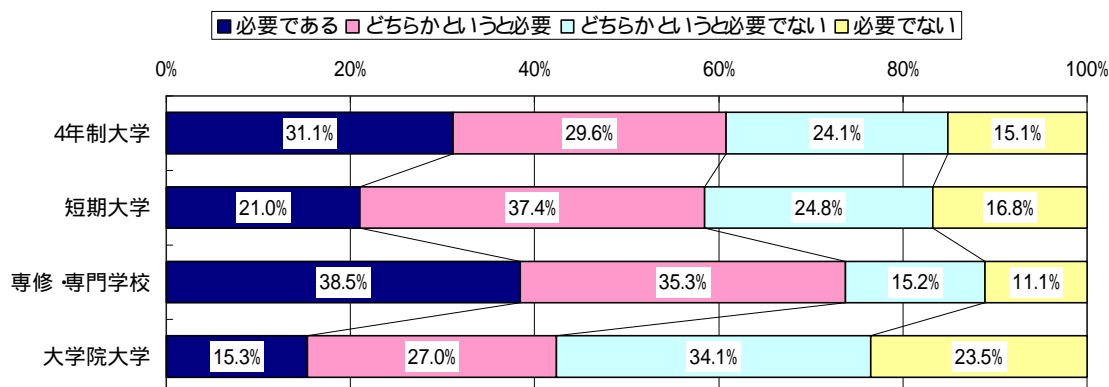
(1) 必要性《生徒・保護者へ質問》

質問：あなたは上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校が必要だと思いますか。(4段階で回答)(調査票：生徒編【質問9】、保護者編【質問4】に対応)

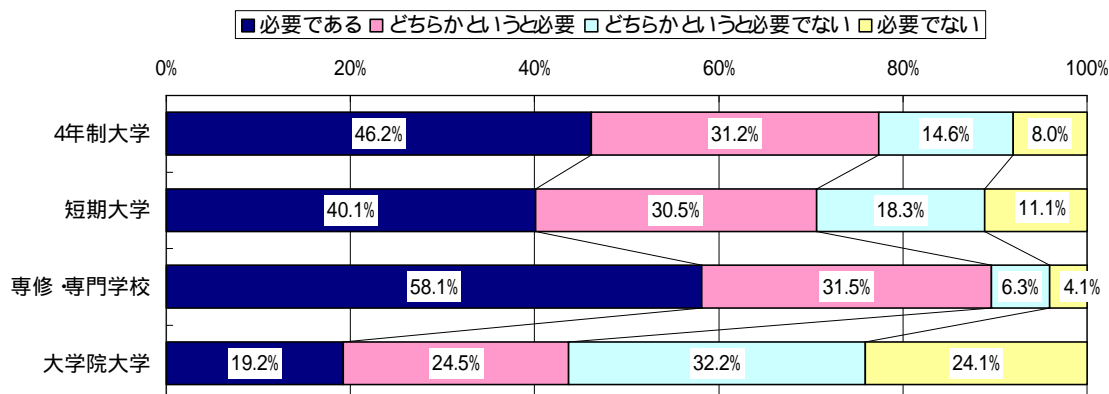
高等教育機関別の比較

- ・ 高校生、保護者の双方に、上越地域への新たな高等教育機関設置の必要性について質問した。
- ・ 高校生では、大学、短期大学で約6割、専修・専門学校は約7割の生徒が必要であると答えている。(図2-3-1)
- ・ 保護者では、大学・短期大学については7割以上、専修・専門学校については約9割が必要と答え、高校生よりも必要性を高く感じていることがうかがえる。(図2-3-2)
- ・ なお、大学院大学については、社会的な認知度の低さも原因かと思われるが、生徒・保護者ともに必要性が低かった。

【図2-3-1 新たな高等教育機関の必要性(生徒)】



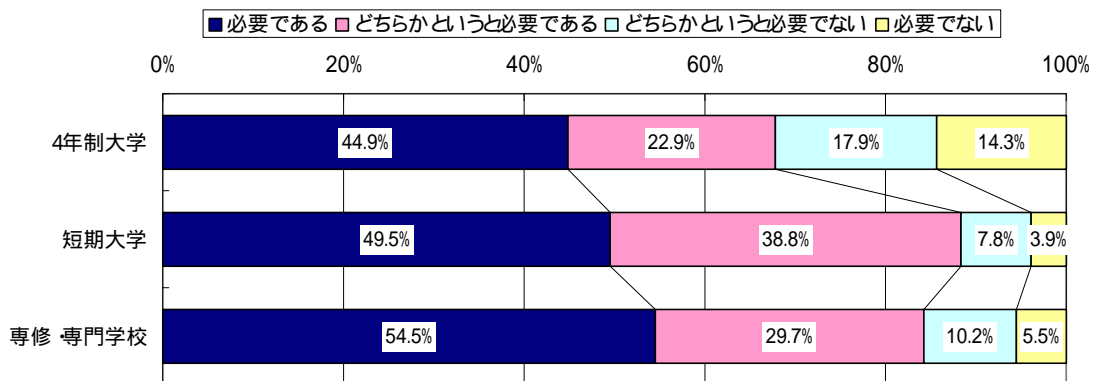
【図2-3-2 新たな高等教育機関の必要性(保護者)】



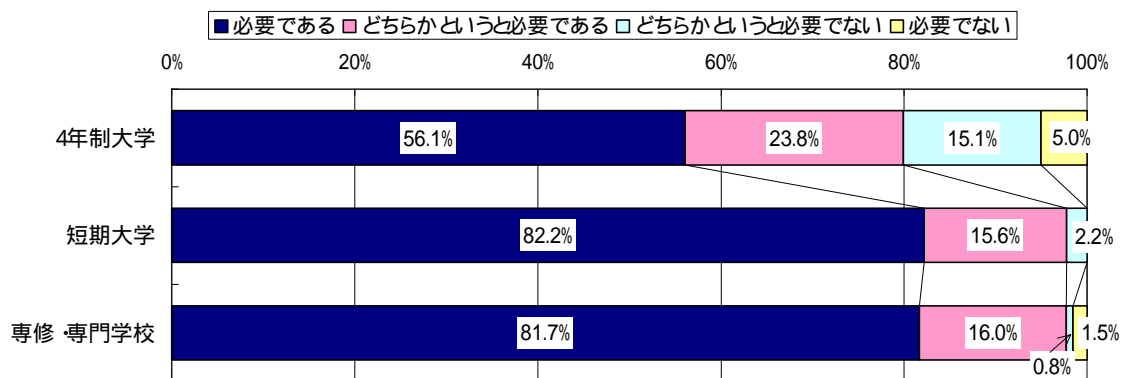
進学希望校別比較

- ・ 大学、短期大学、専修・専門学校への進学希望生徒と保護者に、それぞれが進学を希望している学校の設置の必要性を質問した。
- ・ 大学は6割以上の生徒と8割の保護者が必要と答えている。また、短期大学、専修・専門学校については、8割以上の生徒とほぼ全員に近い保護者が必要と答えており、新たな高等教育機関設置へのニーズの高さがうかがえた。
- ・ いずれも、先の生徒・保護者の全体へ質問した場合（図 2-3-1、図 2-3-2）と比べ、必要性を認める回答が多くみられた。しかし、高等教育機関別の傾向をみると、短期大学、専修・専門学校はそれぞれの進学希望者の場合、生徒・保護者の全体と比べ必要性が大きく伸びる傾向がみられたが、大学に関しては、伸びが少なかった。（以上図 2-3-3、図 2-3-4）

【図 2-3-3 新たな高等教育機関の必要性（生徒：進学希望校別）】



【図 2-3-4 新たな高等教育機関の必要性（保護者：進学希望校別）】

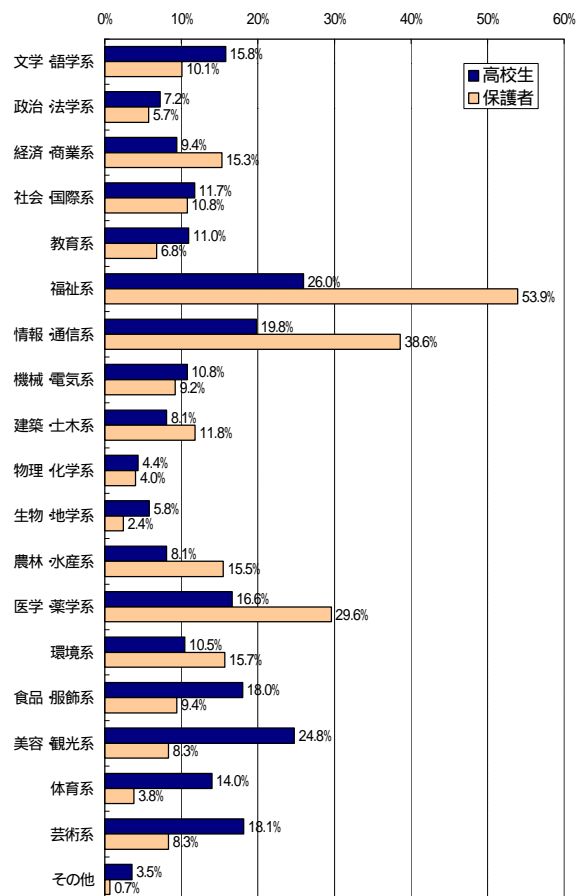


(2) 希望する分野《生徒・保護者へ質問》

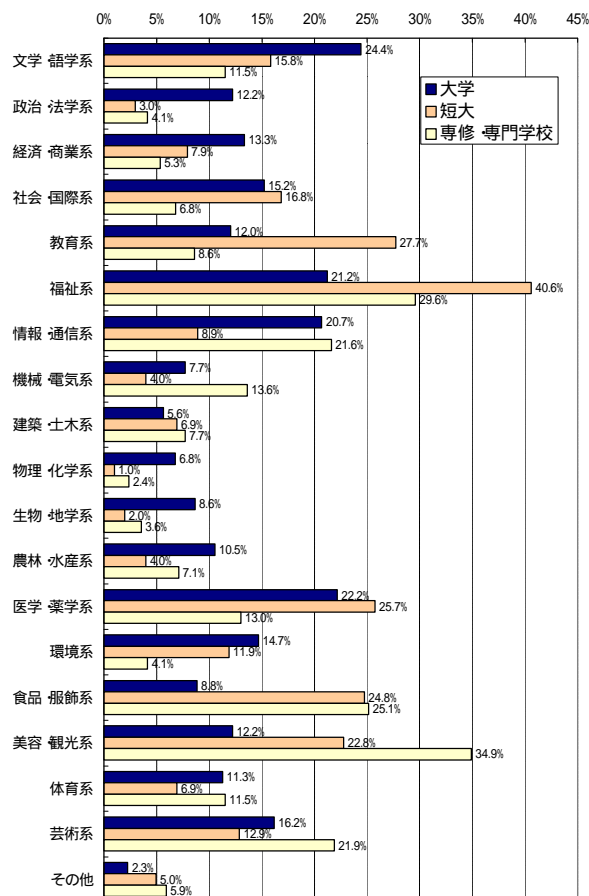
質問：もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられるとしたら、あなたはどんな分野の学校を希望しますか。(3つまで回答)
 (調査票：生徒編【質問10】、保護者編【質問5】に対応)

- ・ 高校生、保護者の双方に、新たに設置を希望する高等教育機関の専門分野について質問した。
- ・ 高校生では、「福祉系」、「美容・観光系」、「情報・通信系」、「医学・薬学系」の希望が特に多かったが、全体的には全ての分野にわたって幅広く希望が分散している傾向がみられた。
- ・ 保護者では「福祉系」の希望が著しく多く、次いで「情報・通信系」、「医学・薬学系」の希望が多く、この3分野への希望が特に多かった。(以上図2-3-5)
- ・ 高校生の希望を進学希望学校別にみると、大学進学を希望している生徒では、「文学・語学系」、「医学・薬学系」、「福祉系」、「情報・通信系」、「芸術系」、「社会・国際系」、「環境系」の希望が多く、短大希望者では「福祉系」、「教育系」、「医学・薬学系」、「食品・服飾系」、「美容・観光系」が多かった。専門学校では「美容・観光系」、「福祉系」、「食品・服飾系」、「芸術系」、「情報・通信系」が多かった。(図2-3-6)

【図2-3-5 分野の希望(生徒・保護者別)】



【図2-3-6 分野の希望(進学希望者：学校別)】



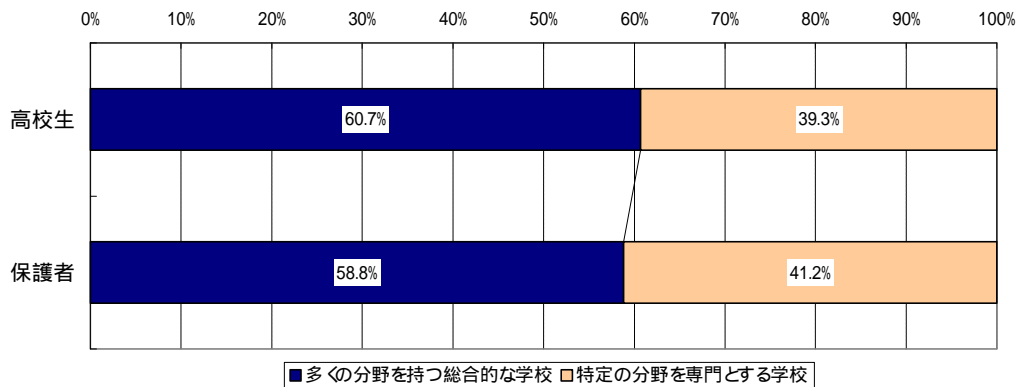
(3) 学校の特徴《生徒・保護者へ質問》

質問：もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられるとしたら、その学校はどんな特徴をもつ学校だとよいと思いますか。
 (調査票：生徒編【質問 11】、保護者編【質問 6】に対応)

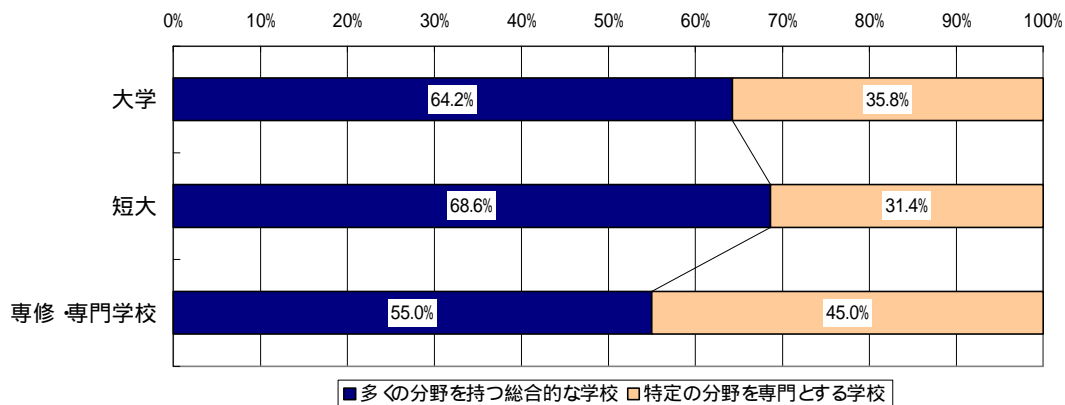
教育分野

- ・ 高校生と保護者の双方に、新たに設置を希望する高等教育機関の特徴について、「多くの分野をもつ総合的な学校」と「特定の分野を専門とする学校」の二者択一により質問した。
- ・ 全体的に総合的な学校への希望が6割程度と多くみられたが、両者の間に大きな開きはみられなかった。(図 2-3-7、図 2-3-8)

【図 2-3-7 新たな高等教育機関の特徴(教育分野)(生徒・保護者別)】



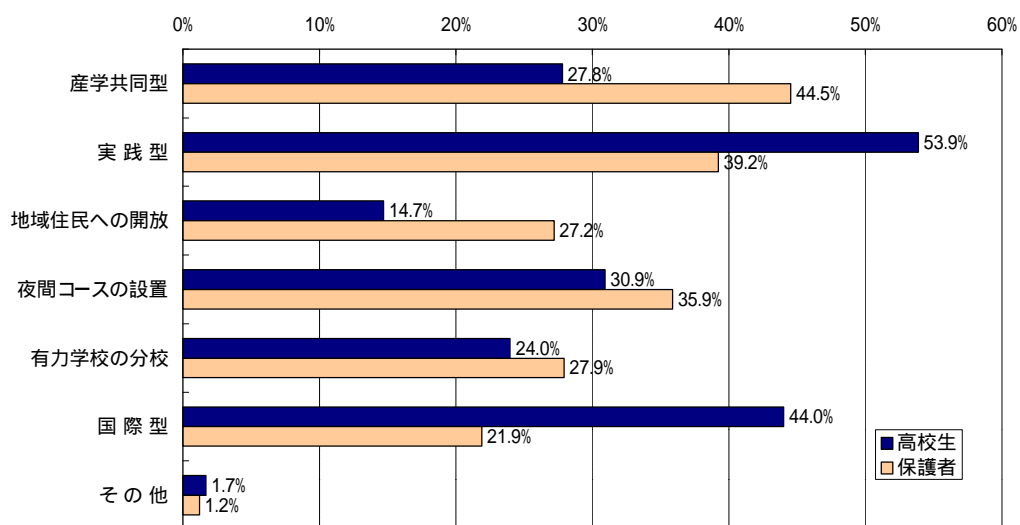
【図 2-3-8 新たな高等教育機関の特徴(教育分野)(進学希望生徒：学校別)】



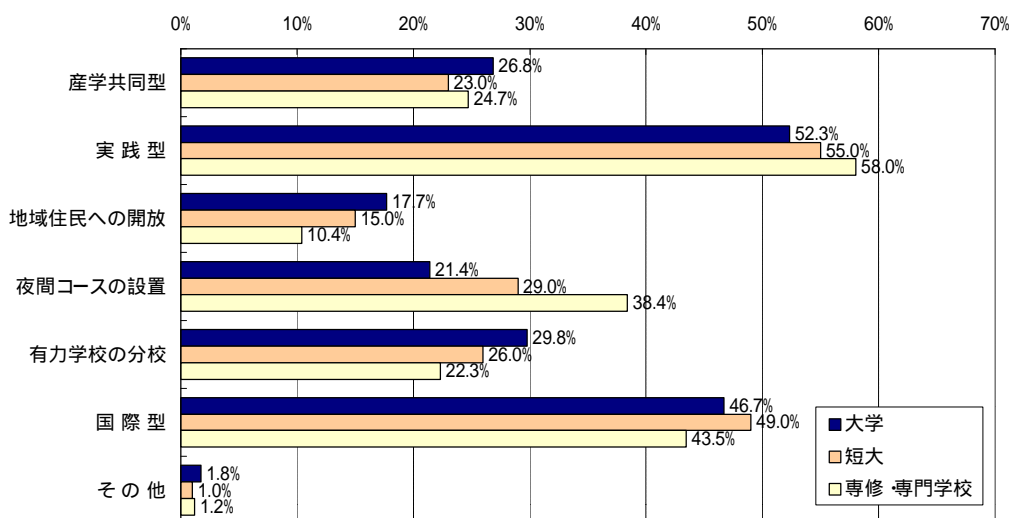
学校の特徴

- ・ 高校生と保護者の双方に、新たに設置を希望する高等教育機関の特徴について、6つの選択肢から選んでもらった。(2つまで回答)
- ・ 新たに設置を希望する高等教育機関に望む特徴としては、生徒は企業家等を育成する「実践型」や「国際型」の学校への希望が多く、保護者は「産学協同型」への希望が多くみられた。(図 2-3-9)
- ・ 生徒の進学希望校別でみると、全体的な傾向としては進学希望校間で大きな違いはないが、「夜間コースの設置」については専修・専門学校希望者に多くの希望がみられた。(図 2-3-10)

【図 2-3-9 新たな高等教育機関の特徴（生徒・保護者別）】



【図 2-3-10 新たな高等教育機関の特徴（進学希望生徒：学校別）】

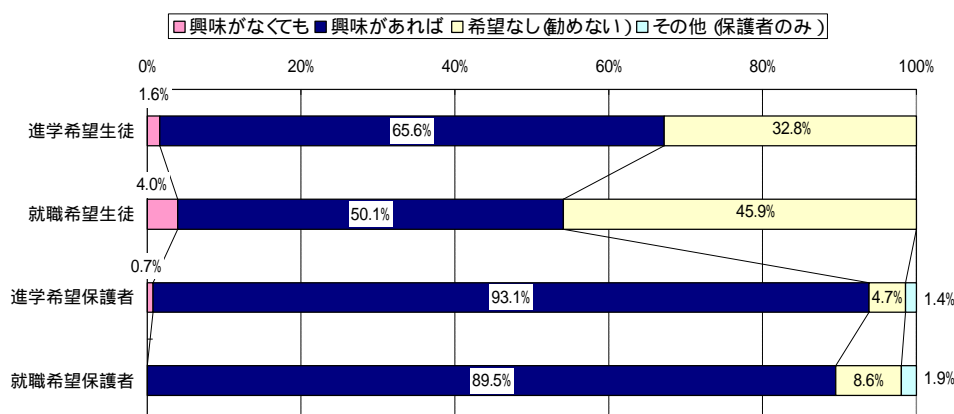


(4) 進学先としての評価《生徒・保護者へ質問》

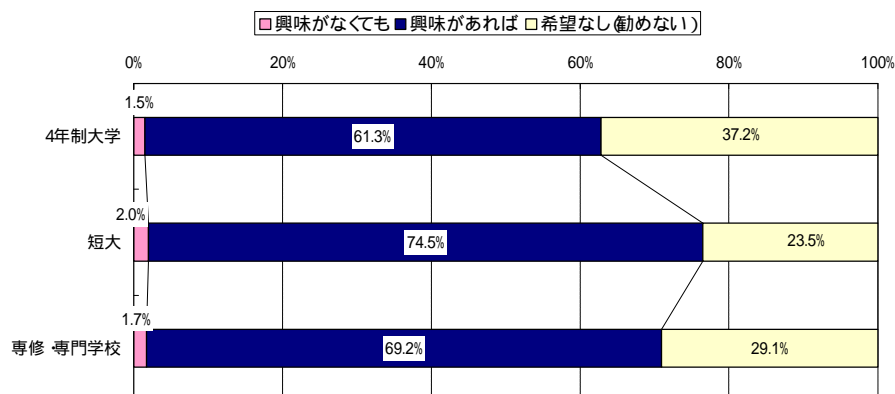
質問（生徒）
 : もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられるとしたら、あなたはその学校への進学を考えてみますか。
 質問（保護者）
 : もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられた場合、あなたはお子様にその学校への進学をすすめますか。
 (調査票 : 生徒編【質問12】、保護者編【質問7】に対応)

- ・ 高校生と保護者の双方に、上越地域に新たに高等教育機関を設置した場合、進学先として検討するかどうか質問した。
- ・ 希望の分野がある場合の仮定ではあるが、約6割の高校生と、9割以上の保護者が進学先として検討する意向を示している。
- ・ また、就職希望の生徒の5割以上が検討の意向を示していることから、新たな高等教育機関の設置によって、新たに進学を検討する生徒が生じ、進学率が向上することも期待できる。(以上図2-3-11)
- ・ 進学希望生徒の意向の内訳を、進学希望校別にみると短大進学希望者の希望が最も高かった。(図2-3-12)

【図2-3-11 新たな高等教育機関の進学先としての評価(生徒・保護者別)】



【図2-3-12 新たな高等教育機関の進学先としての評価(進学希望生徒:学校別)】



2-4 上越地域について

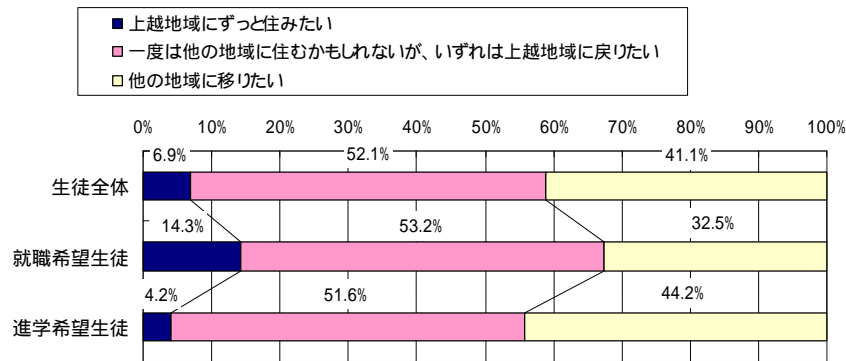
(1) 将来の居留意向《生徒のみ質問》

質問：あなたは将来も上越地域に住みたいと思いますか。

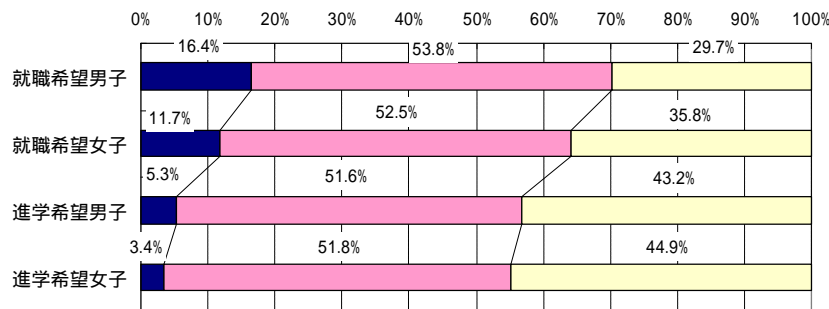
(調査票：生徒編【質問 14】に対応)

- ・ 高校生に将来の上越地域への居留意向を質問した。
- ・ 全体では、約6割の生徒が将来的に上越地域に住む意思を持っていることがわかった。(「ずっと住みたい」「いずれは戻りたい」の計)
- ・ 就職・進学希望別では、進学希望生徒の方が他の地域への移住を望んでいる傾向が強いことがわかる。(以上図 2-4-1)
- ・ 男女別では、「上越地域にずっと住みたい」と考える割合は就職希望の男子が最も高く(16.4%)、進学希望の女子が最も低くなっている(3.4%)。(図 2-4-2)
- ・ 進学希望者について、進学希望校別に分析したところ、短大への進学希望者が、将来的に上越に住みたいと思っている割合が最も高い(58.4%)ことがわかった。(図 2-4-3)

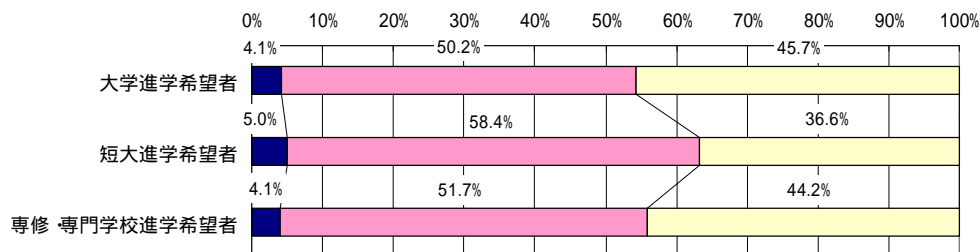
【図 2-4-1 将来の上越地域への居留意向(進路別)】



【図 2-4-2 将来の上越地域への居留意向(進路別・男女別)】



【図 2-4-3 将来の上越地域への居留意向(進学希望校別)】

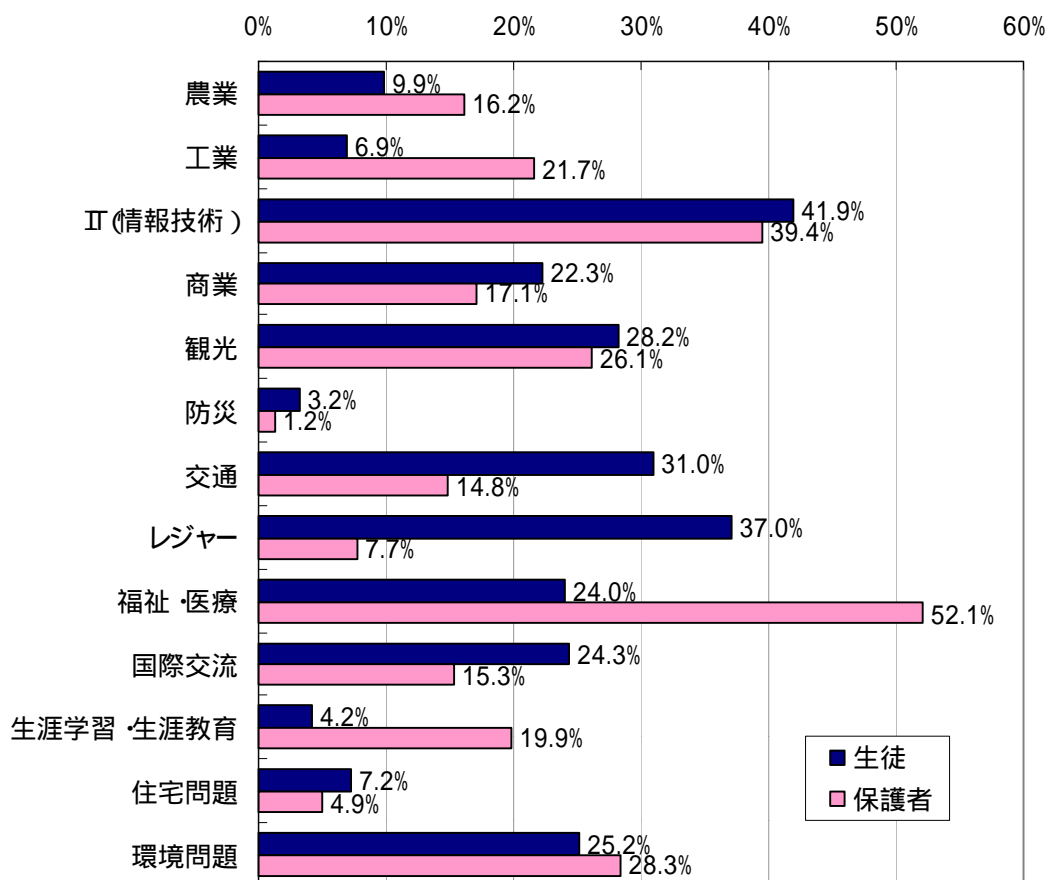


(2) 上越地域の発展のために力を入れるべき分野《生徒・保護者へ質問》

質問：これから上越地域が発展するためには、何に力を入れたらよいと思いますか。(3つまで回答)(調査票：生徒編【質問15】、保護者編【質問9】に対応)

- ・ 高校生と保護者に上越地域の発展のために力を入れるべき分野について質問した。
- ・ 高校生で最も回答が多かった分野は「IT(情報技術)」(41.9%)であった。他に回答が多かった分野としては、「レジャー」(37.0%)、「交通」(31.0%)がみられた。
- ・ 保護者で最も回答が多かった分野は「福祉・医療」(52.1%)であった。他に回答が多かった分野としては、「IT(情報技術)」(39.4%)があった。
- ・ 高校生・保護者共に回答が多かった分野は、「IT(情報技術)」、「環境問題」、「観光」であった。
- ・ 一方、両者の間で違いがみられた分野としては、「レジャー」「交通」は高校生の回答が特に多く、「生涯学習・生涯教育」「工業」「福祉・医療」は保護者の回答が特に多かった。

【図 2-4-4 上越地域が発展するために力を入れるべき分野(生徒・保護者別)】



【第3章：中学生編】

第3章 中学生編

3-1 現在の興味や考え《生徒のみ質問》

質問：あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか。(5段階で回答)
(調査票：生徒編【質問1】に対応)

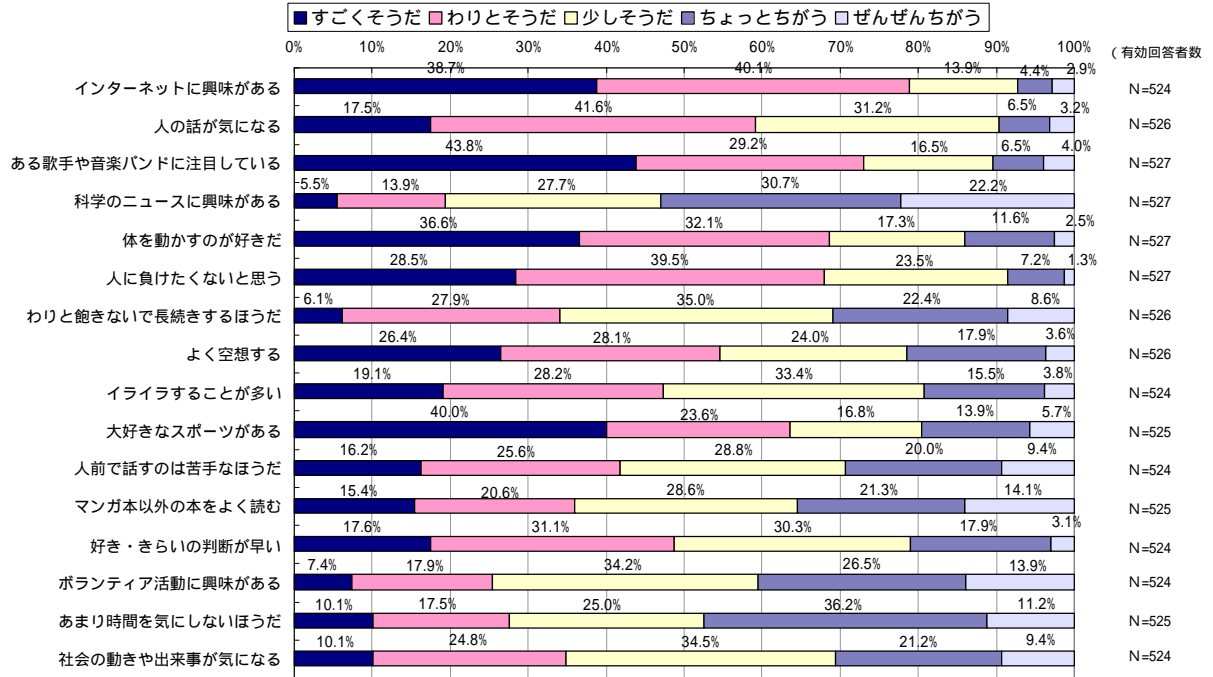
- ・ 中学生に現在の興味や考えについて、16項目にわたり質問した。
- ・ 肯定(同意)傾向が特に強かった項目は、強い方から「インターネットに興味がある」(4.07点)、「ある歌手や音楽バンドに注目している」(4.02点)、「体を動かすのが好きだ」(3.89点)、「人に負けたくないと思う」(3.87点)、「大好きなスポーツがある」(3.78点)であった。
- ・ 一方、比較的肯定(同意)傾向が弱かった項目は、弱い方から「科学のニュースに興味がある」(2.50点)、「ボランティア活動に興味がある」(2.78点)、「あまり時間を気にしないほうだ」(2.79点)であった。(以上表3-1-1、図3-1-1)
- ・ 以上の結果を高校生の場合(2-1)と比較すると、平均点の順位は若干変動があるものの、全体的な傾向は同じであった。「インターネットに興味がある」「マンガ本以外の本をよく読む」は中学生の方が比較的肯定傾向が強く、「人前で話すのは苦手なほうだ」は中学生の方が肯定傾向が弱く、両者の間で違いがみられた。

【表3-1-1 現在の興味や考え(中学生全体：平均点)】

興味や考え	平均点
インターネットに興味がある	4.07
ある歌手や音楽バンドに注目している	4.02
体を動かすのが好きだ	3.89
人に負けたくないと思う	3.87
大好きなスポーツがある	3.78
人の話が気になる	3.64
よく空想する	3.56
イライラすることが多い	3.43
好き・きらいの判断が早い	3.42
人前で話すのは苦手なほうだ	3.19
社会の動きや出来事が気になる	3.05
マンガ本以外の本をよく読む	3.02
わりと飽きないで長続きするほうだ	3.01
あまり時間を気にしないほうだ	2.79
ボランティア活動に興味がある	2.78
科学のニュースに興味がある	2.50

「すごくそうだ」を5点、「わりとそうだ」を4点、「少しそうだ」を3点、「ちょっとちがう」を2点、「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点。

【図 3-1-1 現在の興味や考え（中学生全体：平均点）】



3-2 進路に関する意向

(1) 将来に関する意向《生徒のみ質問》

将来つきたい仕事

質問：あなたは将来どんな仕事につきたいと思いますか。(3つまで回答)
(調査票：生徒編【質問2】に対応)

全体

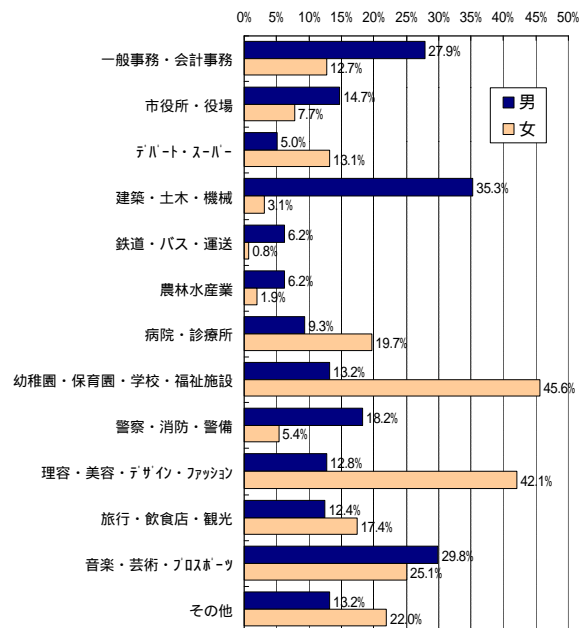
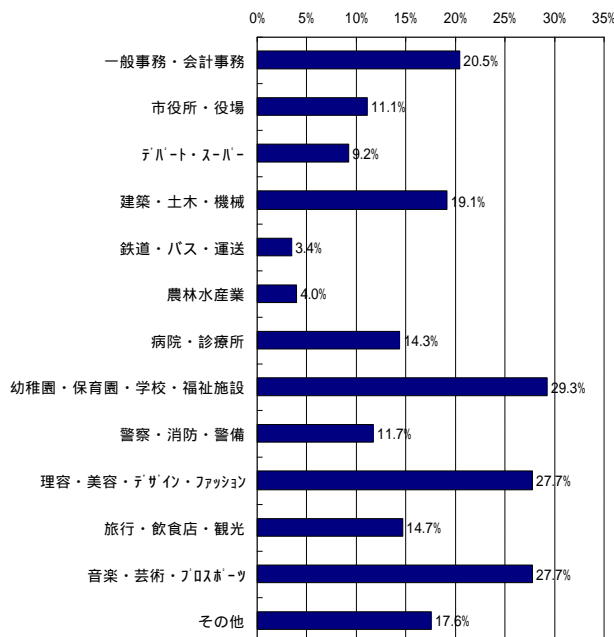
- ・中学生に将来どんな仕事に就きたいか質問したところ、全体では「幼稚園・保育園・学校・福祉施設」分野への希望が最も多かった。(29.3%)
- ・他に希望が多かった分野は、「理容・美容・デザイン・ファッション(27.7%)」、「音楽・芸術・プロスポーツ(27.7%)」であった。
- ・一方、希望の少なかった分野は、「鉄道・バス・運送(3.4%)」、「農林水産業(4.0%)」であった。(以上図3-2-1)

男女別

- ・男女別の内訳をみると、ほぼ全ての分野で両者の間に差をみることができた。
- ・男子は「建築・土木・機械」が最も希望が多かった(35.3%)。他に希望が多かった分野は「音楽・芸術・プロスポーツ」(29.8%)、「一般事務・会計事務」(27.9%)であり、一方、希望が少なかった分野は「デパート・スーパー」(5.0%)、「鉄道・バス・運送」(6.2%)、「農林水産業」(6.2%)であった。
- ・女子では「幼稚園・保育園・学校・福祉施設」への希望が最も多かった(45.6%)。他に希望が多かった分野は、「理容・美容・デザイン・ファッション」(42.1%)、「音楽・芸術・プロスポーツ」(25.1%)であり、一方希望が少なかった分野は「鉄道・バス・運送」(0.8%)、「農林水産業」(1.9%)、「建築・土木・機械」(3.1%)であった。(以上図3-2-2)

【図3-2-1 就職したい分野(全体)】

【図3-2-2 就職したい分野(男女別)】

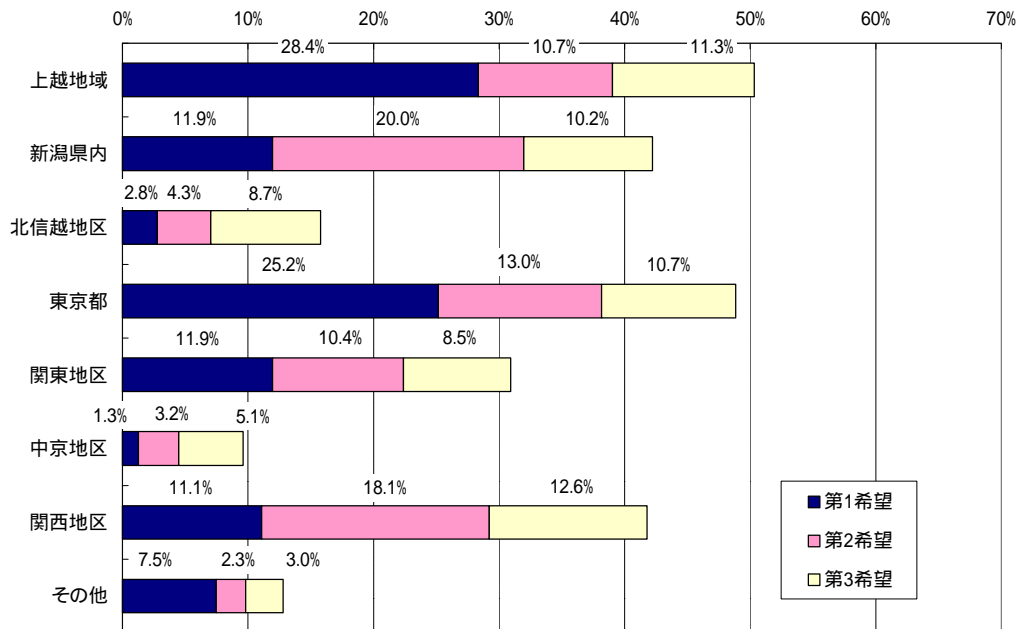


将来就職して住みたい地域

質問：あなたは将来、就職してどの地域に住みたいと思いますか。（希望する順に3つまで回答）（調査票：生徒編【質問3】に対応）

- ・ 中学生に将来、就職してどの地域に住みたいか質問した。
- ・ 第1希望の地域を比較すると、全体では上越地域への希望が最も多く（28.4%）、これに東京都（25.2%）が同程度の割合で続いており、この二つの地域への希望が特に多くみられた。
- ・ 以上の結果を第3希望までみると、第1希望は上越地域、第2希望は新潟県内、第3地域は関西地区への希望が多かった。全体的な希望の多さとしては、上越地域、東京都、新潟県内、関西地区への希望が多かった。

【図 3-2-3 中学生の将来の就職希望地域（第1～3希望）】



就職後のライフスタイル

質問：あなたは将来社会人になったら、どんな生活を送ってみたいと思いますか。(5段階で回答)(調査票：生徒編【質問4】に対応)

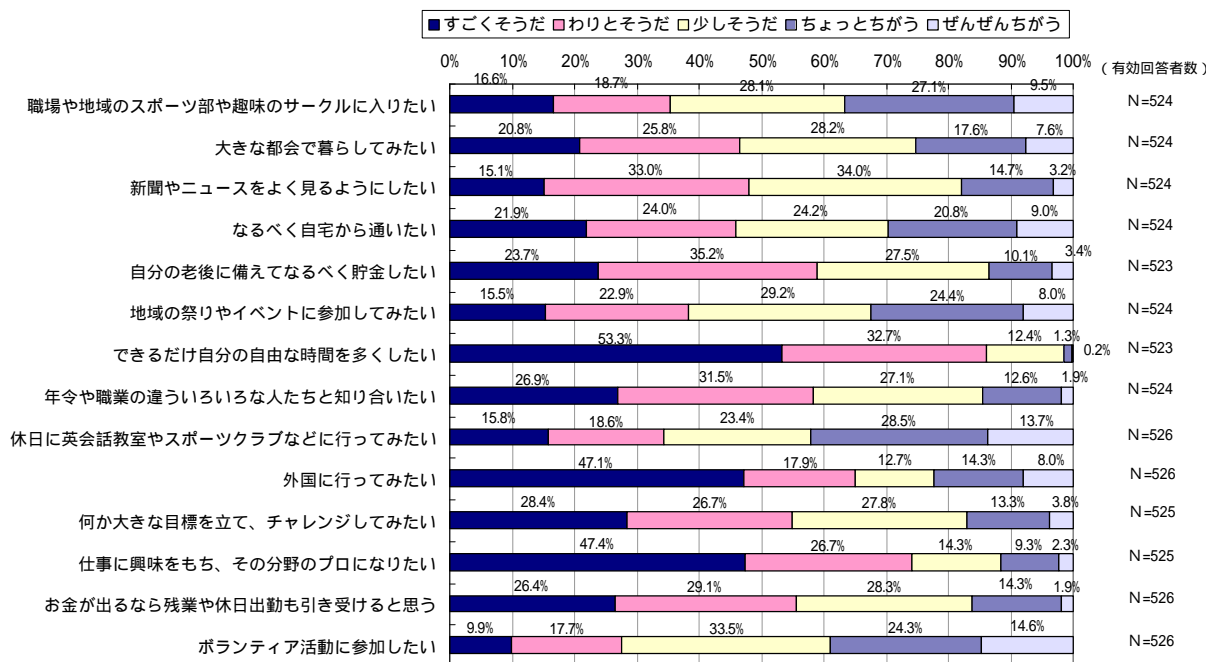
- ・中学生に就職後の社会人生活について、14項目にわたり質問した。
- ・肯定傾向が特に強かった項目は、強い方から「できるだけ自分の自由な時間を多くしたい」(4.38点)、「仕事に興味をもち、その分野のプロになりたい」(4.08点)であった。
- ・一方、比較的肯定傾向が弱かった項目は、弱い方から「ボランティア活動に参加したい」(2.84点)、「休日に英会話教室やスポーツクラブに行ってみみたい」(2.94点)であった。(以上表3-2-1、図3-2-4)

【表3-2-1 将来のライフスタイル(中学生全体：平均点)】

生活スタイル	平均点
できるだけ自分の自由な時間を多くしたい	4.38
仕事に興味をもち、その分野のプロになりたい	4.08
外国に行ってみみたい	3.82
年齢や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい	3.69
自分の老後に備えてなるべく貯金したい	3.66
お金が出るなら残業や休日出勤も引き受けると思う	3.64
何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい	3.62
新聞やニュースをよく見るようにしたい	3.42
大きな都会で暮らしてみたい	3.35
なるべく自宅から通いたい	3.29
地域の祭りやイベントに参加してみたい	3.13
職場や地域のスポーツ部や趣味のサークルに入りたい	3.06
休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみみたい	2.94
ボランティア活動に参加したい	2.84

「すごくそう思う」を5点、「わりとそう思う」を4点、「少しそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点。

【図3-2-4 将来のライフスタイル(中学生全体：平均点)】



(2) 高校卒業後の進路に関する意向

進学したい理由《生徒のみ質問》

質問：あなたが[質問5](就職する前に進学してみたい学校)で選んだ学校に進学したいと思う理由は何ですか。(5段階で回答)
(調査票：生徒編【質問6】に対応)

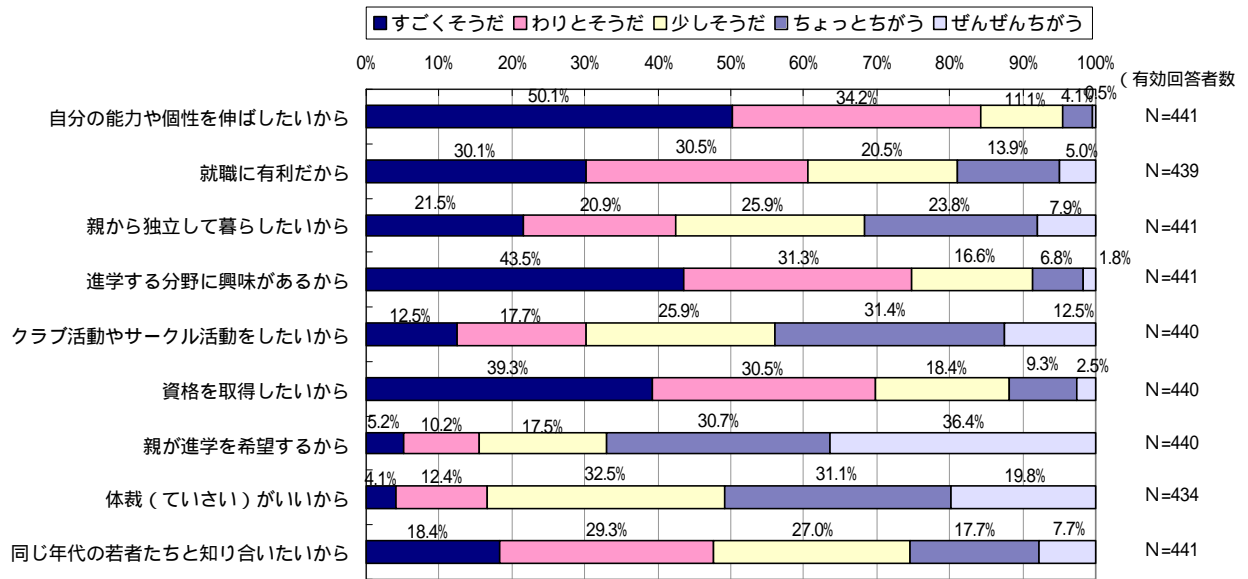
- ・ 高校卒業後(就職する前)大学、短大、専修・専門学校のいずれかへ進学してみたいと考えている中学生に、それらの学校へ進学したいと思う理由を質問した。(なお、中学生全体での大学、短大、専修・専門学校のいずれかへの進学希望は合計で83.6%であった(1-5(2)参照))
- ・ 進学を希望する理由として、強い肯定傾向がみられたのは、強い方から「自分の能力や個性を伸ばしたいから」(4.29点)、「進学する分野に興味があるから」(4.08点)「資格を取得したいから」(3.95点)であった。
- ・ 一方、比較的肯定傾向が弱かった項目は、弱い方から「親が進学を希望するから」(2.17点)、「体裁がいいから」(2.50点)、「クラブ活動やサークル活動をしたいから」(2.86点)であった。(以上表3-2-2、図3-2-5)
- ・ 以上の結果を高校生の進学希望者の場合(2-2(1))と比較すると、平均点の順位は若干変動があるものの、全体的な傾向は同じであった。

【表3-2-2 進学したい理由】

理由	平均点
自分の能力や個性を伸ばしたいから	4.29
進学する分野に興味があるから	4.08
資格を取得したいから	3.95
就職に有利だから	3.67
同じ年代の若者たちと知り合いたいから	3.33
親から独立して暮らしたいから	3.24
クラブ活動やサークル活動をしたいから	2.86
体裁(ていさい)がいいから	2.50
親が進学を希望するから	2.17

- 1 「すごくそうだ」を5点、「わりとそうだ」を4点、「少しそうだ」を3点、「ちょっとちがう」を2点、「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点。
- 2 理由の項目は、高校生と比べ1項目(社会へまだ出たくないから)少ない。

【表 3-2-5 進学したい理由】



地域の希望《生徒・保護者へ質問》

質問（ 高校卒業後進学希望生徒 ） :あなたは[質問5](就職する前に進学してみたい学校)で選んだ学校は、どんな地域にあるとよいと思いますか。 (希望する順に3つまで回答)(調査票:生徒編【質問8】に対応)
質問（ 高校卒業後就職希望生徒 ） :あなたは将来、就職してどの地域に住みたいと思いますか。 (希望する順に3つまで回答)(調査票:生徒編【質問3】に対応) 1
質問（ 保護者 ） :あなたはお子様が[質問1](こどもの進路に関する希望)の進路に進む場合、どの地域へ就職又は進学させたいとお考えですか。 (希望する順に3つまで回答)(調査票:保護者編【質問2】に対応) 2

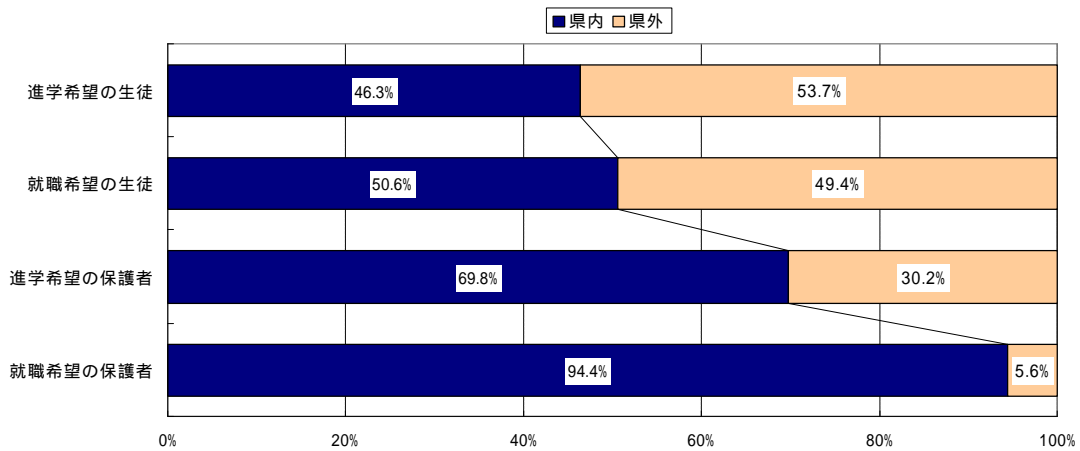
進路別（第1希望の地域の県内・県外比較）

- ・中学生、保護者の双方に高校卒業後、どの地域に就職¹・進学したいか（保護者の場合はして欲しいか²）を質問した。
- ・就職・進学したい地域の第1希望を県内・県外別でみると、中学生・保護者を問わず、就職希望の方が進学希望者よりも県内での進路を望んでいることがわかる。
- ・また、特に就職を希望している保護者は、圧倒的に県内への就職を望んでいることがわかる。(94.4%)
- ・以上の結果を高校生の結果(2-2(3))と比較すると、進学希望の生徒と、就職・進学希望の保護者は県内への希望が多くなっているが、就職希望の生徒は中学生の方が県内への希望が少なかった。(以上図3-2-6)

1ここでの就職希望の中学生とは、生徒編[質問5]において、就職前に大学、短大、専修・専門学校へ「進学したいと思わない」生徒のことである。なお、就職希望地域は3-2(1)のうち、高校卒業後就職希望者のデータのみを抽出し再掲した。

2就職希望の保護者とは、保護者編[質問1]で「高校卒業後、すぐに就職させたいと考えている」保護者のことである。

【図3-2-6 就職・進学したい地域(県内・県外別)】

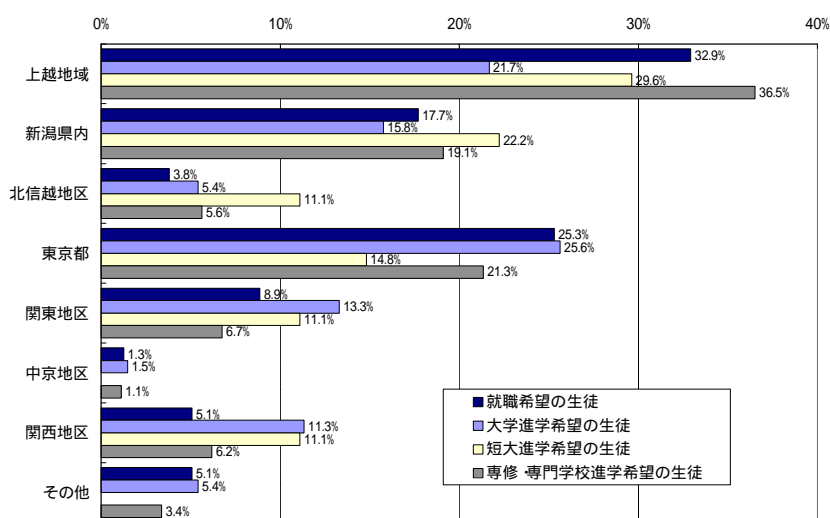


進路別（第1希望の地域の詳細比較）

- ・就職・進学希望地域の第1希望を8つの地域区分により比較した。
- ・中学生の場合、それぞれの進路別に最も希望が多かった地域は、就職希望者は「上越地

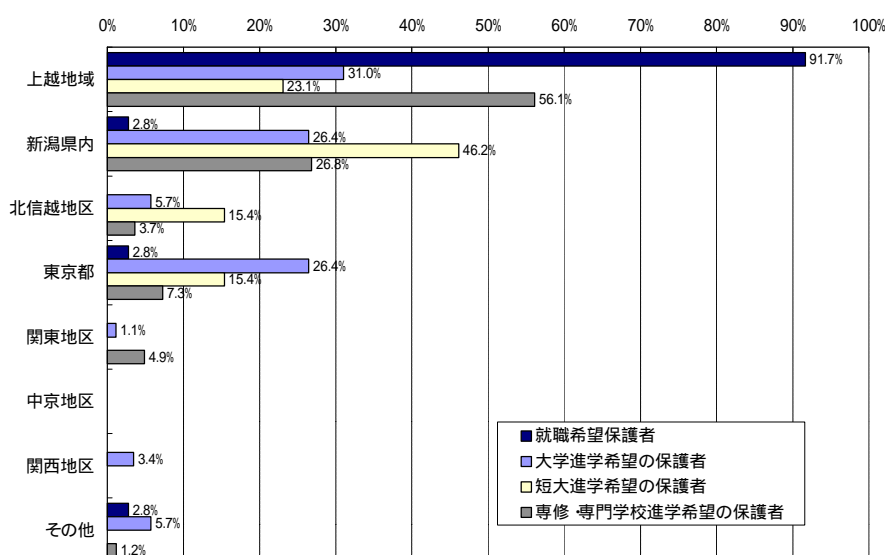
- 域」(32.9%)、大学進学希望者は「東京都」(25.6%)、短大進学希望者は「上越地域」(29.6%)、専修・専門学校進学希望者も「上越地域」(36.5%)であった。(図3-2-7)
- ・保護者の場合、それぞれの進路別に最も希望が多かった地域は、就職希望者は「上越地域」(91.7%)が圧倒的で、大学進学希望者は「上越地域」(31.0%)、短大希望者は「新潟県内」(46.2%)、専門学校希望者は「上越地域」(56.1%)であった。(図3-2-8)
 - ・以上の結果を高校生の結果(2-2(3))と比較すると、中学生では進学希望者については、「上越地域」もしくは「東京都」への希望が多いことがわかる。保護者については、ほぼ同様の傾向であった。

【図3-2-7 就職・進学希望地域の第1希望(中校生:進路別)】



「新潟県内」は「上越地域」を除く、「関東地区」は「東京都」を除く(以下同)

【図3-2-8 就職・進学希望地域の第1希望(保護者:進路別)】



第2、3希望まで含めた場合の比較

- ・中学生と保護者の就職・進学希望地域を第1希望から第3希望まで比較した。
- ・全体的には、中学生は各地域へ希望が分散しているが、保護者は「上越地域」または比

較的近距離の地域を希望する傾向がみられた。比較的遠距離（県外）への進学を求める中学生と近距離の地域を希望する保護者との間で、意識の差をみることができた。それぞれの傾向は以下のとおりである。

【就職希望生徒】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「関西地区」への希望が多かった。全体的な希望としては、「上越地域」、「新潟県内」への希望が多く、「東京都」、「関西地区」がこれに続いている。（図 3-2-9）

【大学進学希望生徒】

- ・第1希望は「東京都」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「関東地区」への希望が多くなっているが、地域間の偏りは小さく、比較的地域の希望が多様である。（図 3-2-10）

【短大進学希望生徒】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」と「東京都」への希望が多い。他の進学希望者と比べ、「新潟県内」への進学希望が多いことが特徴である。（図 3-2-11）

【専修・専門学校進学希望生徒】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「関東地区」への希望が多い。（図 3-2-12）

【就職希望保護者】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多く、「上越地域」に近いところを希望する傾向がはっきりとわかる。（図 3-2-13）

【大学進学希望保護者】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望も「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多くなっている。他の進路を希望している保護者よりも「東京都」への希望が著しく多いことが特徴である。（図 3-2-14）

【短大進学希望保護者】

- ・第1希望は「新潟県内」、第2希望は「新潟県内」と「北信越地区」、第3希望は「関東地区」への希望が多い。短大進学希望の生徒と同様に、「新潟県内」への希望が著しく多いことが特徴である。（図 3-2-15）

【専修・専門学校進学希望保護者】

- ・第1希望は「上越地域」、第2希望は「新潟県内」、第3希望は「北信越地区」への希望が多い。専修・専門学校進学希望の生徒と比べ、「東京都」、「関東地区」、「関西地区」への希望が少なく、「上越地域」や「新潟県内」への希望が多いところに違いが見られる。(図3-2-16)

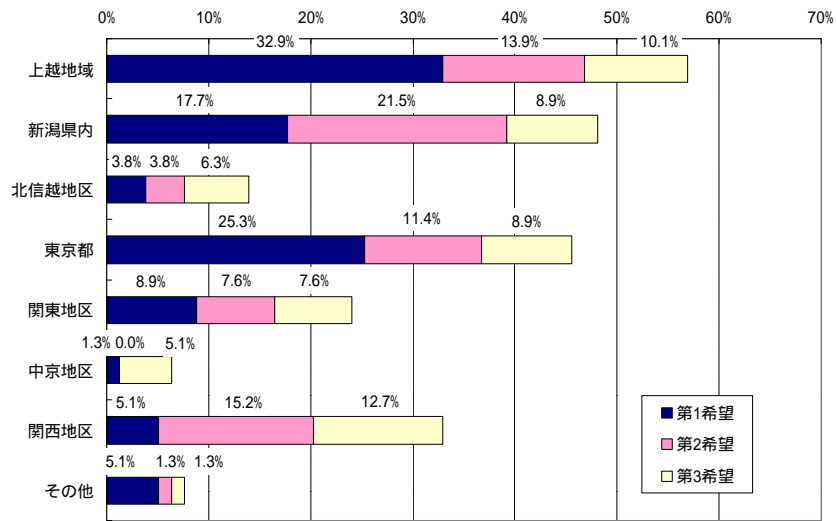
高校生との比較

- ・就職・進学希望地域を高校生の場合(2-2(3))と比較すると、次のような点で違いがみられた。

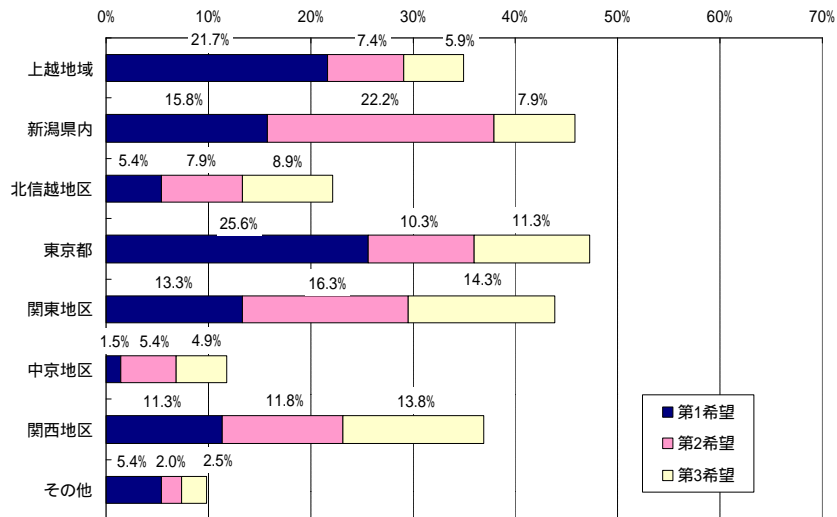
全体的な傾向として、中学生の方が上越地域を希望する傾向が強くみられた。(例外として、就職希望者は高校生よりも中学生の方が上越地域の希望が弱かった。)

中学生の方が、希望する地域が多方面に分散する傾向がみられた。特に関西地区への希望が多かったが、これらは、就職・進学地域の選択が、高校生の場合は現実の問題として具体的な形で検討していることに対して、中学生については、まだ現実味が少なく、願望としての要素が強いものと推測される。

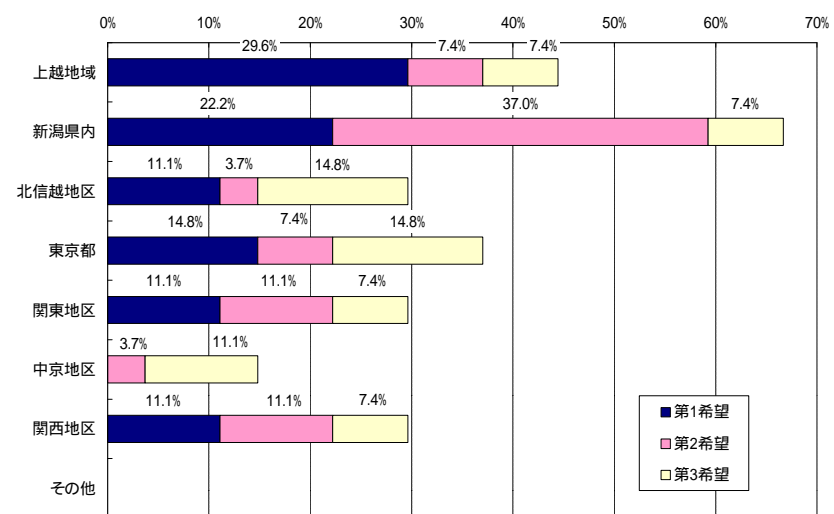
【図 3-2-9 就職希望生徒の就職希望地域（第1～3希望）】



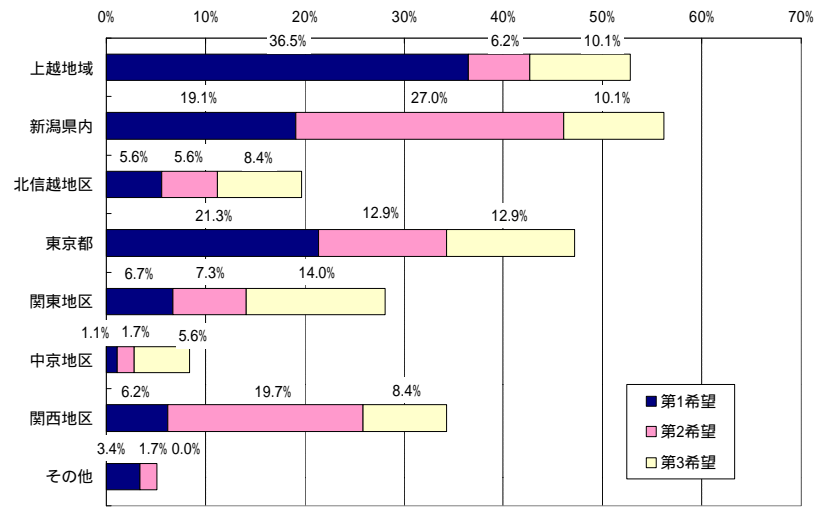
【図 3-2-10 大学進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



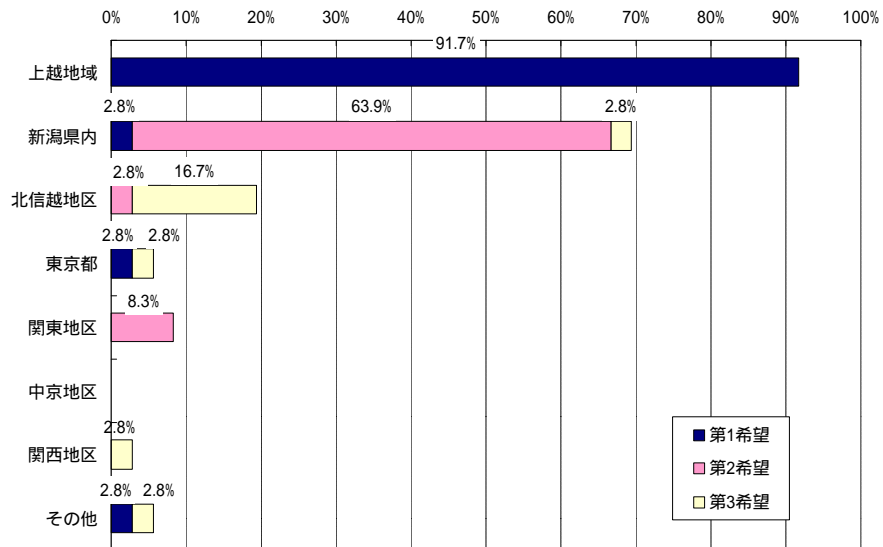
【図 3-2-11 短大進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



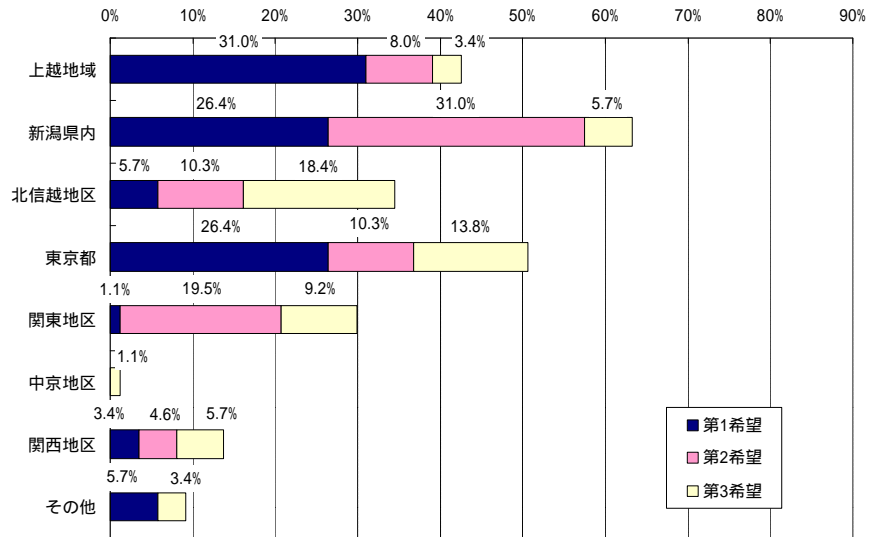
【図 3-2-12 専修・専門学校進学希望生徒の進学希望地域（第1～3希望）】



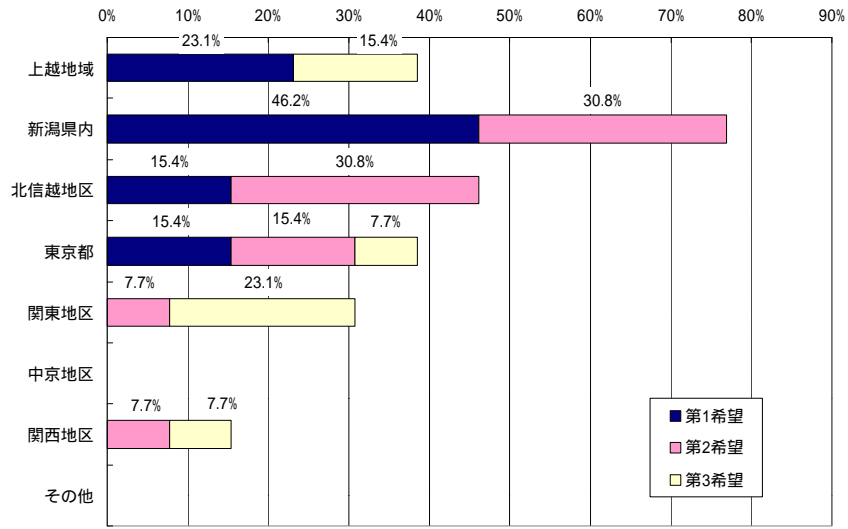
【図 3-2-13 就職希望保護者の就職希望地域（第1～3希望）】



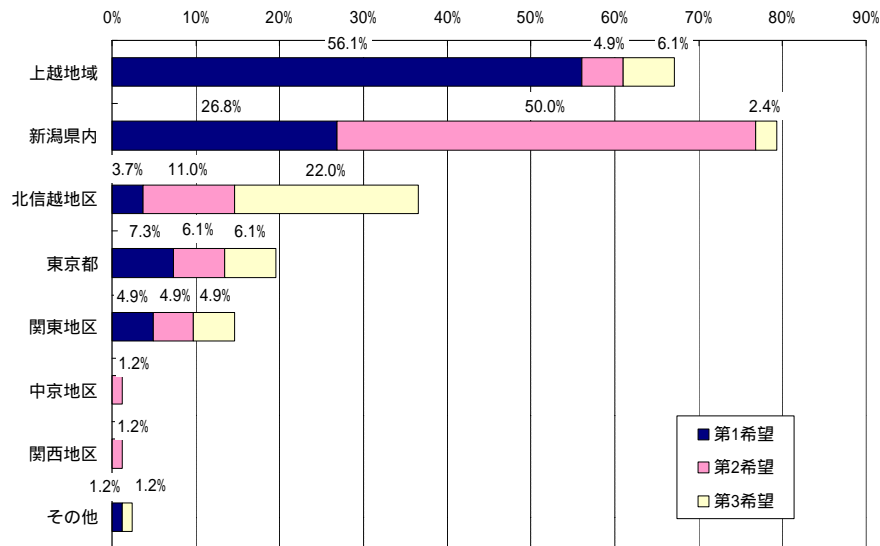
【図 3-2-14 大学進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】



【図 3-2-15 短大進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】



【図 3-2-16 専修・専門学校進学希望保護者の進学希望地域（第1～3希望）】

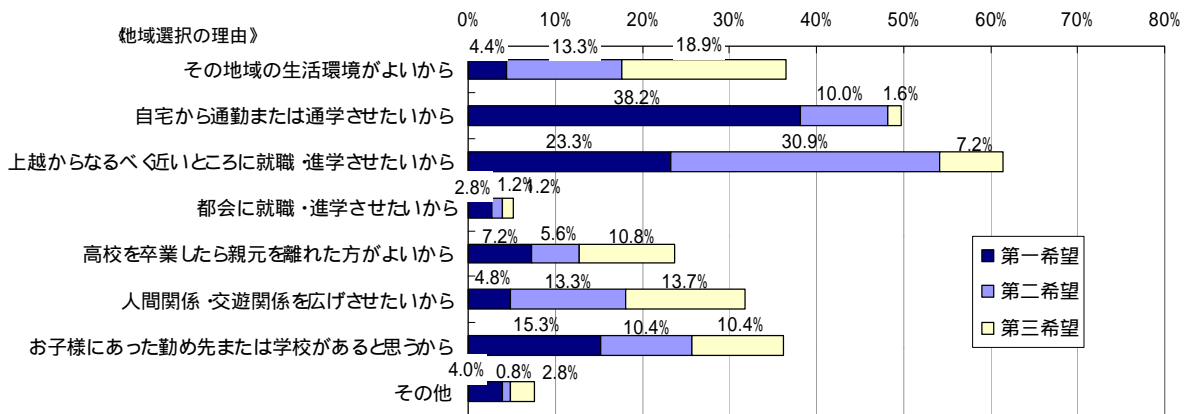


就職・進学希望地域の選択理由《保護者のみ質問》

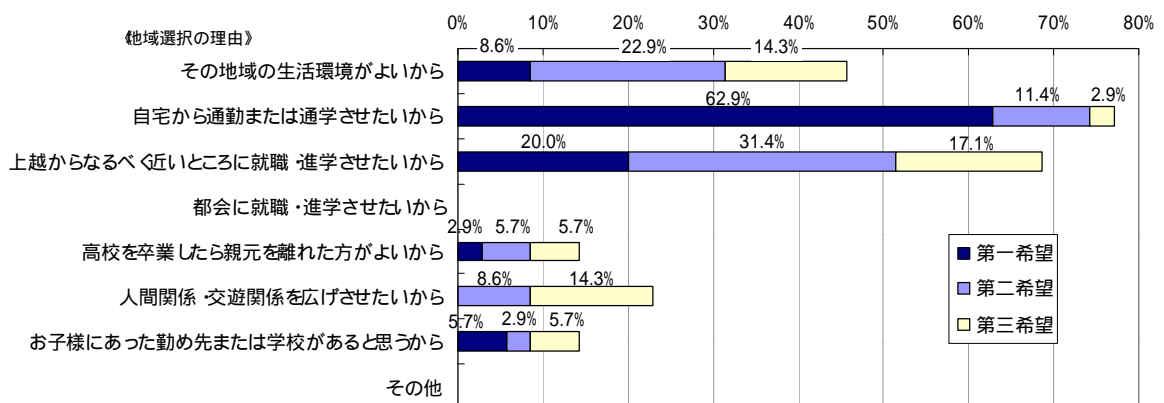
質問：あなたは、質問2（進学希望地域に関する質問）で第1位にあげられた地域に、お子様を就職又は進学させたい理由は何ですか。（強い理由の順に3つまで回答）（調査票：保護者編【質問3】に対応）

- ・保護者に中学生の就職・進学希望地域の選択理由を質問したところ、全体的には、「自宅から通勤・進学させたいから」、「上越からなるべく近いところに就職・進学させたいから」が主な理由として挙げられ、就職及び専修・専門学校進学希望の保護者ではこの傾向が特に強くみられた。
- ・大学、短大進学希望の保護者は、他の進路希望者よりも人間・交友関係の充実や、子どもにあった学校の存在を意識している傾向がみられた。
- ・以上の結果を高校生の結果（2-2(3)）と比較すると、短大進学希望の保護者の傾向が若干異なるが、全体的には同様の傾向であった。（以上、図3-2-17～図3-2-21）

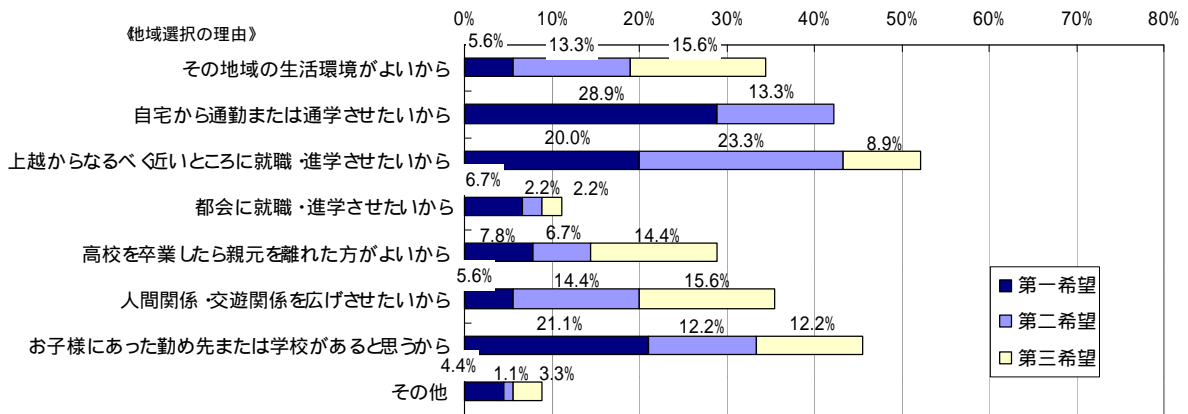
【図3-2-17 就職・進学希望地域の選択理由（保護者全体）】



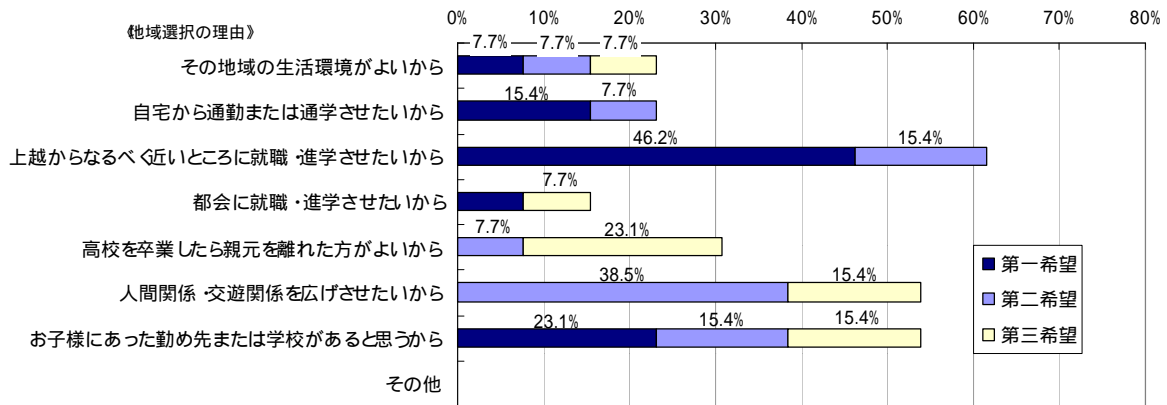
【図3-2-18 就職希望地域の選択理由（就職希望保護者）】



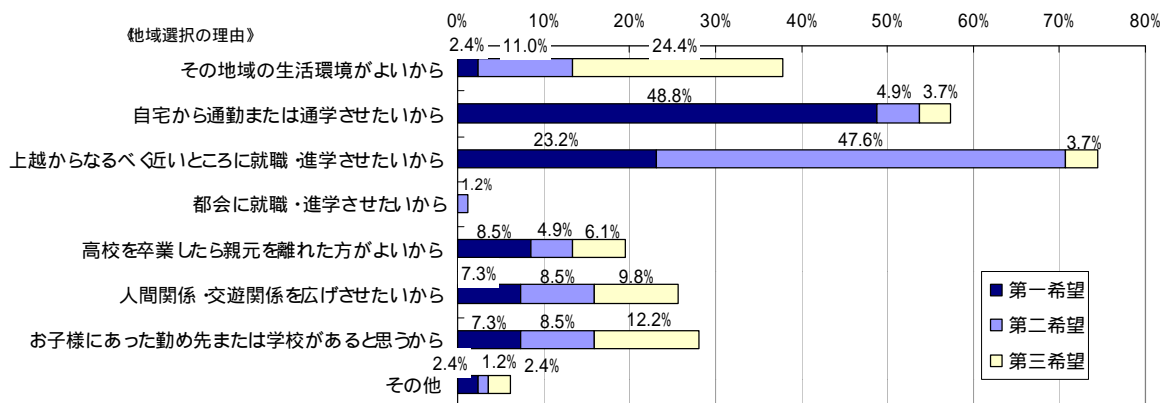
【図3-2-19 進学希望地域の選択理由（大学進学希望保護者）】



【図 3-2-20 進学希望地域の選択理由（短大進学希望保護者）】



【図 3-2-21 進学希望地域の選択理由（専修・専門学校進学希望保護者）】

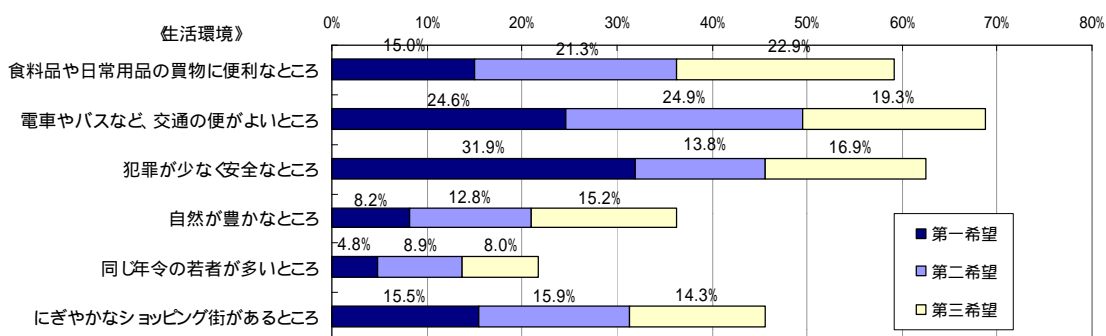


生活環境の希望《生徒のみ質問》

質問：あなたは[質問5](就職する前に進学してみたい学校)で選んだ学校に進学し、学生生活を送るとしたら、どんなところに住んでみたいですか。(希望する順に3つまで回答)(調査票：生徒編【質問7】に対応)

- ・進学希望の中学生に、進学する際に希望する生活環境について第1希望から第3希望まで質問した。
- ・全体として希望が多かった環境は、「電車やバスなど、交通の便がよいところ」、「犯罪が少なく安全なところ」、「食料品や日常用品の買い物に便利なところ」であった。
- ・第1希望として最も希望が多かったのは「犯罪が少なく安全なところ」であった。
- ・高校生に同じ質問をした結果(2-2(3))と比較すると、全体的な傾向は変わらないが、第1希望で「にぎやかなショッピング街があるところ」への希望がやや多くなっている。

【図 3-2-22 希望する生活環境】



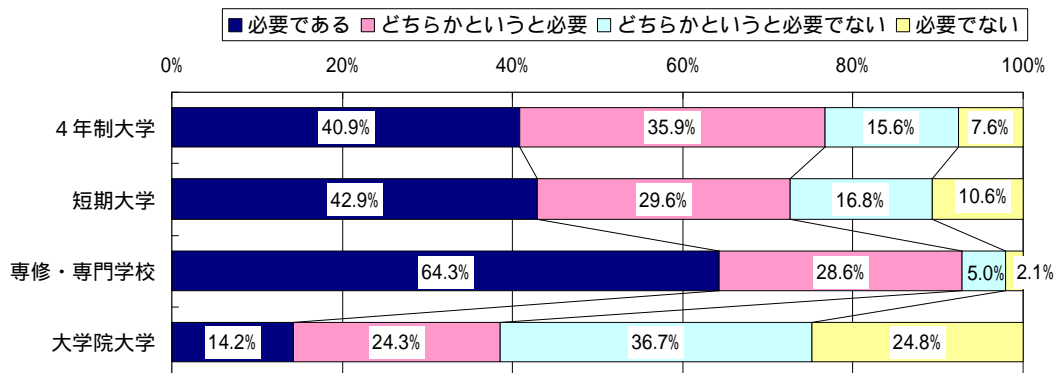
3-3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について

(1) 必要性《保護者のみ質問》

質問：あなたは上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校が必要だと思われませんか。
 (4段階で回答)(調査票：保護者編【質問4】に対応)

- ・中学生の保護者に、上越地域への新たな高等教育機関設置の必要性について質問した。
- ・大学・短期大学については7割以上、専修・専門学校については約9割が必要と答え、新たな高等教育機関設置へのニーズの高さがうかがえた。
- ・なお、大学院大学については、社会的な認知度の低さも原因かと思われるが、必要性が低かった。
- ・以上の結果は、高校生の保護者の場合(2-3(1))と比較しても、全体的なニーズの高さや傾向はほぼ同じであった。

【図 3-3-1 新たな高等教育機関の必要性(保護者)】

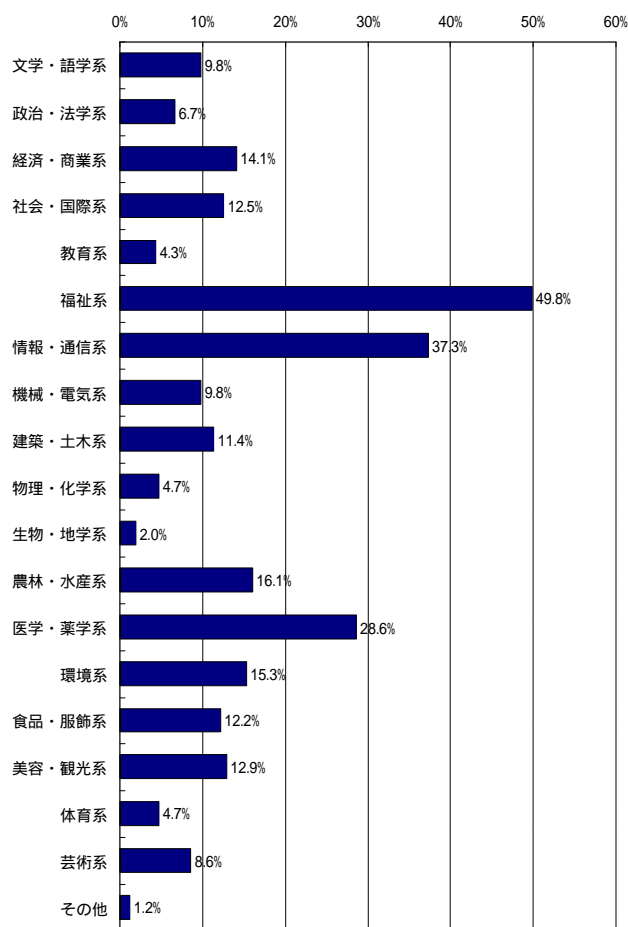


(2) 分野の希望《保護者のみ質問》

質問：もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられるとしたら、あなたはどんな分野の学校を希望されますか。(3つまで回答)
 (調査票：保護者編【質問5】に対応)

- ・中学生の保護者に、新たに設置を希望する高等教育機関の専門分野について質問した。
- ・希望が多かった分野としては、「福祉系」(49.8%)の希望が最も多く、次いで「情報・通信系」(37.3%)、「医学・薬学系」(28.6%)の希望が多く、この3分野への希望が特に多かった。
- ・以上の結果は、高校生の保護者の場合(2-3(2))と比較しても、ほぼ同じ傾向であった。

【図 3-3-2 新たな高等教育機関の分野の希望(保護者)】

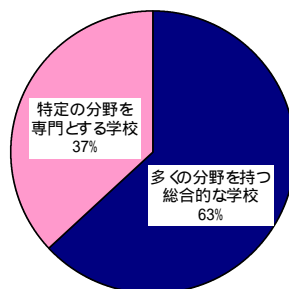


(3) 学校の特徴《保護者のみ質問》

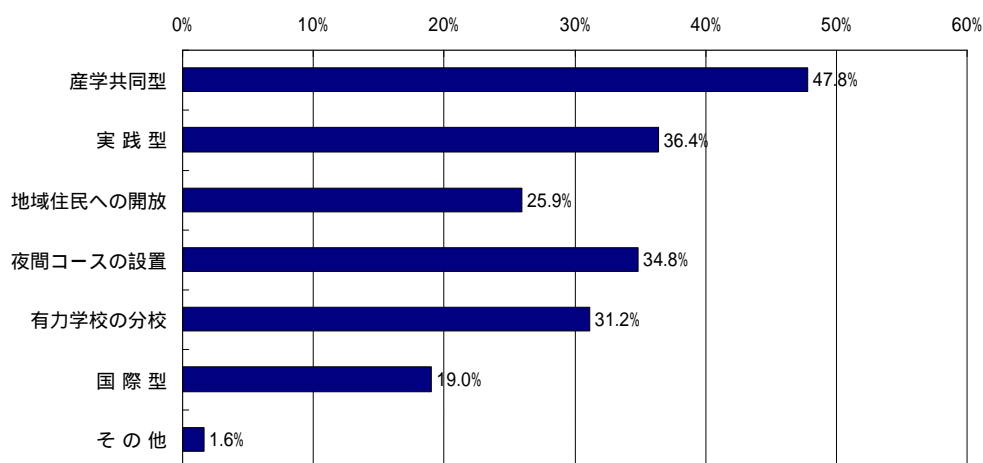
質問：もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられるとしたら、その学校はどんな特徴をもつ学校だとよいと思われますか。
 (調査票：保護者編【質問6】に対応)

- ・中学生の保護者に新たな高等教育機関に望む特徴について質問した。
- ・教育分野について「多くの分野をもつ総合的な学校」と「特定の分野を専門とする学校」の二者択一により質問したところ、前者への希望が約6割程度と多くみられた。(図3-3-3)
- ・また、高等教育機関がもつ特徴としては、「産学協同型」への希望が最も多くみられ、次いで「実践型」、「夜間コースの設置」への希望が多かった。(図3-3-4)
- ・以上の結果は、高校生の保護者の場合(2-3(3))と比較しても、ほぼ同じ傾向であった。

【図3-3-3 新たな高等教育機関の特徴(教育分野)】



【図3-3-4 新たな高等教育機関の特徴】



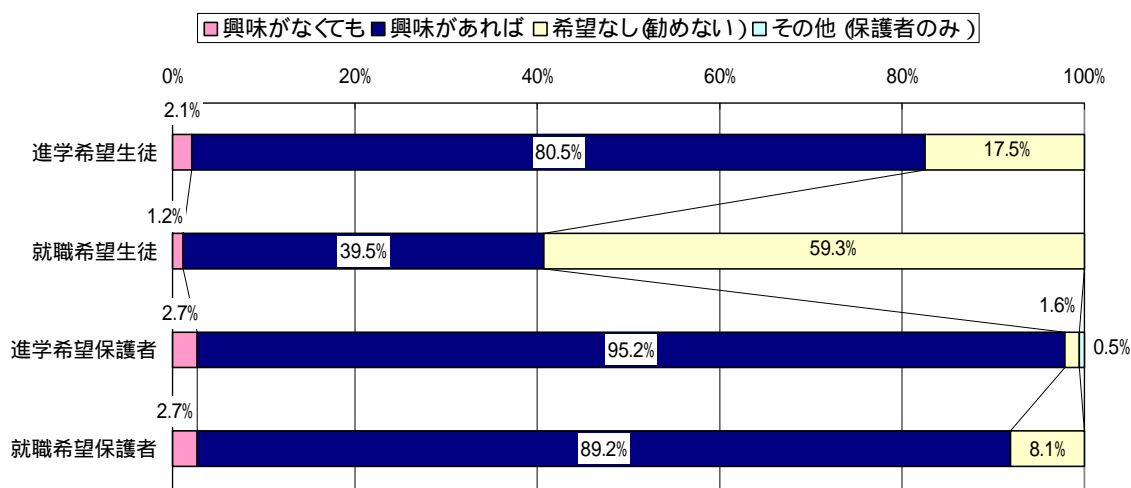
(4) 進学先としての評価《生徒・保護者へ質問》

質問（生徒）
 :もし上越市に新しい大学、短大、専修・専門学校がつけられたら、あなたはそ
 の学校へ進学してみたいと思いますか。
 質問（保護者）
 :もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられた場合、あなたはお子様
 にその学校への進学をすすめますか。
 （調査票：生徒編【質問9】、保護者編【質問7】に対応）

- ・中学生と保護者の双方に、上越地域に新たに高等教育機関を設置した場合、進学先として検討するかどうか質問した。
- ・希望の分野がある場合の仮定ではあるが、約8割の進学希望の中学生と、9割以上の保護者が進学先として検討する意向を示している。
- ・また、高校卒業後、就職希望の生徒の4割程度が検討の意向を示していることから、新たな高等教育機関の設置によって、新たに進学を検討する生徒が生じ、進学率が向上することも期待できる。
- ・以上の結果を高校生とその保護者の場合(2-3(4))と比較すると、保護者はほぼ同じ傾向であったが、生徒の場合は、中学生の方が進学希望者は評価が高く、就職希望者は低くなる結果となった。

ここでの就職希望の中学生とは、生徒編[質問5]において、就職前に大学、短大、専修・専門学校へ「進学したいと思わない」生徒のことである。また、就職希望の保護者とは、保護者編[質問1]で「高校卒業後、すぐに就職させたいと考えている」保護者のことである。

【図3-3-5 新たな高等教育機関の進学先としての評価（生徒・保護者別）】



3-4 上越地域について

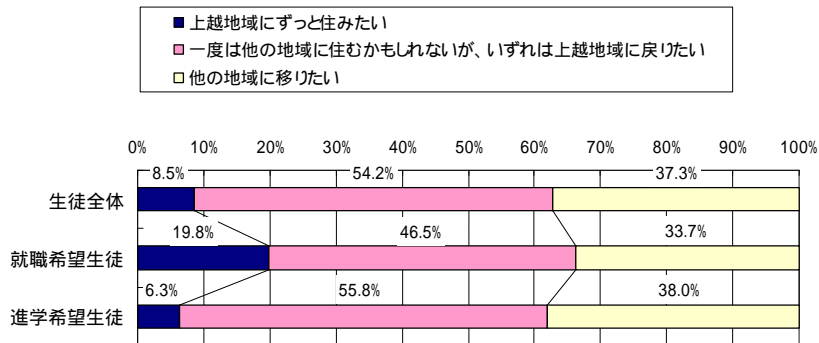
(1) 将来の居留意向《生徒のみ質問》

質問：あなたは将来も上越地域に住みたいと思いますか。
 (調査票：生徒編【質問10】に対応)

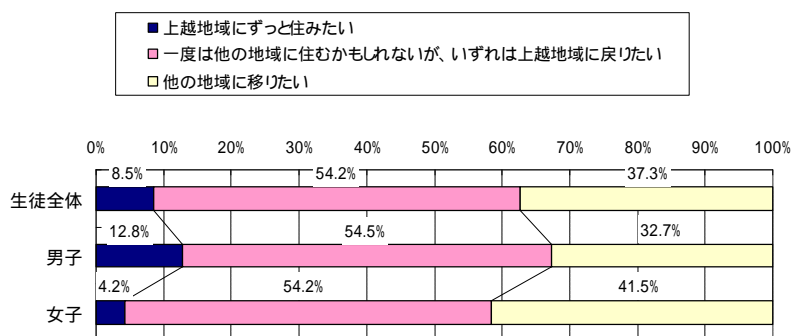
- ・中学生に将来の上越地域への居留意向を質問した。
- ・全体では、約6割の生徒が将来的に上越地域に住む意思を持っていることがわかった。
 (「ずっと住みたい」「いずれは戻りたい」の計)
- ・就職・進学希望別では、進学希望生徒の方が他の地域への移住を望んでいる傾向が強いことがわかる。(以上図3-4-1)
- ・男女別では、男子の方が将来的に上越地域に住む意思を持っていることがわかる。(図3-4-2)
- ・以上の結果を高校生の場合(2-4(1))と比較すると、将来的に上越地域に住みたいと考えている割合は、中学生の方がやや高かったが、進路・男女別の傾向は、概ね同じであった。

ここでの就職希望の中学生とは、生徒編【質問5】において、就職前に大学、短大、専修・専門学校へ「進学したいと思わない」生徒のことである。また、就職希望の保護者とは、保護者編【質問1】で「高校卒業後、すぐに就職させたいと考えている」保護者のことである。

【図3-4-1 将来の上越地域への居留意向(進路別)】



【図3-4-2 将来の上越地域への居留意向(男女別)】

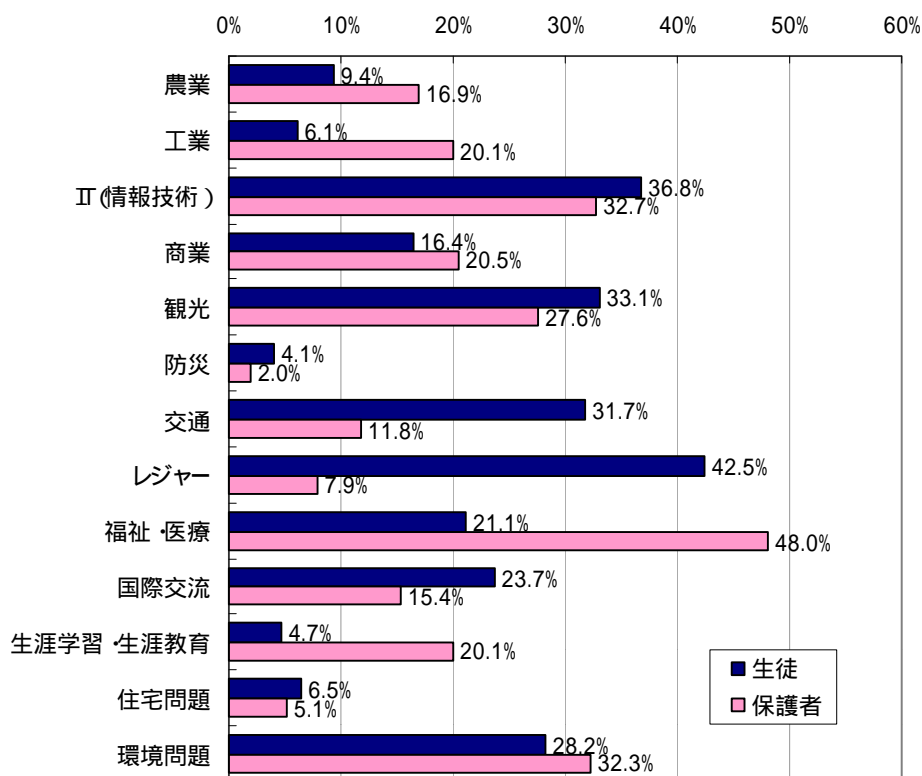


(2) 上越地域の発展のために力を入れるべき分野《生徒・保護者へ質問》

質問：これから上越地域が発展するためには、何に力を入れたらよいと思いますか。(3つまで回答)(調査票：生徒編【質問11】、保護者編【質問9】に対応)

- ・中学生とその保護者に上越地域の発展のために力を入れるべき分野について質問した。
- ・中学生で最も回答が多かった分野は「レジャー」であった(42.5%)であった。他に回答が多かった分野としては、「IT(情報技術)」「観光」「交通」(31.7%)がみられた。
- ・保護者で最も回答が多かった分野は「福祉・医療」(48.0%)であった。他に回答が多かった分野としては、「IT(情報技術)」「環境問題」(32.3%)がみられた。
- ・中学生・保護者共に回答が多かった分野は、「IT(情報技術)」、「環境問題」、「観光」であった。
- ・一方、両者の間で違いがみられた分野としては、「レジャー」「交通」は中学生の回答が特に多く、「生涯学習・生涯教育」「工業」「福祉・医療」は保護者の回答が特に多かった。
- ・以上の結果を高校生とその保護者の場合(2-4(2))と比較すると、ほぼ同じであった。

【図3-4-3 上越地域が発展するために力を入れるべき分野(生徒・保護者別)】



1

【第4章：調査結果のまとめ】

第4章 調査結果のまとめ

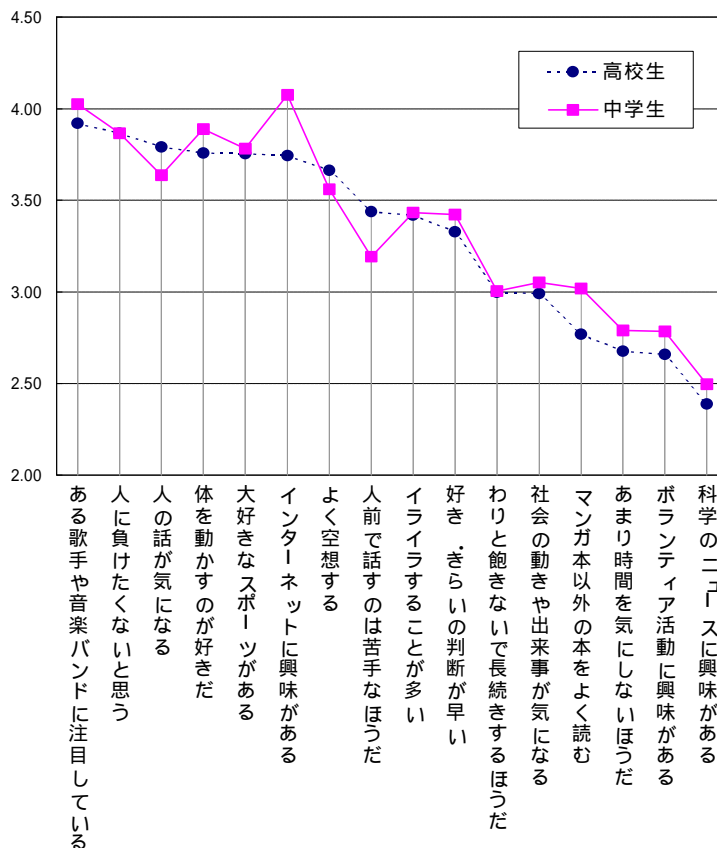
4-1 現在の中学生・高校生の興味や考え

本調査の結果、下表のような中学生・高校生の全体像をうかがうことができた。全体的な傾向は中学生と高校生とで大きな違いはみられなかったが、インターネットやマンガ以外の読書については、中学生の方が関心が高いことがわかった。インターネットについて、中学生の方が特に関心が高いのは、学校の授業への導入状況等が関係しているものと推測される。

【表 4-1-1 現在の中学生・高校生の全体像】

注目している歌手やバンドがあり、体を動かすのが好きで、大好きなスポーツがあるという活発なイメージ。
インターネットへの興味の高さに象徴される情報化時代の若者像。
科学のニュースやマンガ本以外の読書への興味が低い、いわゆる「科学離れ」「読書離れ」の現状。
社会の動きやボランティア活動への関心が比較的低いなど、社会への関心の低さ。
人の話を気にしたり、人に負けたくないと考えている傾向が強いなど、他者への意識の強さ。

【図 4-1-1 中学生・高校生の現在の興味や考え】



「すごくそうだ」を5点、
「わりとそうだ」を4点、
「少しそうだ」を3点、
「ちょっとちがう」を2点、
「ぜんぜんちがう」を1点
としたときの平均点。

4-2 高校卒業後の進路に関する意向

高校生とその保護者に高校卒業後の進路に関する意向を聞いたところ、以下の結果が得られた。

(1) 就職・進学したい分野について

就職希望者

就職希望者の就職希望分野は、男女間で大きく異なる傾向があることが確認できた。男子は「建築・土木・機械」への希望が特に多く、約半数程度の生徒が希望を示していた。女子は「一般事務・会計事務」、「デパート・スーパー」、「理容・美容・デザイン・ファッション」への希望が特に多く、それぞれおよそ3割程度の希望がみられた。

以上の割合は複数回答(3つまで)のもの

進学希望者

進学希望者の進学希望分野も男女間、さらには進学希望校間で大きく異なる傾向が確認できた。

全体的には、男子の方が各分野へ希望が分散し、女子は特定分野に希望が集中する傾向がみられた。

学校別では、幅広い研究分野を有する大学では、各分野に希望が分散し、実践的で特定分野の専門学校が多い短大、専修・専門学校では、特定の分野に希望が集中する傾向がみられ、生徒の希望にもそれぞれの学校の特色が反映された結果となった。

男女別・学校別に分野の希望で特徴的なものは次表のとおりであった。

【表 4-2-1 高校卒業後の進学希望分野の傾向】

進学希望校	性別	希望が多かった分野と割合	傾向
大学	男子	「情報・通信系」を4人に1人が希望	比較的各分野へ希望が分散している
	女子	「文学・語学系」「教育系」「医学・薬学系」をそれぞれ4人に1人程度が希望	希望が集中している
短大	男子	「機械・電気系」を半数が希望	〃
	女子	「教育系」「福祉系」をそれぞれ3人に1人が希望 「食品・服飾系」「医学・薬学系」を4人に1人が希望	〃
専修・専門学校	男子	「情報・通信系」「機械・電気系」をそれぞれ3割が希望	〃
	女子	「食品・服飾系」「美容・観光系」をそれぞれ3割が希望 「福祉系」を5人に1人が希望	〃

以上の割合は複数回答(3つまで)のもの

傾向の分析

高校卒業後の進学希望分野の傾向を分析すると、特に希望が多かった分野には、現在の社会情勢や、特定の人気職業への就職希望という二つの要因があると考えられる。

a 現在の社会情勢の反映

現在の社会情勢を反映し、特に希望が多くなっていると思われる分野としては、次表のような分野が該当すると思われる。特に、「情報・通信系」への希望の多さは先の「現在の興味や考え」でみたインターネットへの興味の高さからも裏付けられる。

【表 4-2-2 現在の社会情勢と進学希望分野】

社会情勢	分野	特に希望が多い者
情報化	「情報・通信系」	大学、専修・専門学校進学希望の男子
国際化	「文学・語学系」	大学進学希望の女子
高齢社会	「福祉系」	短大進学希望の女子

b 特定の人気職業への就職希望

特定の人気職業に関連して希望が多くなっていると思われる分野は次表のとおりである。全体として、女子の方がこれらの分野への希望が多く、進路選択にあたって、職業を意識した明確な目的意識をもっているものと考えられる。

【表 4-2-3 人気職業と進学希望分野】

関連する職業	分野	特に希望が多い者
教師や保育士	「教育系」	大学・短大進学希望の女子
看護師	「医療・薬学系」	大学、短大進学希望の女子
服飾デザイナー	「食品・服飾系」	短大、専修・専門学校進学希望の女子
芸術関係	「芸術系」	専修・専門学校進学希望者
理容師、美容師	「美容・観光系」	短大、専修・専門学校進学希望の女子

関連する職業については、中学生編で調査した「将来のつきたい仕事の希望」と合わせて推測した。

(2) 就職・進学したい地域について

上越地域への就職・進学希望の状況

高校生とその保護者が、上越地域を就職・進学先の地域としてどの程度希望しているかを分析すると、次のような結果となった。

【表 4-2-4 上越地域への就職・進学希望の状況】

進路	高校生	保護者	差(高校生-保護者)
就職	49.5%	73.0%	-23.5ポイント
大学進学	3.2%	23.8%	-20.6ポイント
短大進学	11.9%	37.8%	-25.9ポイント
専修・専門学校進学	9.1%	49.2%	-40.1ポイント
全体	17.9%	39.4%	-21.5ポイント

以上の割合は複数回答(3つまで)のうち、第1希望の割合。

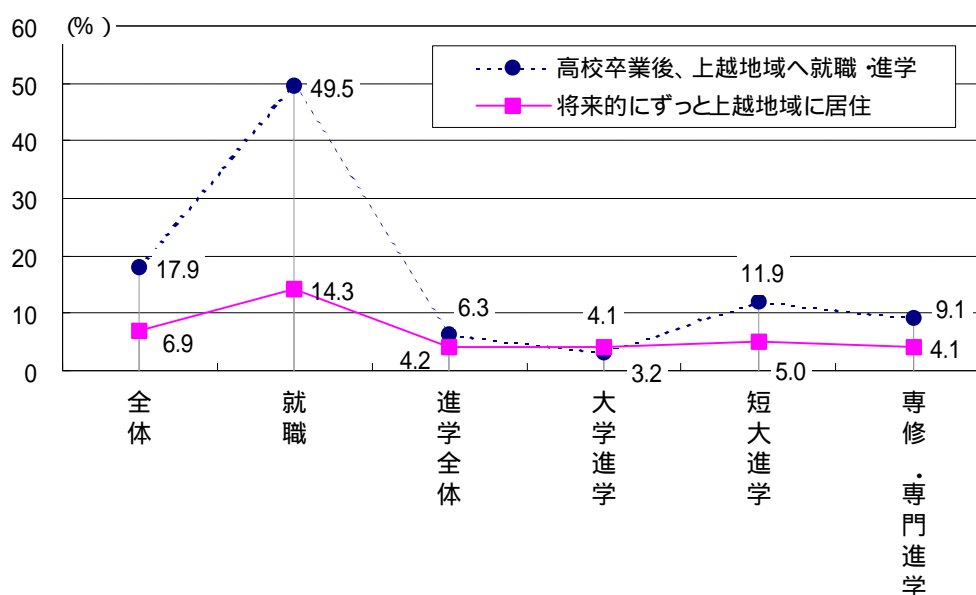
以上の結果をみると、上越地域の高校生は、高校卒業後、およそ5~6人に1人程度(17.9%)しか上越地域への就職・進学を希望していない現状がわかる。

進路別では、就職希望者の高校生の約半数は上越地域を希望しているものの、進学希望の高校生は総じて希望が少ない。

近年4年制大学への進学意識が高まりを見せている状況を踏まえると、大学進学希望者の希望が著しく少ないことは、当地域における「若者流出」が今後一層進行することが懸念される。

また図 4-2-1 のように、進路別に、高校卒業後上越地域へ就職・進学を希望している者の割合と、将来的にずっと上越地域に住みたいと考えている者の割合(第2章 2-4(1))を比較してみると、大学進学希望者以外で後者の方が下回っており、高校卒業後、約半数が上越地域へ就職を希望している「就職希望者」も、積極的に上越地域を希望している者の割合はさらに下回っているものと推測される。

【図 4-2-1 高校卒業後の進路意向と将来の居留意向の比較】



就職・進学希望地域の傾向

高校卒業後の就職・進学希望地域の傾向と、その第1希望の地域を整理すると次表のとおりとなる。

【表 4-2-5 第1希望の地域と地域選択の傾向】

進路	高校生	保護者	共通点	相違点
就職	上越地域（約半数）	上越地域（約7割）	近距離を望む傾向あり（傾向は概ね一致）	保護者の方が上越地域から近距離を望む傾向強い。東京都への希望は生徒の方が特に多い。
	生徒の中で自宅から近距離を望む傾向が最も強い。	上越地域への希望が圧倒的。他の地域も近距離を望む傾向が最も顕著。		
大学進学	東京都（約3割）	新潟県内（約3割）	他の進路希望者よりも希望する地域が多様である。	保護者の方が上越地域から近距離を望む傾向強い。
	首都圏への意向が特に強いが、比較的分散傾向あり。	近距離を望む傾向があるが、保護者の中では、最も希望する地域が多様である。		
短大進学	新潟県内（約4割）	新潟県内、上越地域（各約4割）	県内を望む傾向があり。	保護者の方が上越地域から近距離を望む傾向が強い。
	比較的近距離を望む傾向あり。生徒の中で東京都への希望が最も少ないが、関東地区への希望は多い。	近距離を望む傾向あり。特に上越地域を除く新潟県内への希望が多い。		
専修・専門学校進学	新潟県内（約4割）	上越地域（約半数）	県内への希望の多さ。	保護者の方が上越地域から近距離を望む傾向強い。特に生徒は、東京都への希望が多く、保護者は上越地域への希望が多い。
	上越地域を除く新潟県内又は東京都への希望が強い。生徒の中で東京都への希望が最も強い。	近距離を望む傾向あり。進学希望の保護者中で上越地域への希望が最も多い。		

地域区分は、第2章及び第3章の地域区分による。（「新潟県内」は「上越地域」を除く、「関東地区」は「東京都」を除く）

生徒の希望については、全体的には、保護者よりも上越地域から近距離の地域への希望が少なく、進路によって希望地域の傾向に違いがみられた。

以上の傾向は、本調査でみた就職・進学後のライフスタイルの意向（第2章 2-2(4)）からも裏付けることができた。

例えば、就職・進学後のライフスタイルを質問した結果では、自宅からの通勤・通学希望への肯定傾向は設問の中でも特に弱くなっており、進路別に肯定傾向の強さを比較しても、弱い方から「大学、専修・専門学校、短大、就職」の順となっており、上表の全体的な傾向と一致していた。

また、都会での生活希望への肯定傾向は、専修・専門学校希望者が最も強く、短大希望者が最も弱くなっていたが、これは専修・専門学校希望者が東京都への進学希望が最も多く、短大希望者が最も少ない点に現れていた。

全般的な傾向としては、経済面での自立を求める就職希望の生徒や、自己伸張のため進学を希望する進学希望の生徒とも、それぞれが目的を達するため上越地域以外の地域を希望する傾向があることがわかった。

一方、保護者は、全体的には上越地域から近距離を希望する傾向が明らかにみられた。この傾向は、本調査でみた就職・進学希望地域の選択理由（第2章 2-2(3)）からも裏付けることができた。

例えば、就職希望の保護者は「自宅からの通勤・通学」が、地域選択の第1希望として圧倒的に多くなっており、第2希望も「上越から近距離」であることが多くなっていた。

また、大学進学希望の保護者が、保護者の中で地域の希望が最も多様であった傾向も、「生徒にあった学校の存在」や、「人間関係・交遊関係の充実」を重視する傾向の強さが背景にあるものと推測された。

以上のように本調査では、高校卒業後の進学地域については、高校生とその保護者の間で認識のズレがあることが明らかとなった。

4 - 3 上越地域における新たな高等教育機関の設置について

新たな高等教育機関の必要性

新たな高等教育機関設置の必要性については、大学・短大の場合、高校生の約6割と保護者の7割以上、専修・専門学校の場合で高校生の約7割と保護者の9割以上が必要と考えており、強いニーズを確認することができた。

新たな高等教育機関の分野

新たな高等教育機関の分野としては、福祉系、情報・通信系、医学・薬学系への希望が全ての学校で共通して多くみられたが、その他の希望は、高校生と保護者の間、希望する進学先によって大きく異なっていた。また、全体的な傾向も、高校生自身の進学希望が多い分野や、現在の社会状況の中で注目度が高い分野への希望が多く現れた結果となった。

新たな高等教育機関の進学先としての評価

新たな高等教育機関を設置した場合の進学先としての評価は、進学希望の高校生の約6割と保護者の9割以上から前向きな意向が示された。

また、就職希望の高校生の5割以上が検討の意向を示しており、新たな高等教育機関の設置によって、新たに進学を検討する高校生が生じ、進学率が向上することも期待される結果となった。

しかし、そのほとんどが「希望する分野」の存在を条件としていることから、新たに高等教育機関を設置しても、実際に地元の高校生の進学先として評価されるか否かは、設置される分野によって大きく変動する要素が含まれていることが明らかとなった。

新たな高等教育機関設置に関する考え方

以上のように上越地域においては、新たな高等教育機関設置について、地域の高校生と保護者の間に強いニーズがあるものの、設置を希望する高等教育機関の種類・分野共に多様であることがわかった。

今後上越市において、新たな高等教育機関の設置を検討する場合、特に分野の選定を行う時には、以上のようなニーズの多様性をどのようにとらえるかが大きな課題になると思われる。

4 - 4 上越地域について

(1) 将来の居留意向

将来の上越地域への居留意向については、高校生の場合で約6割が将来上越地域へ住みたいと思っているものの、ずっと住みたいと感じているのは全体の6.9%と1割にも満たない結果となった。

高校卒業後と将来を含めて上越地域への居留意向が最も強いのは就職希望の男子で、約7割がそのような意向を示している。一方、他の地域へ移りたいと強く感じているのは進学希望の女子で、約半数近くに上った。

高校生のこのような意識は、上越地域全体の問題である若者流出や、人口減少の一端を示しているものと考えられる。今回の調査では、若者の地域に対する意識についての基礎的な意識・意向調査を行ったところであるが、今後は、より本質的な部分を調査し、対応策を検討する必要があると思われる。

ただしその際には、今回の調査でも明らかとなった、高校生が進学・就職を希望する理由(「自己伸張」や「経済的な自立」)を尊重することが重要であると思われる。

青少年にとって「新しい知識への欲求」や「未知の環境を求める行動」、「親からの自立心」は自然な欲求であり、人生の一期間を他の地域で過ごすこと自体を抑制することは適切ではないであろう。

本市のような地方都市としては、上越地域の出身であるか否かを問わず、全国の若者に対して上越地域の魅力をアピールし、定住・永住の地として選択されるような環境づくりを進めていくことが重要であると思われる。

(2) 上越地域発展のために力を入れるべき分野

上越地域が今後発展するために力を入れるべき分野として、中学生・高校生と保護者の双方から多くの希望がみられたのは、「IT(情報技術)」、「環境問題」、「観光」であった。

生徒において特に希望が多かった分野として「レジャー」、「交通」がみられたが、これは、生徒自身の現在の暮らしと直結している部分として希望が多かったものと推測される。一方、保護者において特に希望が多かった分野として「福祉」がみられたが、これは自分自身の老後や家族全体の暮らしを意識しているものと推測される。

このような生徒と保護者の意識の差は、先の進学希望地域の傾向とも関連していると考えられる。生活において、楽しさや活気を求めて他の地域を希望する生徒と、生活での安心感を求めて子どもにそばにいて欲しいと考える保護者の間での意識の違いをみることができた。

また、今回の調査で希望が多かった分野の全体的な傾向としては、「IT」、「環境問題」、「福祉」のように現在の社会全体の問題として注目を浴びている分野への希望と、「観光」、「レジャー」、「交通」のように上越地域固有の問題として関心が高い分野とに区分することができると思われる。

今後、これらの分野について、住民の意向や現状をより詳細に把握し、対策を講じる必要があると思われる。

【付属資料】

平成 13 年 2 月

高校 2 年生の皆さんへ

上越市政策審議局
上越市創造行政研究所
上越教育大学田中（敏）研究室**「上越地域における高校生の進路等に関する意識調査」(アンケート調査)
ご協力をお願い**

上越市では現在、『みどりの生活快適都市・上越』を将来都市像に掲げ、市民の皆さんと共にまちづくりをすすめています。また、これからの時代を担う人材育成などをめざして、大学などの高等教育機関のあり方についても調査をしているところです。

このたび、その取組みの一環として、将来の上越地域の発展を担う高校生の皆さんの関心事や進路などについて、皆さんご自身と、保護者の方を対象にアンケート調査を行うことにしました。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、当調査につきましては、上越地域 22 市町村の高等学校からご協力いただいて実施しております。また、皆さんからのご回答は、これからの地域づくりの大切な資料として活用させていただくとともに、ご協力いただいた皆さんにも、後日集計結果をお知らせいたします。

【調査の項目】

現在の関心事について

高校卒業後の進路について

上越地域における大学など高等教育機関のあり方について

これからの上越地域について

ご記入にあたって**【プライバシーの保護】**

- ・ 回答はすべて統計的に処理しますので、どの人がどんな回答をしたか公表されることは絶対ありません。

【回答方法】

- ・ 他の人と相談しないで、楽な気持ちで、あなたが思っているとおりを答えてください。
- ・ 最後まで書き終わったら、もう一度記入もれがないか確認をよろしくお願ひします。

《 本アンケート調査についてのお問い合わせ先 》

上越市創造行政研究所（電話番号：(0255) 24 - 6101）

〒943 - 0805 新潟県上越市木田 2 - 1 - 1 山和ビル 8F

E-mail: souzou@city.joetsu.niigata.jp

～上越市創造行政研究所～

本格的な地方分権時代を迎えるなかで自治体が真の自主・自立を果たすため、政策立案能力の向上を目的として設立された上越市の組織内シンクタンクです。行政の現場と連携しながら様々な課題についての調査研究を行い、地域発展へ貢献することを目指して活動しています。

【活動】政策立案に求められる調査研究業務とその研究成果の発信および市民セミナーなどの開催

[質問 1]

あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか。下の例のように当てはまるところに付けてください。

例) 新鮮な魚やフルーツが食べたい。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

1 . インターネットに興味がある。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

2 . 人の話が気になる。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

3 . ある歌手や音楽バンドに注目している。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

4 . 科学のニュースに興味がある。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

5 . 体を動かすのが好きだ。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

6 . 人に負けたくないと思う。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

7 . わりと飽きないで長続きするほうだ。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

8 . よく空想する。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
--------	--------	-------	---------	---------

9. イライラすることが多い。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

10. 大好きなスポーツがある。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

11. 人前で話すのは苦手なほうだ。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

12. マンガ本以外の本をよく読む。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

13. 好き・きらいの判断が早い。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

14. ボランティア活動に興味がある。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

15. あまり時間を気にしないほうだ。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

16. 社会の動きや出来事が気になる。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
<hr/>				

[質問 2]

あなたは高校を卒業したら、就職したいと思いますか、進学したいと思いますか。当てはまる番号に を付けてください。(進学先は大学、短大、専修・専門学校を含みます)

- 1 . 就職したいと強く思っている
- 2 . 就職したいと思っているけれど、そんなに強くは思っていない

- 3 . 進学したいと強く思っている
- 4 . 進学したいと思っているけれど、そんなに強くは思っていない

1・2に を付けた人 次のページへ進んでください。

3・4に を付けた人 9 ページへ飛んでください。

このページからは就職希望の人が答えてください。

[質問 3]

あなたはどんな分野に就職したいと思っていますか。希望する分野を3つまで選び、を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- () 一般事務・会計事務など
- () 市役所・役場など
- () デパートやスーパーなど
- () 建築・土木・機械産業など
- () 鉄道・バス・運送など
- () 農業・畜産・漁業・林業など

- () 病院・診療所など
- () 幼稚園・保育園・学校・福祉施設など
- () 警察・消防・警備など
- () 理容・美容・デザイン・ファッションなど
- () 旅行・飲食店・観光など

- () 音楽・芸術・プロのスポーツなど
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 4]

あなたは、どの地域へ就職したいと思っていますか。希望する地域を3つまで選び、希望する順に1, 2, 3と記入してください。(回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません)

- () 上越地域
- () 上越地域以外の新潟県内
- () 東京都
- () 東京都以外の関東地域

- () 長野・富山・金沢などの北信越地域
- () 名古屋・岐阜などの中部地域
- () 大阪・京都・神戸などの関西地域
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 5]

あなたが就職したいと思う理由は何ですか。あてはまるところに を付けてください。

1 . 自分の能力や個性を生かしたいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

2 . 自由な時間をもちたいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

3 . 親から独立して暮らしたいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

4 . 就職したい分野に興味があるから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

5 . 自分の力でお金を得たいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

6 . 親が就職を希望しているから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

7 . 就職できるなら早く就職しておいたほうがいいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

8 . 社会のいろいろな面を知りたいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

9 . 早く一人前になったり家庭をもったり安定したいから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

10 . 進学はお金がかかるから。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

[質問6]

あなたが就職して社会人生活を送るときに、ないと困ると思うものを3つまで選び、を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- () 自動車
- () オートバイ
- () 電話機
- () 携帯電話・PHS
- () ファクシミリ
- () パソコン
- () テレビ
- () ゲーム機
- () CD・MDプレーヤー
- () ビデオデッキ
- () 新聞
- () 本
- () 机とイス
- () ベッド
- () 炊飯器
- () 冷蔵庫
- () 電子レンジ

[質問7]

あなたは就職したら、どんなところに住みたいですか。希望する生活環境を下から3つ選び、希望する順に1, 2, 3の数字を記入してください。(1, 2, 3を記入)

- () 食料品や日用品の買物に便利なところ
- () 電車やバスなど、交通の便がよいところ
- () 犯罪が少なく安全なところ
- () 自然が豊かなところ
- () 同じ年令の若者が多いところ
- () にぎやかなショッピング街があるところ

[質問 8]

あなたは就職したら、どんな生活を送ってみたいと思いますか。あてはまるところに を付けてください。

1 . 職場や地域のスポーツ部や趣味のサークルに入りたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

2 . 大きな都会で暮らしてみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

3 . 新聞やニュースをよく見るようにしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

4 . なるべく自宅から通いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

5 . 将来、親に負担をかけないように、なるべく貯金したい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

6 . その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

7 . できるだけ自分の自由な時間を多くしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

8 . 年令や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

9 . 同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

10. 職場の先輩と積極的に話してみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

11. 休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

12. 外国に行ってみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

13. 何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

14. 仕事に興味をもち、その分野のプロになりたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

15. お金が出るなら残業や休日出勤も引き受けると思う。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

16. ボランティア活動に参加したい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

次は、14ページの「質問9」へ飛んでください。

このページからは進学希望の人が答えてください。

[質問 3]

あなたは、どんな学校へ進学したいと思っていますか。もっとも希望するものを 1つだけ 選び、 を記入してください。(は1つのみ)

- () 大学
- () 短期大学
- () 専修・専門学校(その他学校を含む)

[質問 3 - 2]

あなたは、どんな分野へ進学したいと思っていますか。希望する分野を 3つまで 選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- | | |
|------------|------------|
| () 文学・語学系 | () 物理・化学系 |
| () 政治・法学系 | () 生物・地学系 |
| () 経済・商業系 | () 農林・水産系 |
| () 社会・国際系 | () 医学・薬学系 |
| () 教育系 | () 環境系 |
| () 福祉系 | () 食品・服飾系 |
| () 情報・通信系 | () 美容・観光系 |
| () 機械・電気系 | () 体育系 |
| () 建築・土木系 | () 芸術系 |
| | () その他[] |

具体的に書いてください。

[質問 4]

<p>あなたは、どの地域の学校へ進学したいですか。希望する地域を<u>3つまで</u>選び、<u>希望する順</u>に<u>1, 2, 3</u>と記入してください。(回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません)</p>
--

- () 上越地域
- () 上越地域以外の新潟県内
- () 東京都
- () 東京都以外の関東地域

- () 長野・富山・金沢などの北信越地域
- () 名古屋・岐阜などの中部地域
- () 大阪・京都・神戸などの関西地域
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 5]

<p>あなたが進学したいと思う理由は何ですか。あてはまるところに を付けてください。</p>
--

1. 自分の能力や個性を伸ばしたいから

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

2. 就職に有利だから

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

3. 親から独立して暮らしたいから

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

4. 進学する分野に興味があるから

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

5. クラブ活動やサークル活動をしたいから


すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

6. 資格を取得したいから

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう


7. 親が進学を希望するから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう



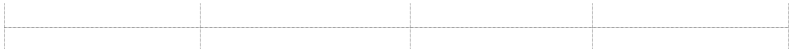
8. 体裁(ていさい)がいいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう




9. 社会へまだ出たくないから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう



10. 同じ年代の若い人たちと知り合いたいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう



[質問 6]

あなたが進学して学生生活を送るときに、ないと困ると思うものを3つまで選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- () 自動車
- () オートバイ
- () 電話機
- () 携帯電話・PHS
- () ファクシミリ
- () パソコン
- () テレビ
- () ゲーム機
- () CD・MDプレーヤー
- () ビデオデッキ
- () 新聞
- () 本
- () 机とイス
- () ベッド
- () 炊飯器
- () 冷蔵庫
- () 電子レンジ

[質問 7]

あなたは進学したら、どんなところに住みたいですか。希望する生活環境を下から3つ選び、希望する順に1, 2, 3の数字を記入してください。(1, 2, 3を記入)

- () 食料品や日用品の買い物に便利なところ
- () 電車やバスなど、交通の便がよいところ
- () 犯罪が少なく安全なところ
- () 自然が豊かなところ
- () 同じ年令の若者が多いところ
- () にぎやかなショッピング街があるところ

[質問 8]

あなたは進学したら、どんな学生生活を送ってみたいと思いますか。あてはまるところに付けてください。

1 . スポーツ部や趣味のサークルに入りたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

2 . 大きな都会で暮らしてみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

3 . 新聞やニュースをよく見るようにしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

4 . なるべく自宅から通いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

5 . 親にお金の負担をかけないようにしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

6 . その地域の祭りやイベントがあるなら参加してみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

7 . できるだけ自分の自由な時間を多くしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

8 . 年齢や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

9. 同じ年令のいろいろな若者たちと知り合いたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

10. 授業担当の先生と積極的に話してみたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

11. 休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

12. 外国に行ってみたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

13. 何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

14. 自分が進学した分野に興味をもち、深く学んでみたい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

15. バイトなどでお金を得たい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

16. ボランティア活動に参加したい。

すごくそう思う	わりとそう思う	少しそう思う	あまり思わない	ぜんぜん思わない
---------	---------	--------	---------	----------

[質問 1 1]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられるとしたら、その学校はどんな特徴をもつ学校だとよいと思いますか。それぞれのグループごとに、あてはまるものに を記入してください。(グループ は を1つのみ、グループ2は を2つ記入)

グループ (は1つのみ)

- () 多くの分野をもつ総合的な学校
- () 特定の分野を専門とする学校

グループ (は2つ)

- () 地元の企業との協同研究が盛んな産学協同型の学校
- () 新しい会社を起こす人材を育成・支援する実践型の学校
- () 市民公開講座などを積極的に開く地域住民に開かれた学校
- () 社会人が学習できるような夜間コースを設けた学校
- () 中央の有力学校の「上越キャンパス」(上越分校)
- () 外国からの教師・留学生を多く受け入れる国際型の学校
- () その他

具体的に書いてください。

[質問 1 2]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつけられた場合、あなたはその学校への進学を考えてみますか。もっともあてはまるところに を記入してください。(は1つのみ)

- () その学校に希望する分野があれば、進学を考えてみたい。
- () その学校に希望する分野がなくても、進学を考えてみたい。
- () 進学を考えてみたいとは思わない。

[質問 1 3]

あなた自身のことをお聞きします。

1 . あなたの性別 (男 ・ 女)

を付けてください。

2 . あなたの在籍学科 [] 科

普通科なら「普通」、工業科なら「工業」と書いて

ください。

3 . 住んでいる市町村 []

「上越市」「安塚町」「牧村」などのように書いて

ください。

[質問 1 4]

あなたは、将来も上越地域に住みたいと思いますか。もっともあてはまるところに
を付けてください。(は1つのみ)

() 上越地域にずっと住みたい。

() 一度は他の地域に住むかもしれないが、いずれは上越地域に戻りたい。

() 他の地域に移りたい。

[質問 1 5]

これから上越地域が発展するためには、何に力を入れたらよいと思いますか。 3つ
まで選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- () 農業
- () 工業
- () I T (情報技術)
- () 商業

- () 観光
- () 防災
- () 交通
- () レジャー
- () 福祉・医療

- () 国際交流
- () 生涯学習・生涯教育
- () 住宅問題
- () 環境問題

ご協力ありがとうございました。

保護者各位

上越市政策審議局
上越市創造行政研究所
上越教育大学田中（敏）心理学教室**「上越地域における高校生の進路等に関する意識調査」(アンケート調査)
ご協力をお願い**

日頃から本市の行政活動に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、現在上越市では、これからの時代を担う人材育成などをめざして、大学などの高等教育機関のあり方について調査を行っております。

このたびその調査の一環として、将来の上越地域を担う高校生の進路などについて、高校生とその保護者の方々を対象にしたアンケート調査を上越教育大学田中教授のご協力により行うことにいたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力下さいませようお願い申し上げます。

なお、当調査につきましては、上越地域 22 市町村の高等学校からご協力をいただき、各校 1～4 クラスを対象に実施しております。また、皆様からのご回答は、これからの行政運営に活用させていただくとともに、ご協力いただいた皆様にも、後日集計結果をお知らせいたします。

ご記入・ご返送について**【プライバシーの保護】**

- ・ 回答はすべて統計的に処理しますので、誰がどのような回答をしたか公表されることはありません。

【回答方法】

- ・ 質問票中の「お子様」とは、この調査用紙をあなたにお渡しいただいた方のことです。質問には、その方の保護者としてご回答ください。
- ・ 回答に当っては、ご夫婦など複数の方で記入いただいてもかまいませんが、全ての質問にお答えください。

【返信方法】

- ・ ご記入後は、恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手不要）にて2月9日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。

〈 本アンケートについてのお問い合わせ先 〉上越市創造行政研究所（電話番号：(0255) 24 - 6101）担当：石黒、^{うちうみ}内海

〒943 - 0805 新潟県上越市木田 2 - 1 - 1 山和ビル 8 F

E-mail: souzou@city.joetsu.niigata.jp

～上越市創造行政研究所～

本格的な地方分権時代を迎えるなかで自治体が真の自主・自立を果たすため、政策立案能力の向上を目的として設立された上越市の組織内シンクタンクです。行政の現場と連携しながら様々な課題についての調査研究を行い、地域発展へ貢献することを目指して活動しています。

【活動】政策立案に求められる調査研究業務とその研究成果の発信および市民セミナーなどの開催

[質問 1]

あなたは、お子様の高校卒業後の進路について、どのような考えをお持ちですか。現在のお考えに、もっともあてはまるところに を記入してください。（ は1つのみ）

- () 就職させたいと考えている。
() 4年制大学に進学させたいと考えている。
() 短期大学に進学させたいと考えている。
() 専修・専門学校に進学させたいと考えてる。
() その他 []

具体的に書いてください。

[質問 2]

あなたは、お子様をどの地域へ就職又は進学させたいとお考えですか。希望される地域を 3つまで 選び、希望する順に1, 2, 3 と記入してください。（回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません）

- () 上越地域
() 上越地域以外の新潟県内
() 東京都
() 東京都以外の関東地域
() 長野・富山・金沢などの北信越地域
() 名古屋・岐阜などの中部地域
() 大阪・京都・神戸などの関西地域
() その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 3]

あなたは、質問2で第1位にあげられた地域に、お子様を就職又は進学させたい理由は何ですか。その理由を 3つ 選び、強い理由の順に1, 2, 3 と記入してください。（1, 2, 3と記入）

- () その地域の生活環境がよいから
() 自宅から通勤または通学させたいから
() 上越からなるべく近いところに就職・進学させたいから
() 都会に就職・進学させたいから
() 高校を卒業したら親元を離れた方がよいから
() 人間関係・交遊関係を広げさせたいから
() お子様にあった勤め先または学校があると思うから
() その他 []

具体的に書いてください。

[質問 4]

あなたは、上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校が必要だと思われますか。下の例のように、あてはまるところに を付けてください。

例) 最新の設備が整った学校

	必要である	どちらかという 必要である	どちらかという 必要でない	必要でない
1. 4年制大学				
2. 短期大学				
3. 専修・専門学校				
4. 大学院大学(大学院を主とする大学)				

[質問 5]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられるとしたら、あなたはどんな分野の学校を希望されますか。希望される分野を3つまで選び、 を付けてください。

(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- | | |
|------------|------------|
| () 文学・語学系 | () 物理・化学系 |
| () 政治・法学系 | () 生物・地学系 |
| () 経済・商業系 | () 農林・水産系 |
| () 社会・国際系 | () 医学・薬学系 |
| () 教育系 | () 環境系 |
| () 福祉系 | |
| () 情報・通信系 | () 食品・服飾系 |
| () 機械・電気系 | () 美容・観光系 |
| () 建築・土木系 | |

- () 体育系 () その他 []
() 芸術系 具体的に書いてください。

[質問 6]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられるとしたら、その学校はどんな特徴をもつ学校だと思われませんか。それぞれのグループごとに、あてはまるものに を記入してください。(グループ は を1つのみ、グループ2は を2つ記入)

グループ (は1つのみ)

- () 多くの分野をもつ総合的な学校
() 特定の分野を専門とする学校

グループ (は2つ)

- () 地元の企業との協同研究が盛んな産学協同型の学校
() 新しい会社を起こす人材を育成・支援する実践型の学校
() 市民公開講座などを積極的に開く地域住民に開かれた学校
() 社会人が学習できるような夜間コースを設けた学校
() 中央の有力学校の「上越キャンパス」(上越分校)
() 外国からの教師・留学生を多く受け入れる国際型の学校
() その他 []

具体的に書いてください。

[質問 7]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられた場合、あなたはお子様にその学校への進学をすすめますか。もっともあてはまるところに を記入してください。(は1つのみ)

- () その学校に本人の希望する分野があれば、進学をすすめたい。
() その学校に本人の希望する分野がなくても、進学をすすめたい。
() 進学をすすめたいとは思わない。

()その他[

] 具体的に書いてください。

[質問 8]

あなたご自身のことをお聞きします。

なお、お二人以上でお答えになった場合、性別・年齢は、その人数分の を付けてください。

例) 40代のご夫婦でお書きになった場合

あなたの性別 (男) ・ (女)

あなたの年齢 (30代 ・ 40代) ・ 50代 ・ その他)

1. あなたの性別 (男 ・ 女)

を付けてください。

2. あなたの年齢 (30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ その他)

を付けてください。

3. 住んでいる市町村 []

「上越市」「安塚町」「牧村」などのように書いてください。

4. あなたのお子様の在籍学科 [] 科

普通科なら「普通」、工業科なら「工業」と書いてください。

[質問 9]

これから上越地域が発展するために、あなたは、何に力を入れたらよいと思われますか。

3つまで選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

() 農業

() 工業

() IT (情報技術)

() 商業

() 観光

() 防災

() 交通

() レジャー

() 福祉・医療

() 国際交流

() 生涯学習・生涯教育

() 住宅問題

() 環境問題

ご協力ありがとうございました。

上越市における中学生の進路等に関する意識調査
(生徒・保護者アンケート) 調査票

生徒用

平成13年2月

中学3年生の皆さんへ

上越市・上越市教育委員会

「上越市における中学生の進路等に関する意識調査」(アンケート調査)
ご協力をお願い

上越市では現在、『みどりの生活快適都市・上越』を将来都市像に掲げ、市民の皆さんと共にまちづくりをすすめています。その中で、これからの時代を担う人材育成などをめざして、大学などの高等教育機関のあり方について調査しています。

このたび、その取組みの一環として、将来の上越地域の発展を担う中学生の皆さんの関心事や進路などについて、皆さんご自身と、保護者の方々を対象にアンケート調査を行うことにしました。ついては、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力をよろしく願いいたします。

なお当調査は、上越市内の中学校のご協力で実施しています。また、皆さんのご回答は、これからの地域づくりの大切な資料として活用させていただくとともに、皆さんにも後日、結果をお知らせいたします。

【調査の項目】

- 現在の関心事について
- 皆さんの将来(職業など)について
- これからの上越地域について

ご記入にあたって

【プライバシーの保護】

- 回答はすべて統計的に処理しますので、どの方がどんな回答をしたか公表されることは絶対にありません。

【回答方法】

- 他の人と相談しないで、楽な気持ちで、あなたが思っているとおりを教えてください。
- 最後まで書き終わったら、もう一度記入もれがないか確認をよろしく願います。

[質問 1]

あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか。下の例のようにあてはまるところに を付けてください。

例) 新鮮な魚やフルーツが食べたい。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう
	<input checked="" type="radio"/>			

1 . インターネットに興味がある。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

2 . 人の話が気になる。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

3 . ある歌手や音楽バンドに注目している。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

4 . 科学のニュースに興味がある。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

5 . 体を動かすのが好きだ。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

6 . 人に負けたくないと思う。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

7 . わりと飽きないで長続きするほうだ。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

8 . よく空想する。

すごくそうだ	わりとそうだ	少しそうだ	ちょっとちがう	ぜんぜんちがう

9. イライラすることが多い。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

10. 好きなスポーツがある。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

11. 人前で話すのは苦手なほうだ。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

12. マンガ本以外の本をよく読む。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

13. 好き・きらいの判断が早い。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

14. ボランティア活動に興味がある。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

15. あまり時間を気にしないほうだ。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

16. 社会の動きや出来事が気になる。

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

[質問 2]

あなたは将来どんな仕事につきたいと思いますか。今興味がわくものを3つまで選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- () 会社員など
- () 市役所・役場など
- () デパートやスーパーなど
- () 建築・土木・機械産業など
- () 鉄道・バス・運送など
- () 農業・畜産・漁業・林業など

- () 病院・診療所など
- () 幼稚園・保育園・学校・福祉施設など
- () 警察・消防・警備など
- () 理容・美容・デザイン・ファッションなど
- () 旅行・飲食店・観光など

- () 音楽・芸術・プロのスポーツなど
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 3]

あなたは将来、就職してどの地域に住みたいと思いますか。希望する地域を3つまで選び、希望する順に1, 2, 3と記入してください。(回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません)

- () 上越地域
- () 上越地域以外の新潟県内
- () 東京都
- () 東京都以外の関東地域

- () 長野・富山・金沢などの北信越地域
- () 名古屋・岐阜などの中部地域
- () 大阪・京都・神戸などの関西地域
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 4]

あなたは将来社会人になったら、どんな生活を送ってみたいと思いますか。あてはまるところに を付けてください。

1 . 職場や地域のスポーツ部や趣味のサークルに入りたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

2 . 大きな都会で暮らしてみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

3 . 新聞やニュースをよく見るようにしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

4 . なるべく自宅から通いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

5 . 自分の老後に備えてなるべく貯金したい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

6 . 地域の祭りやイベントに参加してみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

7 . できるだけ自分の自由な時間を多くしたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

8 . 年齢や職業の違ういろいろな人たちと知り合いたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

9 . 休日に英会話教室やスポーツクラブなどに行ってみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

10. 外国に行ってみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

11. 何か大きな目標を立て、チャレンジしてみたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

12. 自分の仕事に興味をもち、その分野のプロになりたい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

13. お金が出るなら残業や休日出勤も引き受けると思う。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

14. ボランティア活動に参加したい。

すごくそう思う わりとそう思う 少しそう思う あまり思わない ぜんぜん思わない

--	--	--	--	--

[質問 5]

あなたは将来、就職する前に大学、短期大学、専修・専門学校へ進学してみたいと思いますか。
もっとも希望するものを1つだけ選び、 を付けてください。(は1つのみ)

1. 大学（主に4年制の学校）に進学してみたい
2. 短期大学（主に2年制の学校）に進学してみたい
3. 専修・専門学校（主に1～3年制でその他学校を含む）に進学してみたい
4. 進学したいと思わない

1・2・3に を付けた人 次のページへ進んでください。

4に を付けた人 8ページの[質問9]へ飛んでください。

このページからは進学希望と答えた人だけが答えてください。

[質問 6]

あなたが[質問5]で選んだ学校に進学したいと思う理由は何ですか。あてはまるところに を付けてください。

1. 自分の能力や個性を伸ばしたいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

2. 就職に有利だから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

3. 親から独立して暮らしたいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

4. 進学する分野に興味があるから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

5. クラブ活動やサークル活動をしたいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

6. 資格を取得したいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

7. 親が進学を希望するから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

8. 体裁(ていさい)がいいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

9. 同じ年代の若者たちと知り合いたいから

すごくそうだ わりとそうだ 少しそうだ ちょっとちがう ぜんぜんちがう

--	--	--	--	--

[質問 7]

あなたは[質問5]で選んだ学校に進学し、学生生活を送るとしたら、どんなところに住んでみたいですか。下から 3つ 選び、希望する順に 1, 2, 3 の数字を記入してください。

(1 , 2 , 3 を記入)

- () 食料品や日用品の買い物に便利なところ
- () 電車やバスなど、交通の便がよいところ
- () 犯罪が少なく安全なところ
- () 自然が豊かなところ
- () 同じ年令の若者が多いところ
- () にぎやかなショッピング街があるところ

[質問 8]

あなたは、[質問5]で選んだ学校はどんな地域にあるとよいと思いますか。希望する地域を 3つまで 選び、希望する順に 1, 2, 3 と記入してください。(回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません)

- () 上越地域
- () 上越地域以外の新潟県内
- () 東京都
- () 東京都以外の関東地域

- () 長野・富山・金沢などの北信越地域
- () 名古屋・岐阜などの中部地域
- () 大阪・京都・神戸などの関西地域
- () その他 [] 具体的に書いてください。

このページからはすべての人が答えてください。

[質問 9]

もし上越市に新しい大学、短大、専修・専門学校がつけられたら、あなたはその学校へ進学してみたいと思いますか。もっともあてはまるところに を記入してください。

(は1つのみ)

- () その学校に興味があれば、進学してみたい。
- () その学校に興味がなくても、進学してみたい。
- () 進学したいとは思わない。

[質問 10]

あなたは、将来も上越地域に住みたいと思いますか。もっともあてはまるところに を付けてください。(は1つのみ)

- () 上越地域にずっと住みたい。
- () 一度は他の地域に住むかもしれないが、いずれは上越地域に戻りたい。
- () 他の地域に移りたい。

[質問 11]

これから上越地域が発展するためには、何に力を入れたらよいと思いますか。 3つまで 選び、を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- | | |
|--|----------------------|
| () 農業 | () レジャー |
| () 工業 | () 福祉・医療 |
| () ^{アイティ-} I T (情報技術) | () 国際交流 |
| () 商業 | () 生涯学習・生涯教育 |
| () 観光 | () 住宅問題 |
| () 防災 | () 環境問題 |
| () 交通 | |

[質問 12]

あなた自身のことをお聞きします。

1. あなたの性別 (男 ・ 女)
を付けてください。

ご協力ありがとうございました。

保護者各位

上越市・上越市教育委員会

**「上越市における中学生の進路等に関する意識調査」(アンケート調査)
ご協力をお願い**

日頃から本市の行政活動に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、現在上越市では、これからの時代を担う人材育成などをめざして、大学などの高等教育機関のあり方について調査を行っております。

このたび、その調査の一環として、将来の上越地域を担う中学生の進路などについて、中学生の方ご自身と、その保護者の方々を対象にアンケート調査を行うことにいたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、当調査につきましては、上越市内の中学校のご協力で実施しております。また、皆様のご回答は、これからの行政運営に活用させていただくとともに、ご協力いただいた皆様にも、後日、集計結果をお知らせいたします。

ご記入・ご返送について**【プライバシーの保護】**

- ・ 回答はすべて統計的に処理しますので、誰がどのような回答をしたか公表されることはありません。

【回答方法】

- ・ 質問票中の「お子様」とは、この調査用紙をあなたにお渡しいただいた方のことです。質問には、その方の保護者としてご回答ください。
- ・ 回答に当っては、ご夫婦など複数の方で記入いただいてもかまいません。

【返信方法】

- ・ ご記入後は、恐縮ですが、同封の返信用封筒(切手不要)にて2月20日(火)までに投函いただきますようお願いいたします。

所管担当課 : 上越市政策審議局まちづくり政策室 大島
26 - 5111 (内線447)

[質問 1]

あなたは、お子様の進路について、どのような考えをお持ちですか。現在のお考えに、もっともあてはまるところに を記入してください。（は1つのみ）

高校には高等専門学校（高専）など中学校卒業後に進学する各種学校も含まれます。

- () 中学校卒業後、すぐに就職させたいと考えている。
 () 高校卒業後、すぐに就職させたいと考えている。
 () 高校卒業後、4年制大学に進学させたいと考えている。
 () 高校卒業後、短期大学に進学させたいと考えている。
 () 高校卒業後、専修・専門学校に進学させたいと考えている。
 () その他 []

具体的に書いてください。

[質問 2]

あなたは、お子様が[質問 1]の進路に進む場合、どの地域へ就職又は進学させたいとお考えですか。希望される地域を3つまで選び、希望する順に1, 2, 3と記入してください。（回答は、「1」だけでも「1, 2」まででもかまいません）

- () 上越地域
 () 上越地域以外の新潟県内
 () 東京都
 () 東京都以外の関東地域
 () 長野・富山・金沢などの北信越地域
 () 名古屋・岐阜などの中部地域
 () 大阪・京都・神戸などの関西地域
 () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 3]

あなたは、[質問 2]で第1位にあげられた地域に、お子様を就職又は進学させたい理由は何ですか。その理由を3つ選び、強い理由の順に1, 2, 3と記入してください。

(1 , 2 , 3 と記入)

- () その地域の生活環境がよいから
 () 自宅から通勤または通学させたいから
 () 上越からなるべく近いところに就職・進学させたいから
 () 都会に就職・進学させたいから
 () 高校を卒業したら親元を離れた方がよいから
 () 人間関係・交遊関係を広げさせたいから
 () お子様にあった勤め先または学校があると思うから
 () その他 []

具体的に書いてください。

[質問 4]

あなたは、上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校が必要だと思われますか。下の例のように、あてはまるところに を付けてください。

例) 最新の設備が整った学校

	必要である	どちらかという 必要である	どちらかという 必要でない	必要でない
1. 4年制大学	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 短期大学	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 専修・専門学校	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 大学院大学 (大学院を主とする大学)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[質問 5]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられるとしたら、あなたはどんな分野の学校を希望されますか。希望される分野を3つまで選び、 を付けてください。

(は1つだけでも、2つでもかまいません)

- | | |
|------------|-------------|
| () 文学・語学系 | () 物理・化学系 |
| () 政治・法学系 | () 生物・地学系 |
| () 経済・商業系 | () 農林・水産系 |
| () 社会・国際系 | () 医学・薬学系 |
| () 教育系 | () 環境系 |
| () 福祉系 | () 食品・服飾系 |
| () 情報・通信系 | () 美容・観光系 |
| () 機械・電気系 | () 体育系 |
| () 建築・土木系 | () 芸術系 |
| | () その他 [] |

具体的に書いてください。

[質問 6]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられるとしたら、その学校はどんな特徴をもつ学校だといえると思われますか。それぞれのグループごとに、あてはまるものに を記入してください。(グループ 1 は を1つのみ、グループ2は を2つ記入)

グループ 1 (は1つのみ)

- () 多くの分野をもつ総合的な学校
- () 特定の分野を専門とする学校

グループ 2 (は2つ)

- () 地元の企業との協同研究が盛んな産学協同型の学校
- () 新しい会社を起こす人材を育成・支援する実践型の学校
- () 市民公開講座などを積極的に開く地域住民に開かれた学校
- () 社会人が学習できるような夜間コースを設けた学校
- () 中央の有力学校の「上越キャンパス」(上越分校)
- () 外国からの教師・留学生を多く受け入れる国際型の学校
- () その他 [

具体的に書いてください。]

[質問 7]

もし上越市に新たな大学、短大、専修・専門学校がつくられた場合、あなたはお子様にその学校への進学をすすめますか。もっともあてはまるところに を記入してください。(は1つのみ)

- () その学校に本人の希望する分野があれば、進学をすすめたい。
- () その学校に本人の希望する分野がなくても、進学をすすめたい。
- () 進学をすすめたいとは思わない。
- () その他 [] 具体的に書いてください。

[質問 8]

あなたご自身のことをお聞きします。

なお、お二人以上でお答えになった場合、性別・年齢は、その人数分の を付けてください。

例) 40代のご夫婦でお書きになった場合

あなたの性別 (男) ・ (女)

あなたの年齢 (30代 ・ 40代) ・ 50代 ・ その他)

1. あなたの性別 (男 ・ 女)

を付けてください。

2. あなたの年齢 (30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ その他)

を付けてください。

[質問 9]

これから上越地域が発展するために、あなたは、何に力を入れたらよいと思われませんか。

3つまで選び、 を付けてください。(は1つだけでも、2つでもかまいません)

() 農業

() 工業

() IT (情報技術)

() 商業

() 観光

() 防災

() 交通

() レジャー

() 福祉・医療

() 国際交流

() 生涯学習・生涯教育

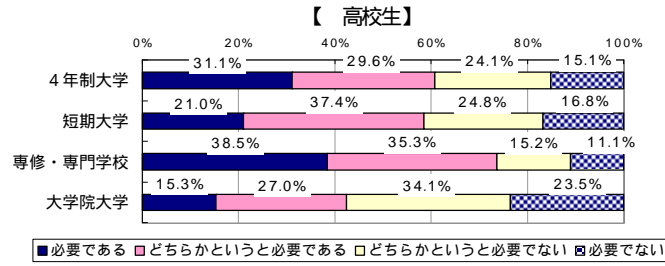
() 住宅問題

() 環境問題

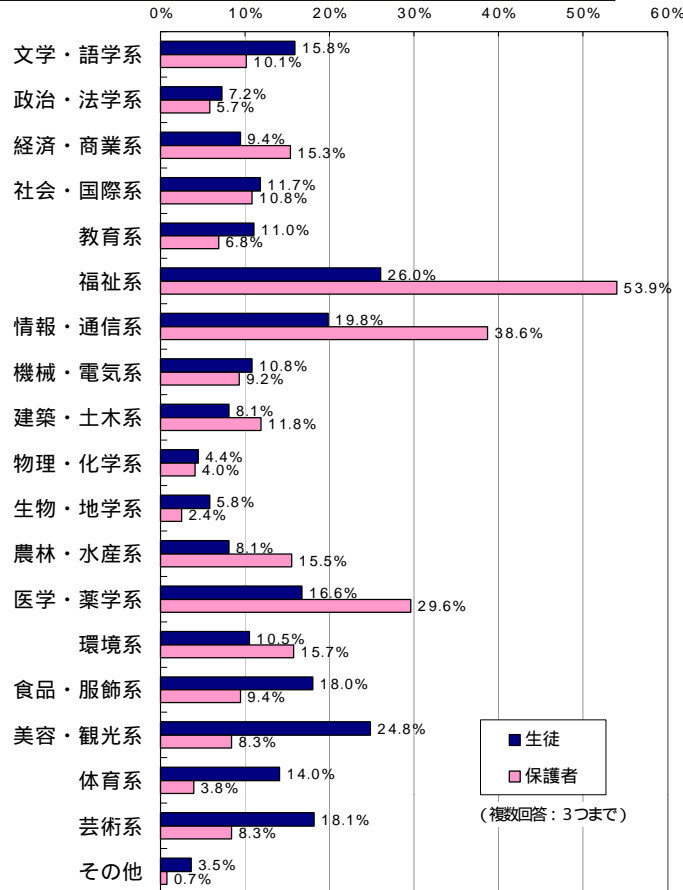
ご協力ありがとうございました。

上越地域における新たな高等教育機関の設置について

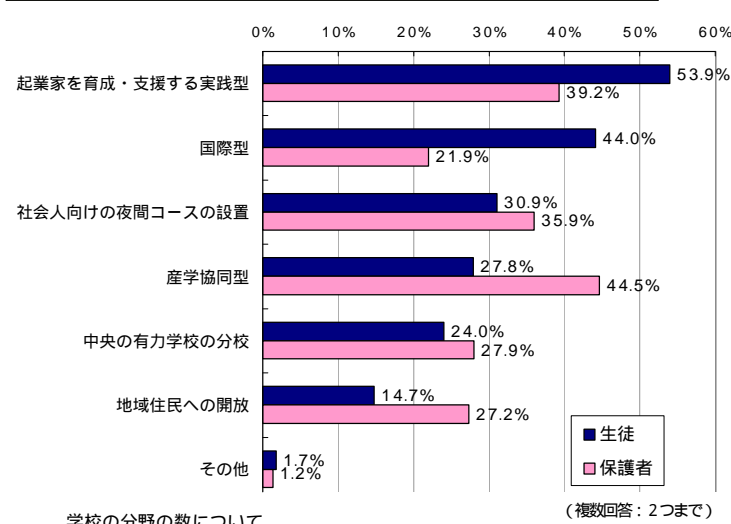
上越地域に新たな学校が必要だと思いますか？



どんな分野の学校が必要だと思いますか？



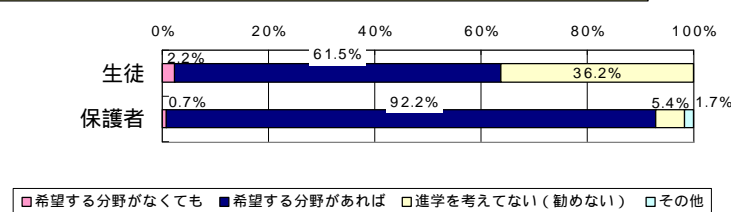
その学校はどんな学校だいいと思いますか？



学校の分野の数について

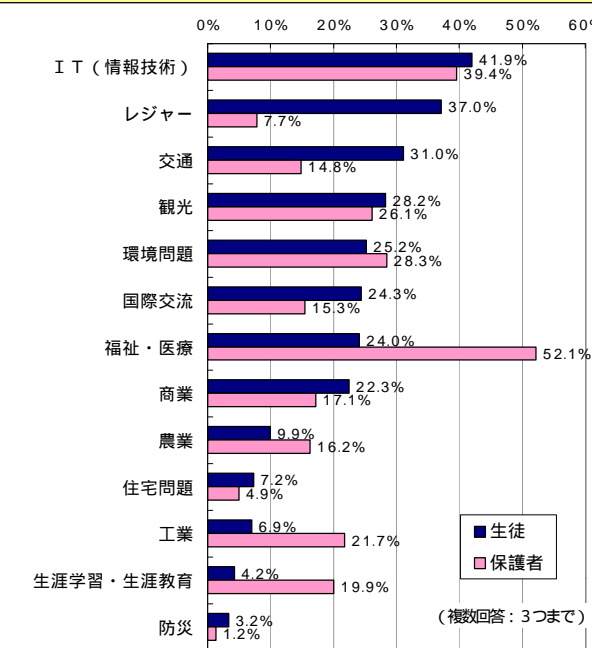
分野の数	高校生 (%)	保護者 (%)
多くの分野を持つ総合的な学校	60.7%	58.8%
特定の分野を持つ専門的な学校	39.3%	41.2%
計	100%	100%

新たな学校が作られたら、進学先として考えますか？

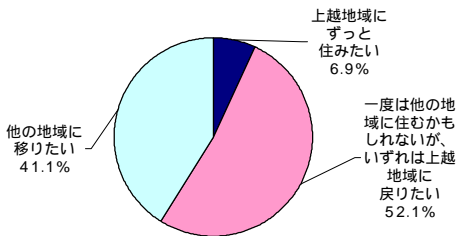


上越地域について

上越地域が発展するには何に力を入れるべきだと思いますか？



将来も上越地域に住みたいと思いますか？(高校生のみ回答)



本アンケートに関するお問合せは下記までお寄せください。

上越市創造行政研究所

〒943-0805 新潟県上越市木田2-1-1 山和ビル8F
 電話 (0255) 24-6101 FAX (0255) 24-6105
 E-mail: souzou@city.joetsu.niigata.jp

～上越市創造行政研究所～
 本格的な地方分権時代を迎えるなかで自治体が真の自主・自立を果たすため、政策立案能力の向上を目的として設立された上越市の組織内シンクタンクです。行政の現場と連携しながらさまざまな課題についての調査研究を行い、地域の発展に貢献することを目指して活動しています。

上越地域における高校生の進路等に関する意識調査

高校生・保護者アンケート集計結果【概要版】

上越市まちづくり政策室
 上越市創造行政研究所

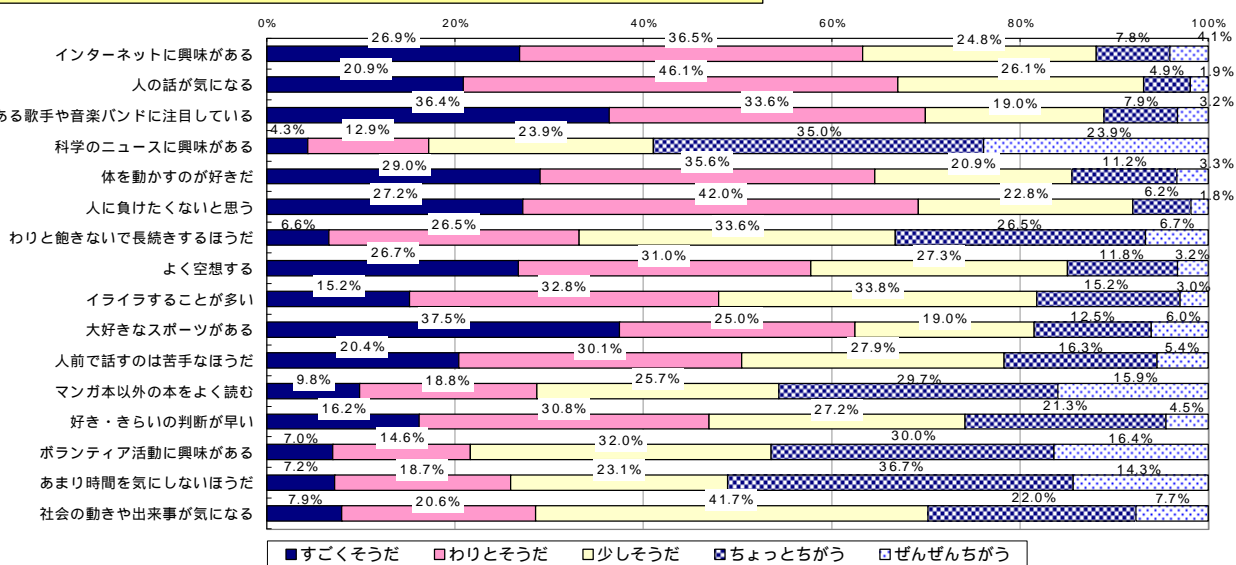
【調査の概要】

調査目的	上越地域の発展を担う高校生の進路等についての意識を調査し、今後のまちづくりの参考資料とする。また、併せて上越地域における高等教育機関のあり方の検討資料として活用する。
調査対象	上越地域2市町村の高校2年生(全日制)とその保護者 18校を対象に各1～4クラスを選定 盲学校・養護学校は除く
調査期間	平成13年2月上旬
調査方法	高校生：各学校にてクラス単位で配布・回収 保護者：各学校にてクラス単位で配布・郵送にて回収
有効回答者数	高校生：1,362名(男子623名、女子727名、不明12名) 保護者：577名(回収率42.4%)
集計・分析協力機関	上越教育大学 田中(敏)心理学教室

調査結果の詳細は、「上越地域における中学生・高校生の進路意向等に関する調査報告書」に掲載しております。ご希望の方は、上越市創造行政研究所までお問い合わせ下さい。(市のホームページにも掲載予定)

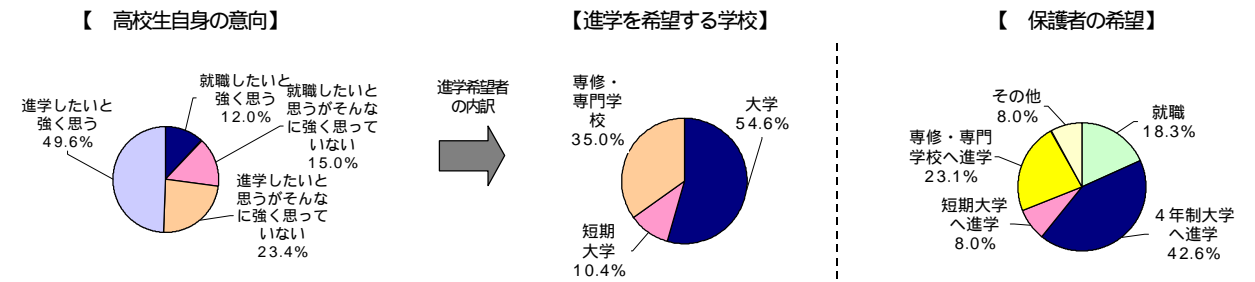
現在の関心事

あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか？(高校生のみ回答)



高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路はどのように考えていますか？

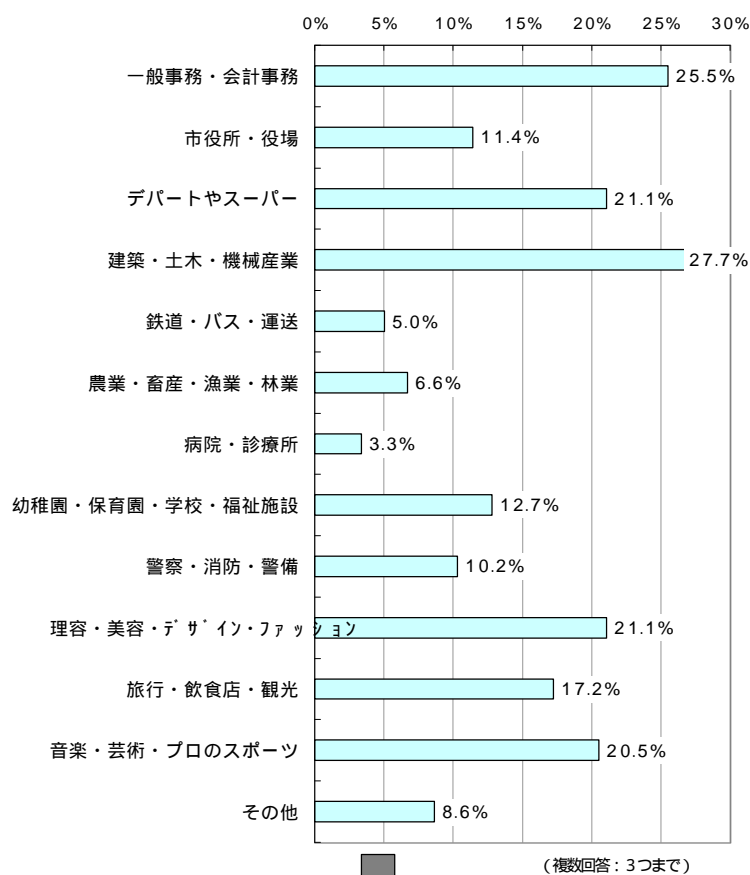


注) 今回の調査は、全ての高校生を対象としておりませんので、上記の進学・就職者の割合は、必ずしも実際の進学・就職率とは一致しません。

就職・進学したい分野について

高校卒業後、どんな分野に就職・進学したいですか？（高校生のみ回答）

【-1就職したい分野】・・・就職希望の高校生のみ回答

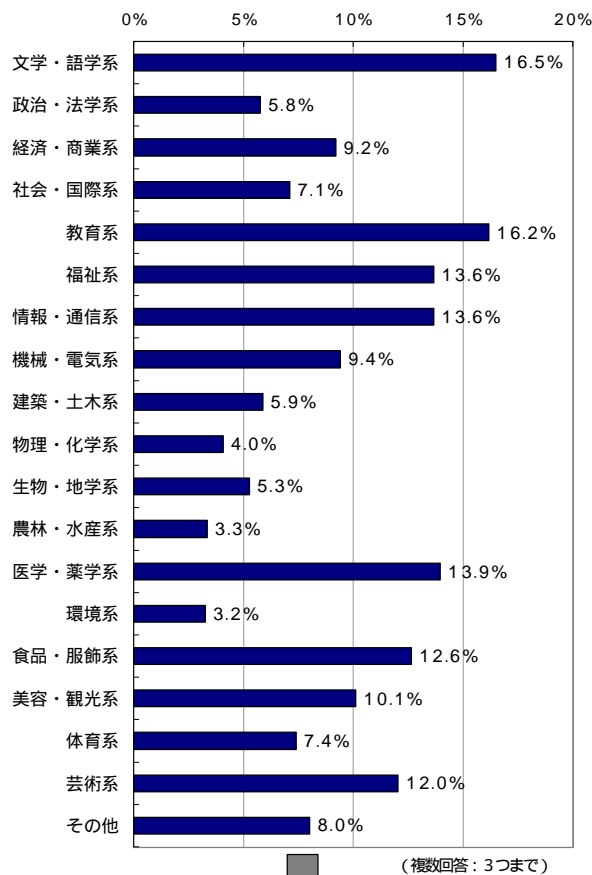


(複数回答：3つまで)

【-2就職したい理由】

就職したい理由	平均点
自分の力でお金を得たいから	4.00
就職できるなら早く就職しておいたほうが良いから	3.37
親から独立して暮らしたいから	3.33
進学はお金がかかるから	3.30
早く一人前になったり家庭を持ったり安定したいから	3.27
就職したい分野に興味があるから	3.23
自由な時間をもちたいから	3.10
自分の個性や能力を生かしたいから	3.08
社会のいろいろな面を知りたいから	2.95
親が就職を希望しているから	2.52

【-1進学したい分野】・・・進学希望の高校生のみ回答



(複数回答：3つまで)

【-2進学したい理由】

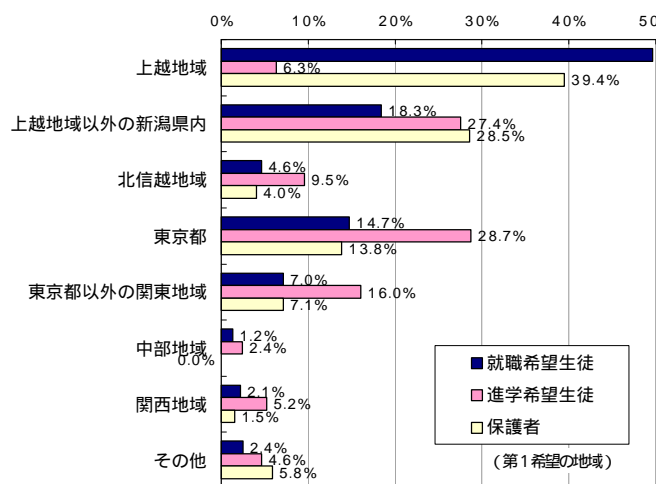
進学したい理由	平均点
進学する分野に興味があるから	4.19
自分の能力や個性を伸ばしたいから	3.83
資格を取得したいから	3.80
就職に有利だから	3.51
親から独立して暮らしたいから	3.25
同じ年代の若い人たちと知り合いになりたいから	3.23
社会へまだ出たくないから	2.58
クラブ活動やサークル活動をしたいから	2.49
体裁(ていさい)がいいから	2.43
親が進学を希望するから	2.30

「すごくそう思う」を5点、「ぜんぜん思わない」を1点としたときの平均点を表示(肯定傾向が強かった順)

就職・進学したい地域について

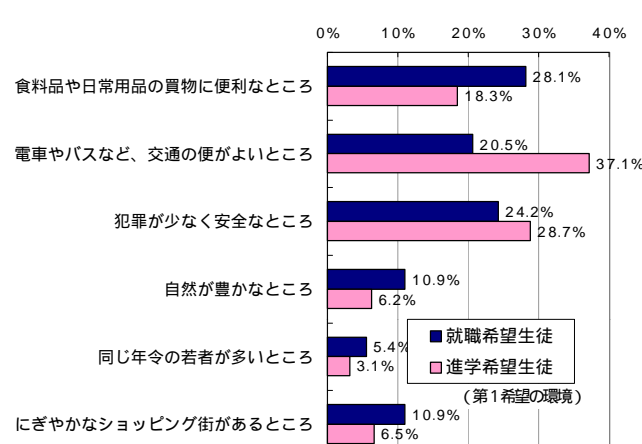
高校卒業後、どの地域へ就職・進学したいですか？

【就職・進学したい地域】



(第1希望の地域)

【就職・進学して住みたい地域の生活環境】*高校生のみ回答

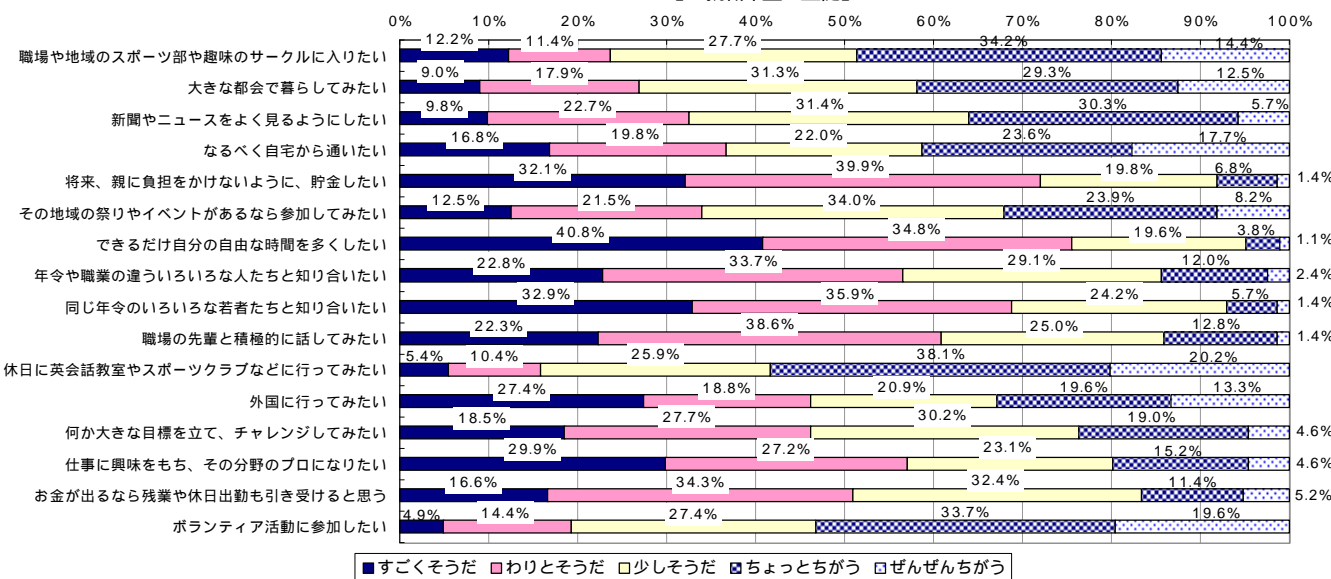


(第1希望の環境)

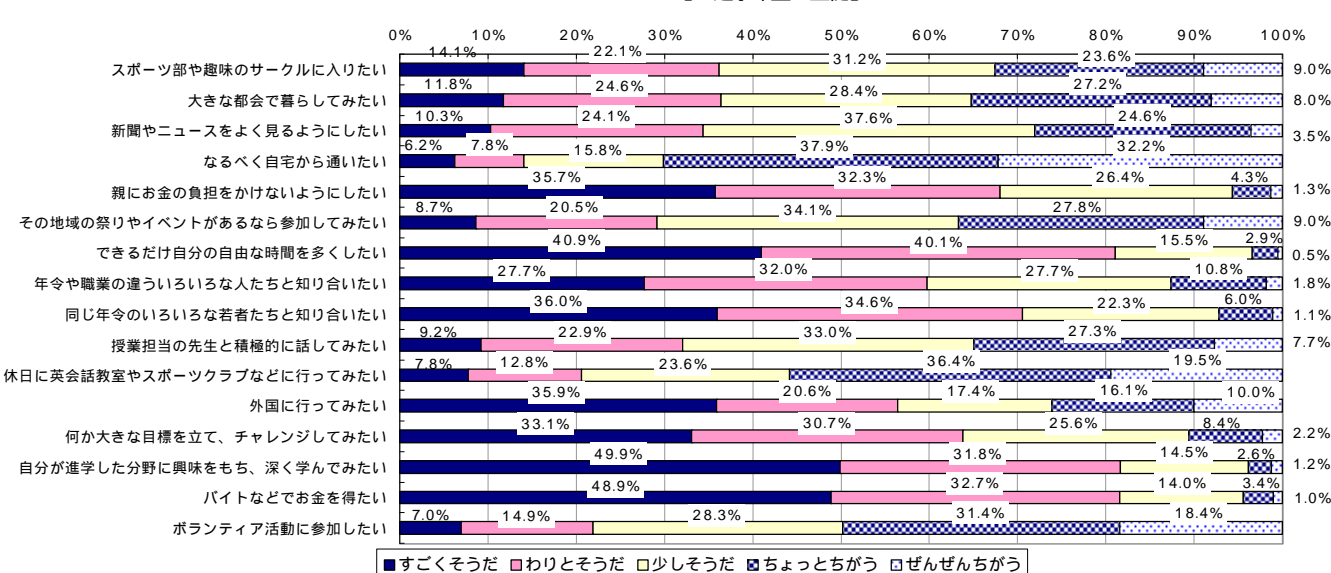
就職・進学後の生活について

高校卒業後、就職・進学したらどのような生活を送りたいですか？（高校生のみ回答）

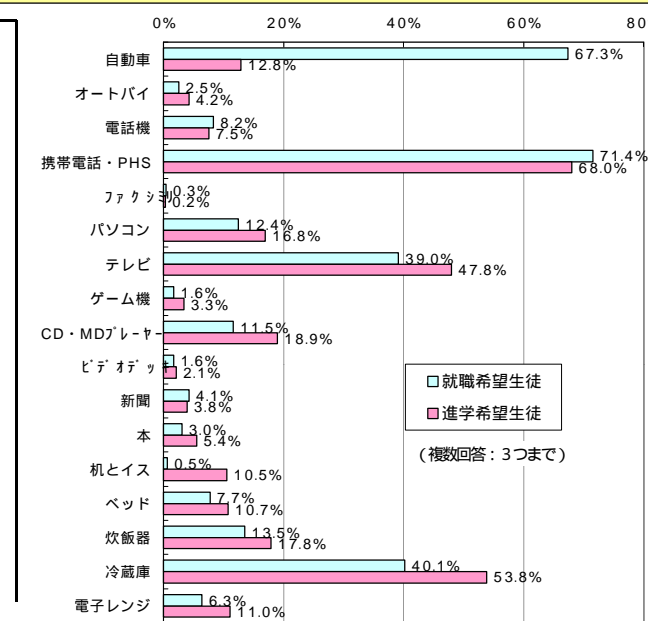
【就職希望の生徒】



【進学希望の生徒】

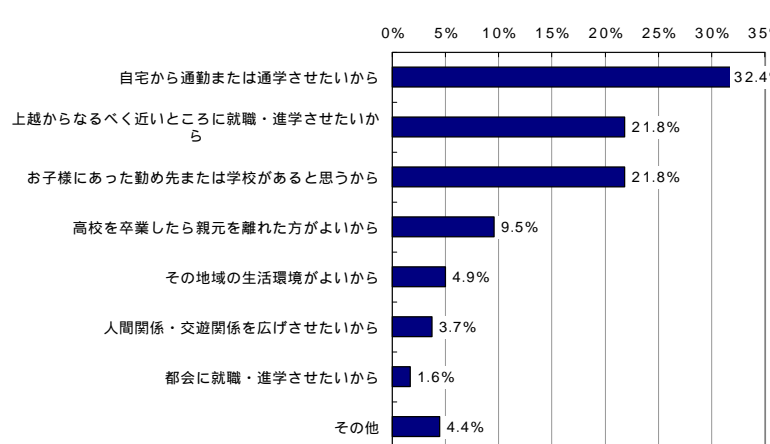


社会人・学生生活を送る上での必需品は何ですか？（高校生のみ回答）



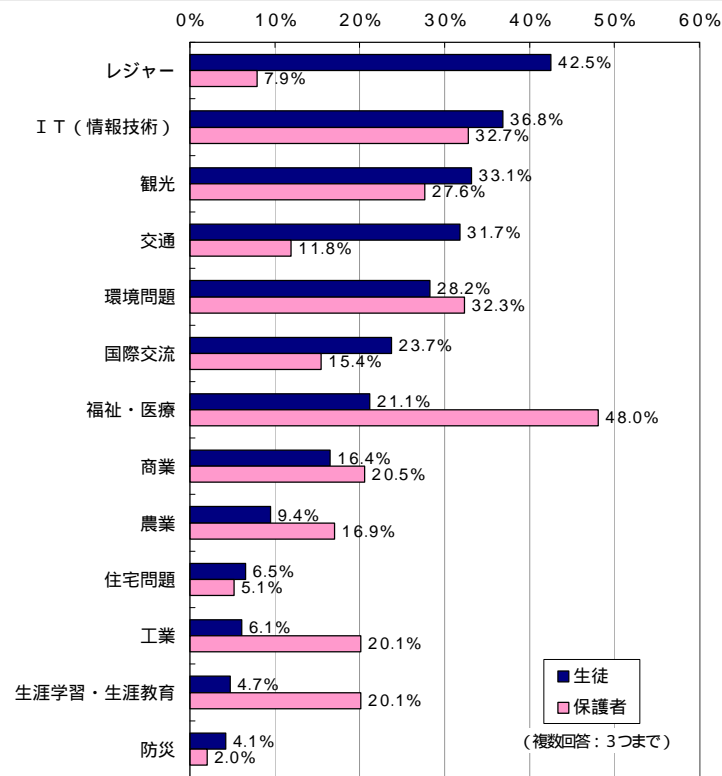
(複数回答：3つまで)

【就職・進学地を希望する理由】*保護者のみ回答(第1の理由)

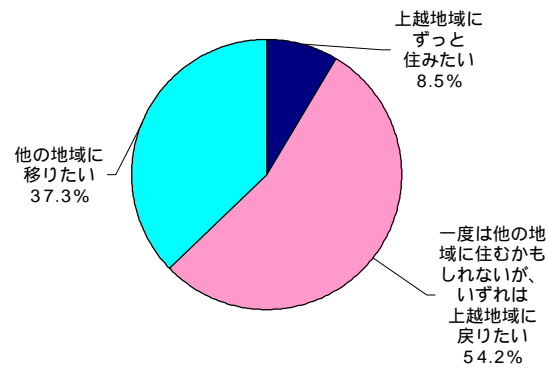


上越地域について

上越地域が発展するには何に力を入れるべきだと思いますか？



将来も上越地域に住みたいと思いますか？(中学生のみ回答)



本アンケートに関するお問合せは下記までお寄せください。

上越市創造行政研究所

〒943-0805 新潟県上越市木田2-1-1 山和ビル8F
 電話 (0255) 24-6101 FAX (0255) 24-6105
 E-mail: souzou@city.joetsu.niigata.jp

～上越市創造行政研究所～

本格的な地方分権時代を迎えるなかで自治体が真の自主・自立を果たすため、政策立案能力の向上を目的として設立された上越市の組織内シンクタンクです。行政の現場と連携しながらさまざまな課題についての調査研究を行い、地域の発展に貢献することを目指して活動しています。

上越地域における中学生の進路等に関する意識調査

中学生・保護者アンケート集計結果【概要版】

上越市まちづくり政策室
上越市創造行政研究所

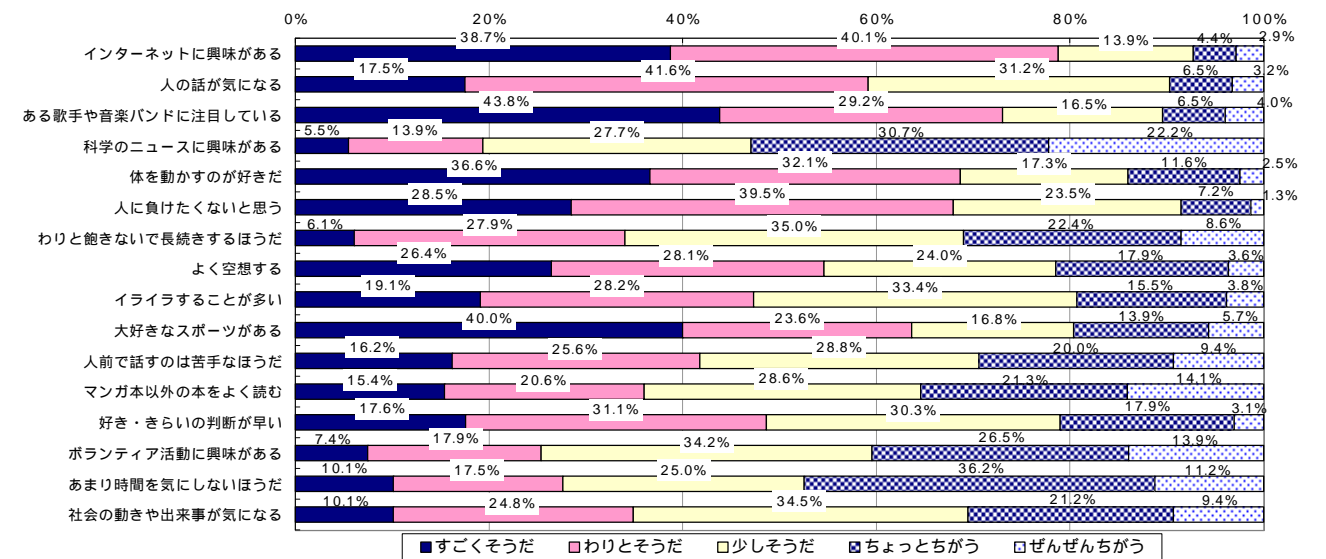
【調査の概要】

調査目的	上越地域の発展を担う中学生の進路等についての意識を調査し、今後のまちづくりの参考資料とする。また、併せて上越地域における高等教育機関のあり方の検討資料として活用する。
調査対象	上越市内の中学3年生とその保護者 市内の中学校(10校)を対象に各1~2クラスを選定
調査期間	平成13年2月下旬
調査方法	中学生：各学校にてクラス単位で配布・回収 保護者：各学校にてクラス単位で配布・郵送にて回収
有効回答者数	中学生：527名(男子261名、女子260名、不明6名) 保護者：257名(回収率48.8%)
集計・分析協力機関	上越教育大学 田中(敏)心理学教室

調査結果の詳細は、「上越地域における中学生・高校生の進路意向に関する調査報告書」に掲載しております。ご希望の方は、上越市創造行政研究所までお問い合わせ下さい。(市のホームページにも掲載予定)

現在の関心事

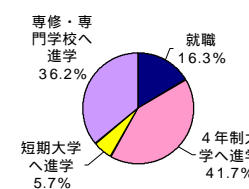
あなたは現在、どんな興味や考えをもっていますか？(中学生のみ回答)



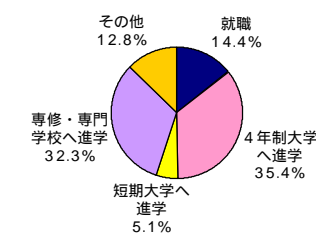
高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路はどのように考えていますか？

【中学生自身の意向】



【保護者の希望】



注) 今回の調査は、全ての中学生を対象としておりませんので、上記の進学・就職者の割合は、必ずしも実際の進学・就職率とは一致しません。

高校卒業後、進学したい理由は何ですか？

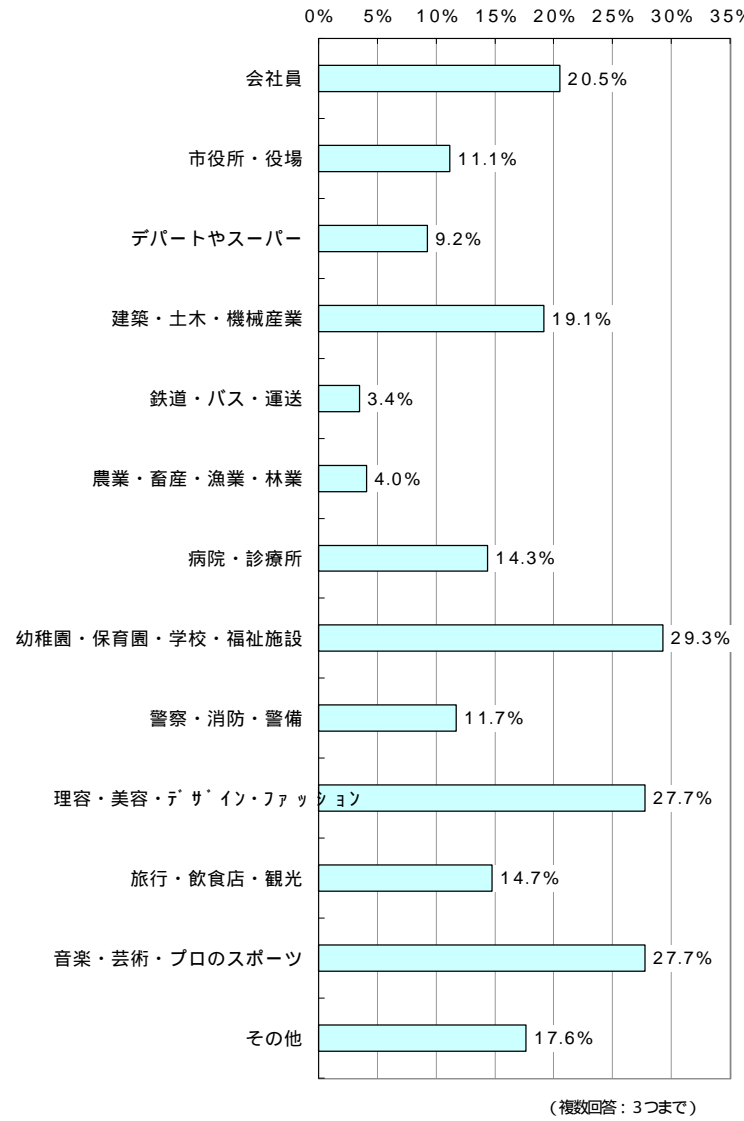
- ・進学希望者へのみ質問。
- ・進学とは、4年制大学、短期大学、専修・専門学校への進学。

理由	平均点
自分の能力や個性を伸ばしたいから	4.29
進学する分野に興味があるから	4.08
資格を取得したいから	3.95
就職に有利だから	3.67
同じ年代の若者たちと知り合いたいから	3.33
親から独立して暮らしたいから	3.24
クラブ活動やサークル活動をしたいから	2.86
体裁(ていさい)がいいから	2.50
親が進学を希望するから	2.17

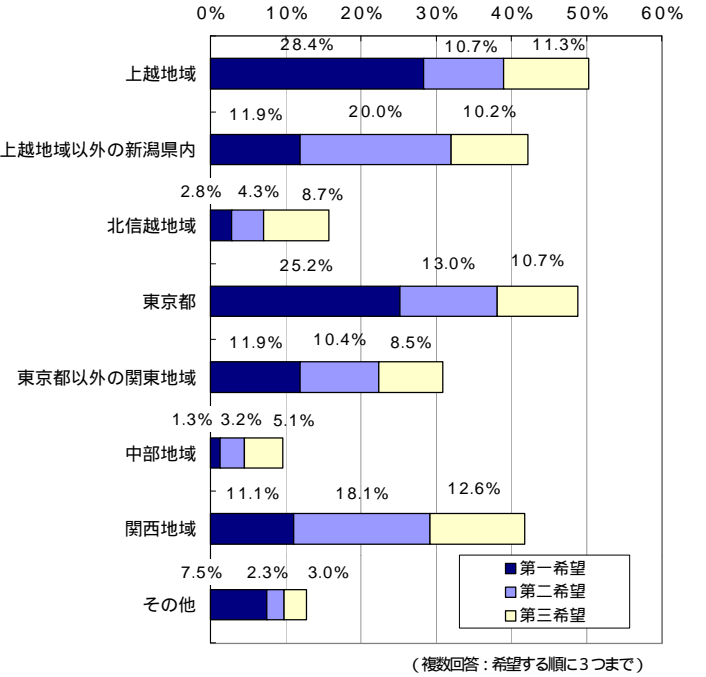
「すごくそくだ」を5点 - 「ぜんぜんちがう」を1点としたときの平均点を表示(肯定傾向が強かった順)

将来について

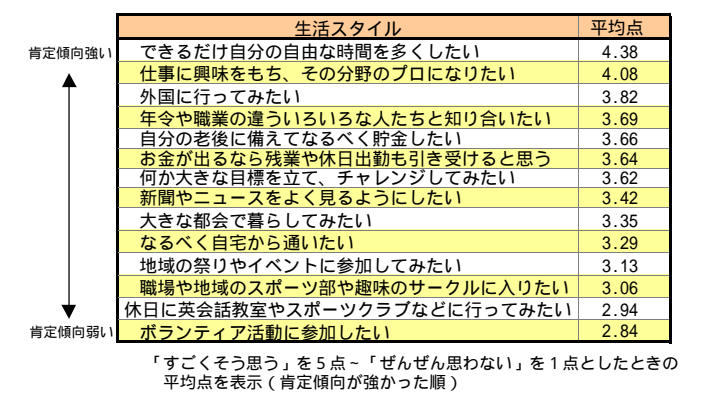
将来、どんな分野に就職したいですか？（中学生のみ回答）



将来就職して、どの地域に住みたいですか？（中学生のみ回答）

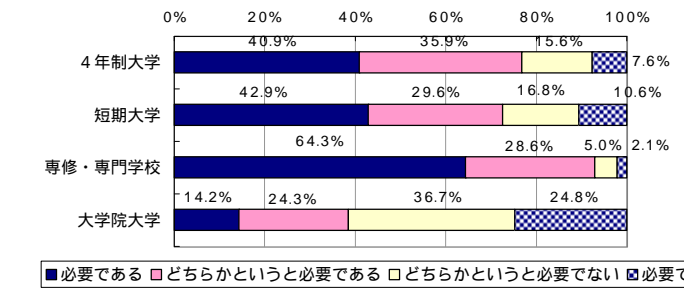


就職したら、どのような生活を送ってみたいですか？（中学生のみ回答）

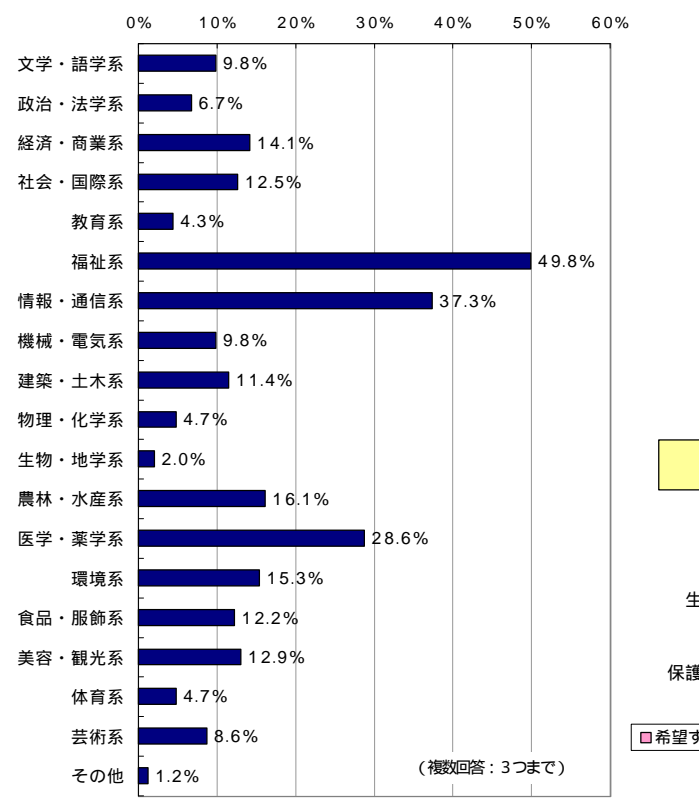


上越地域における新たな高等教育機関の設置について

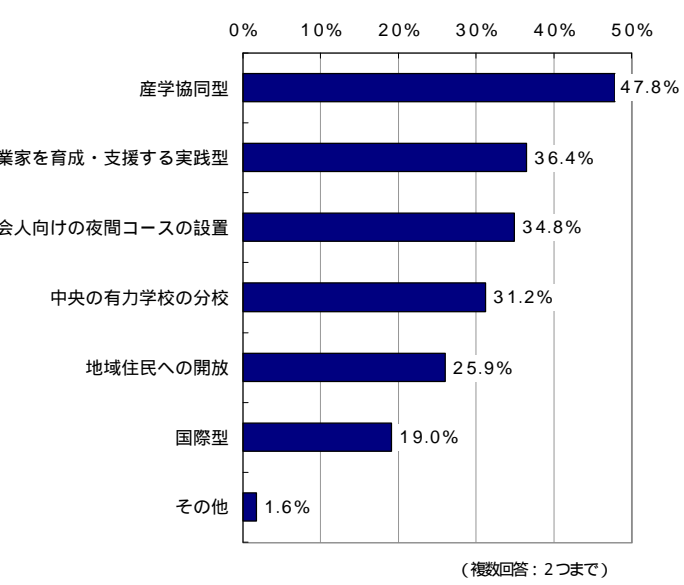
上越地域に新たな学校が必要だと思いますか？（保護者のみ回答）



どんな分野の学校が必要だと思いますか？（保護者のみ回答）

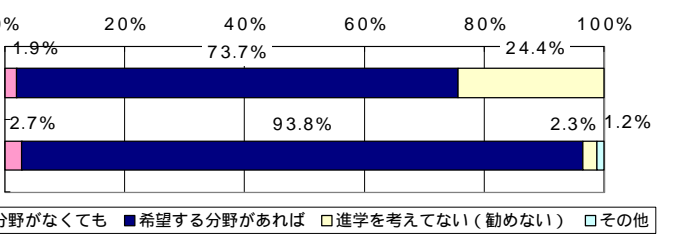


その学校はどんな学校だいいと思いますか？（保護者のみ回答）



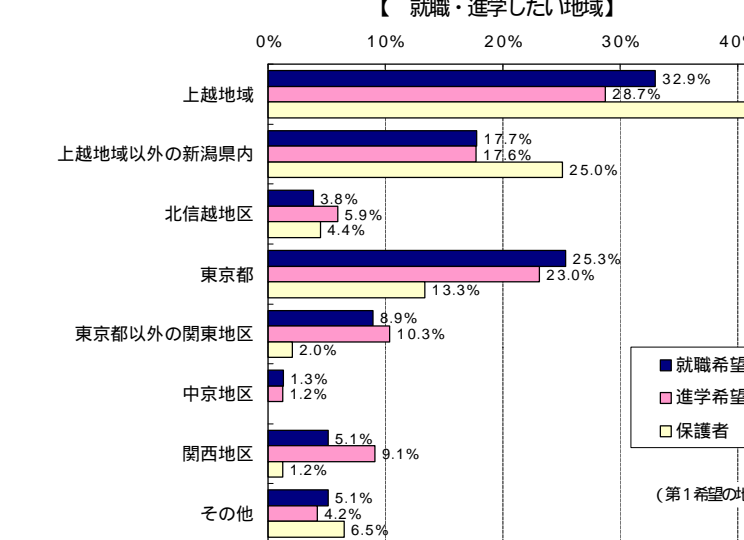
分野の数	保護者
多くの分野を持つ総合的な学校	63.0%
特定の分野を持つ専門的な学校	37.0%
計	100%

新たな学校がつけられたら、進学先として考えますか？

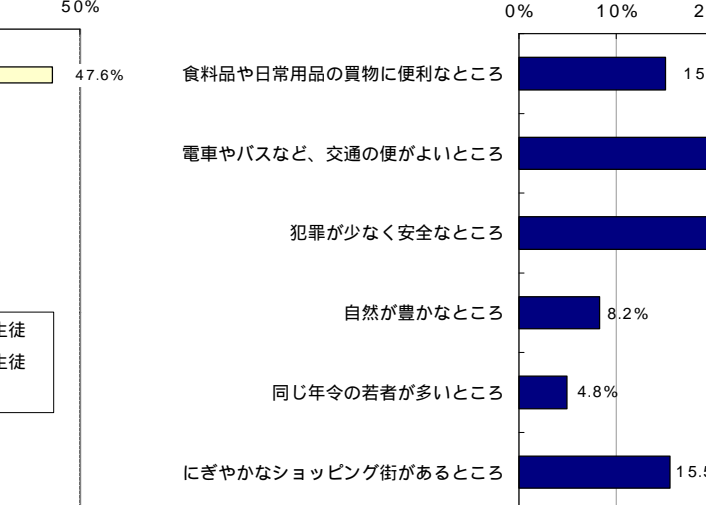


就職・進学したい地域について

高校卒業後、どの地域へ就職・進学したいですか？



【 進学して住みたい地域の生活環境】 * 進学希望の中学生のみ回答



【 就職・進学地を希望する理由】 * 保護者のみ回答(第1の理由)

